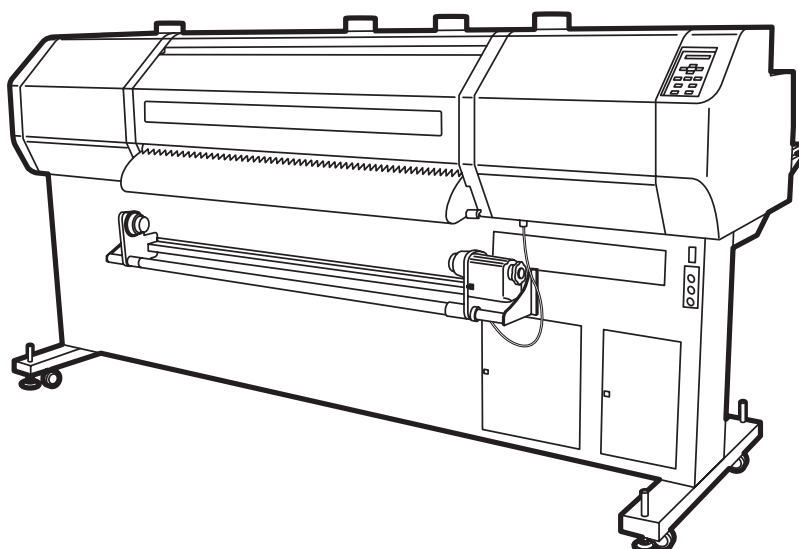
UV INKJET PRINTER

UV インクジェットプリンタ
UJV-110 取扱説明書

★ 点灯中のUVランプから出る光を、絶対に直接肉眼で見ないでください。
目の痛みや視力障害の原因になります。

株式会社ミマキエンジニアリング

D200983

はじめに

この度は、UV インクジェットプリンタ UJV-110 をお買いあげいただき、
誠にありがとうございます。

「UV インクジェットプリンタ UJV-110」（以後本装置と称します）は、新開発の紫外線硬化インク(UV 硬化インク)を使用した、UV インクジェットプリンタです。
本書は、本装置の操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明いたします。
本書をよくお読みになり、お客様のニーズに合わせた作図にお役立てください。

免責事項

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。
また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
一例として、本製品を使用したメディア等の損失や、作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。
本装置を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- 本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- 本書は、本装置をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本書が焼失／破損などの理由により読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。

電波障害自主規制

受信障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合は、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本装置の接続に於いて、当社指定のケーブルを使用しない場合は、VCCI ルールの限度を超えることが考えられます。必ず、当社指定のケーブルを使用してください。

テレビ／ラジオの受信障害について

本装置は、使用時に高周波が発生します。このため、本装置が不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレビの受信障害を発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ／テレビに対しては保証しておりません。
本装置がラジオ／テレビ受信の障害原因と思われましたら、本装置の電源を切り、ご確認ください。電源を切り受信障害が解消すれば、本製品が原因と考えられます。
次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせてお試しください。

●テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。

●本装置から離れた場所に、テレビやラジオを設置してください。

目次

1章　作図の前に

2章　基本操作

3章　日常のお手入れ

4章　ファンクション機能について

5章　メンテナンス機能

6章　困ったときは

付録

索引

本書の読み方

マニュアルの種類と使い方

本装置には、以下の説明書が付属しています。

セットアップガイド（別冊）
UJV-110 を設置する手順を説明しています。
取扱説明書（本書）
UJV-110 の取扱方法について説明しています。
日常のお手入れ（別冊）
UJV-110 の日常のメンテナンス方法について説明しています。

ディスプレイとキーの表記

本取扱説明書では、操作手順と合わせて操作パネルの「ディスプレイ」に表示する文字や、使用する【　】について説明しています。（⇒ P.1-21）

ディスプレイ表記

右図のように枠の中に、表示する内容を文字表記します。
操作手順の説明文に合わせて、確認しながら操作を進めます。
ディスプレイに表示する設定項目やメッセージを、文章中では[ﾀｲﾌﾟ 1]・[ｼﾊﾞﾗｸｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ]のように[　]を使用して説明しています。

FUNCTION
セッテイ　　　　　< ENT >

セッテイ
センタク　　　　　：タイプ 1

操作キー

本取扱説明書では、操作キーを【　】で説明しています。

【▲】【▼】はジョグキーを意味します。
その他の操作キーは、【FUNCTION】のように操作キーの名称を【　】の中に表記します。

本文中のマーク表示について

本書では、マークを使用して操作上の注意点を説明しています。
各マークの持つ意味をご理解し、本装置を安全に正しくお使いください。

★「警告」マークは、表示の指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

★ マーク付きの「注意」は、表示の指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷または、中程度の障害を招く可能性が想定される内容を示しています。

★ 文字のみの「注意」マークは、表示の指示を無視して誤った取り扱いをすると、財物損傷を引き起こすことがありうる、危険の可能性がある状況を示します。

(重要!)

★「重要」マークは、上記項目以外の守るべき事項を示します。

● 「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。操作の参考にしてください。

本書の構成

本書は、6つの章に分けて本装置の取り扱いの説明をしています。

はじめに
本装置をご使用になる前に、ご理解していただきたいことや、本書の読み方を説明しています。

1章　作図の前に
本装置の各部の名称とはたらきについて説明します。

2章　基本操作
電源のオンから作図終了までの一連の動作、設定について説明します。

3章　日常のお手入れ
日常行う本装置のクリーニングなどを説明します。

4章　設定機能
作図条件を設定するファンクションメニューについて説明します。

5章　メンテナンス機能
ノズル詰まりの対処方法、UVランプの交換方法など、メンテナンスについて説明します。

6章　困ったときは
本装置になんらかの異常が発生した場合のトラブル解消方法について説明します。

付録
本装置の仕様、機能フローチャートなどをご紹介します。

本装置のご紹介

本装置の持つ特長をご紹介します。本書で説明する操作方法と併せて , 作図のご理解にお役立てください。

紫外線硬化インクを使用

新開発の紫外線硬化インクの使用により、メディアに直接プリントすることができます。

印刷後のインク硬化定着が可能

紫外線硬化装置（UV ランプ）を搭載しておりますので、印字後、インクの硬化定着が可能です。

2400dpi の高画質印字

2400dpi の高画質で印刷することにより、大型ポスターの他、近くで見る小型のポスターにも最適です。

簡単インク交換

インクのカートリッジ化により、手を汚さずに、安全、簡単にインク交換ができます。

排気機構を標準装備

プリンターの背面から、ダクトを通して排気する機構を標準装備しました。換気扇あるいは脱臭機にダクトを接続して、プリンターを使用している部屋に充満する臭い等を減少します。

見やすいディスプレイ

ディスプレイにはバックライトが付いていますので、暗い場所での表示認識が可能です。日本語、英語の２ヶ国を表示できます。

作図の情報を確認します

作図中のプリント長をディスプレイに表示したり、作図条件の情報を作図して確認できます。

高速インターフェースを使用できます

高速インターフェース「IEEE1394」の使用により、コンピュータからのデータ受信を高速に行えます。

巻き取り装置による長尺作図ができます

本装置と連動した「巻き取り装置」が作図終了したメディアを巻き取るので、長尺作図が可能です。

メディアの左右端の浮きを防止

カールストッパーを使用することにより、幅の広いメディアの両端の浮きあがりを防止し、ヘッドとの接触を防ぎます。

安全にお使いいただくために

使用上の警告

警　告

★ 本装置で使用する専用インクは、危険物第 4 類第 3 石油類に該当します。よって、引火する可能性があるため本装置を使用する場所は、火気厳禁としてください。

★ 湿気の多い場所での使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。

★ 万一、煙が出ている、異臭がするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
すぐに電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをソケットから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対に行わないでください。

★ 異臭・発煙・スパーク跡など装置に異常が見られた場合は直ちに電源をオフにして弊社まで連絡してください。

★ 表示された電源仕様で使用してください。また、電源ケーブルのプラグは、必ずアース処理したソケットに差し込んでください。火災・発火の原因になります。

★ 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。

★ インクカートリッジ、廃インクタンクやメンテナンス洗浄液、不凍液は、子供の手の届かない場所に保管してください。

★ 弊社推奨のランプをご使用ください。使用しない場合は、火事または器具の破損事故につながります。弊社推奨のランプ以外は絶対に使用しないでください。弊社推奨のランプ以外を使用して生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。

★ 引火する危険性の環境（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・粉塵など）で使用しないでください。また紙や布をランプに近づけたり、覆ったりしないでください。火災の原因になります。

★ 静電気・衝撃火花による着火源が生じないように注意してください。

★ UV ランプ等の高温部に可燃物が触れると、発火、発煙の可能性があります。

★ 長年の使用で、安定器、装置導電部、絶縁部やその他部品について、ゴミ、ホコリによる漏電、絶縁劣化が原因の発火、発煙の可能性があります。定期的に清掃、絶縁抵抗測定による劣化部品の交換をしてください。

★ 長年の使用で、電動部のネジが緩むことが原因で、発火、発煙の可能性があります。定期的な増し締めを行ってください。

使用上の注意

⚠ 注 意

★ 点灯中のランプは絶対に直接肉眼で見ないでください。目の痛みや視力障害の原因になります。必ず安全眼鏡を掛けてください。
★ 吸引ノズルやキャップのクリーニングにおいて、インク、メンテナンス用洗浄液が飛び散る可能性がある場合は、必ず保護メガネおよび手袋を着用して、クリーニングを行ってください。インク、メンテナンス用洗浄液が目に入る危険性があります。またインク、メンテナンス用洗浄液が手に付着すると手が荒れる原因になります。
★ インクステーションやヘッドをクリーニングする場合は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インク、メンテナンス用洗浄液が目に入る場合があります。
★ インクが皮膚や衣服に付着した　　場合は、直ちに石けんや水で洗い流してください。万一インクが目に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
★ 誤ってインク、メンテナンス用洗浄液を飲み込んだ場合は、直ちに吐かせ、医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませないください。
★ 蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして安静にしてください。また、直ちに医師の診察を受けてください。
★ 本装置やインクカートリッジの分解・改造は、絶対に行わないでください。感電や故障の原因になります。
★ 紫外線（UV）を皮膚に直接あてないでください。皮膚の炎症を起こす原因になります。
★ 点灯中や消灯直後は熱いので、UV ランプには手を触れないでください。ヤケドの原因となります。UV ランプの交換時には、十分に冷えてから取り扱ってください。
★ メディアの搬入、搬出部の開口部から多少の紫外線漏れがあります。紫外線を皮膚や目に浴びると、炎症や皮膚ガンを起こす可能性があります。弱い紫外線で炎症を起こさない場合でも、反復暴露により慢性障害に発展する場合があります。紫外線を皮膚や目に浴びないようにしてください。
★ 紫外線の目への障害として、
　　急性障害；異物等、とう痛および涙が流れる等があります。
　　慢性障害；白内障等があります。
　本装置を使用する場合、手袋、長袖の服、顔面部は遮光面、目は付属の遮光メガネ等で保護してください。
★ 不凍液を取り扱う場合は、必ずゴーグルおよび手袋を着用してください。不凍液は、弊社専用のものを使用してください。温水装置が故障する恐れがあります。
★ 不凍液または温水タンク水（不凍液混合水）は、直接肌に触れないようにしてください。万一、皮膚や衣服に触れてしまった場合は、石けんを使用して、すぐに流水で洗い落としてください。万一、不凍液または温水タンク水（不凍液混合水）が目に入った場合は、大量の流水で洗い流し、医師の診断を受けてください。また、高温の温水タンク水（不凍液混合水）に触れた場合は、直ちに石けんや水で洗い落とし、氷水で十分冷やしてから医師の診断を受けてください。誤って不凍液または温水タンク水（不凍液混合水）を飲み込んだ場合は、直ちに吐かせ、医師の診断を受けてください。

⚠ 注意

★ 事故防止のため、定期点検、定期交換部品の交換等は必ず行ってください。

★ 清掃をする場合は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。

★ 装置外装部で高温になっている部分があります。この高温部には、高温注意銘板が貼り付けてあります。高温注意銘板が貼ってある部分およびその付近は、触ると火傷の恐れがあります。触らないでください。万一、高温部に触る時は、断熱性のある手袋等で手の皮膚を保護してください。

★ 本装置には開閉扉、蓋があります。扉、蓋開閉時には指、腕および胴体部の一部が挟まれる恐れがあります。万一、挟まれると、打ち身や最悪の場合、圧死もありえます。扉、蓋の開閉作業には、必ず人体の一部が挟まれることの無いように行ってください。

UV ランプの取り扱いについて

★ UV ランプの性能、寿命は UV 照射装置、UV 電源装置によって大きく左右されます。弊社推奨の UV 照射器具、UV 電源装置以外は絶対に使用しないでください。弊社推奨の UV 照射装置、UV 電源装置以外を使用して生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。

★ ガラス製品のため落としたり、物をぶつけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。破損の原因となります。

★ UV ランプ、UV 照射器具下面のガラスは、必ず付属の手袋をはめて取り扱い、素手で触れないでください。UV 硬化が著しく低下する原因になります。汚れがついた場合には、アルコールを湿らせた清潔なガーゼ等で拭いてください。（外側カバーは、アルコールで拭かないでください。塗装がはげます。）

★ 使用済みの UV ランプは割らずに必ず容器に入れ、一般の蛍光灯と同様に地域条例に従い、廃棄してください。UV ランプをそのまま割るとガラス破片が飛散します。

★ UV ランプがまれに破損することがあります。定格寿命もしくは、それ以前の UV ランプ交換をお勧めします。

インクカートリッジの取り扱いについて

★ 専用インク以外を使用すると、故障の原因になります。専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。

★ インクカートリッジを分解しないでください。

★ インクカートリッジのインクを詰め替えないでください。故障の原因になります。また、インクを詰め替えて使用したことによって生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。

★ カートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、 3 時間以上室温環境下に放置してから利用してください。

★ カートリッジは、取付直前に開封してください。
開封した状態で長時間放置しておくと、正常に作図できない場合があります。

★ カートリッジは、冷暗所で保存してください。

★ カートリッジを開封後は、お早めに使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、作図品質が低下します。

★ インクカートリッジを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。カートリッジからインクが漏れる場合があります。

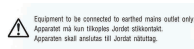
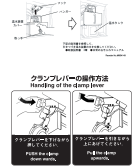
★ 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。

不凍液の取り扱いについて

★ 不用となった不凍液または使用済みの温水タンク水（不凍液混合水）は以下の方法で処分してください。

  ● おがくず、ウェス等に吸着させて、焼却炉で焼却する

  ● 免許を持った産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託する

★ 不凍液は冷暗所で保存してください。

警告ラベルについて

本装置には、下記の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。
なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。

ラベルの位置

1 章
作図の前に

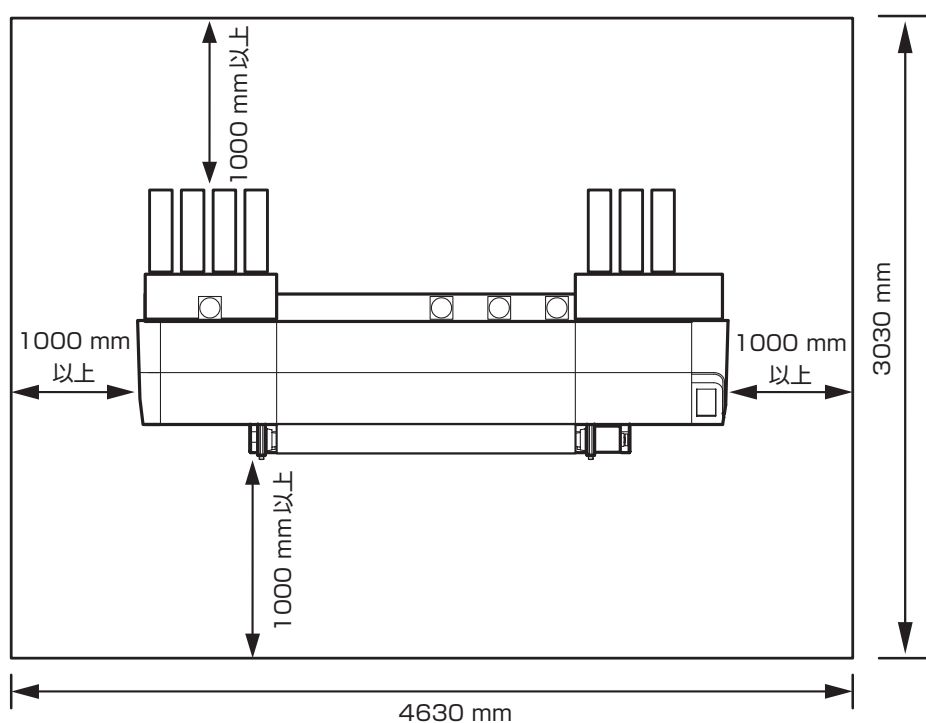
作図の前に、本装置の必要な各部の名称などについて説明します。

本章の内容

本装置の設置

設置場所について

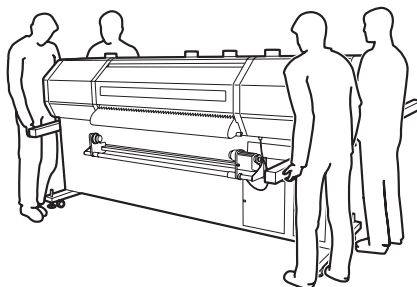
本装置を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。
本体の大きさと作図のために必要なスペースを考慮して設置します。

機種	横幅	縦幅	高さ	全体重量
UJV-110	2630 mm	1030 mm	1310 mm	約 326kg

★ 本装置の設置は、お客様が行うことはできません。弊社サービスおよび電気工事業者にお任せください。

重 要！ ★ 接地工事には、C 種接地工事（特別第 3 種接地工事）を行ってください。

重 要！ ★ 本装置の電気工事は、感電事故防止のため、電気工事士の免許を持った人以外が行うことを禁止します。

本装置の移動

本装置を移動する場合は、付属の搬送バーを取り付け、４人以上でゆっくりと図のように運んでください。

警告

★ 本装置の移設の際は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。お客様が本装置の移設を行うと、故障や破損の原因になることがあります。本装置の移設は、必ず専門の担当者におまかせください。

★ 移動前にインタフェースケーブルを必ず抜いてください。

★ UV ランプの温度が下がってから、移動してください。

注意

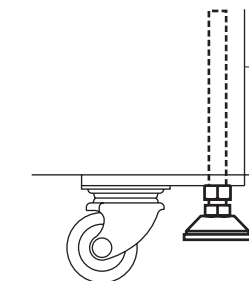
★ 移動時は、大きな振動を与えないでください。

★ 移動後は、必ずレベルフットを下げてください。

★ 前後プラテン部分、インクカートリッジ部分を持たないでください。故障の原因となります。

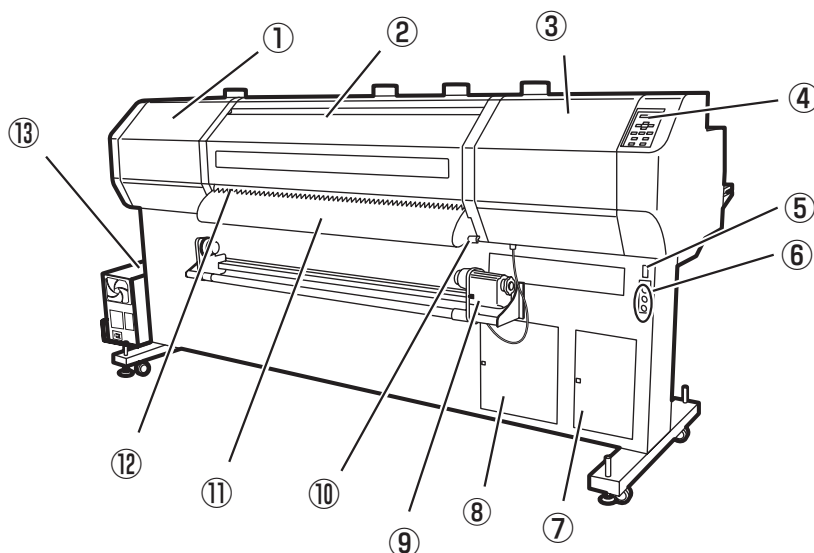
レベルフットについて

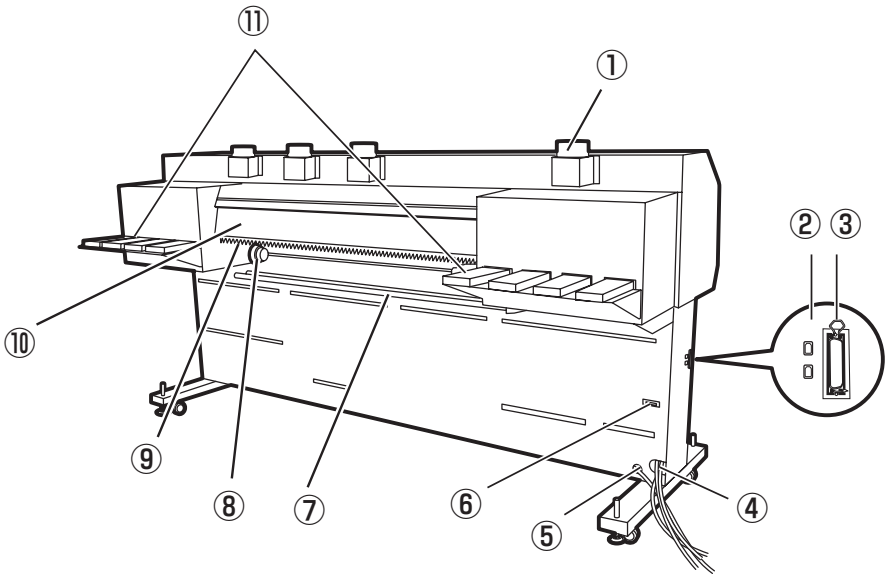
装置を移動する時は、脚のレベルフットを十分に上げてください。
また、本装置を設置するときは、レベルフットを下げてください。

★ レベルフットは、本装置に４ヶ所あります。キャスタの床面との間隔が均等になるように、少しずつ、順番に下げてください。

1

作図の前に

各部の名称とはたらきについて

装置前面

	名称	はたらき
1	左側メンテナンスカバー	印刷時に待機します。フラッシングトレイを搭載し、メンテナンス時に開閉します。
2	正面カバー	メディアのセット、メディア詰まりの処置およびステーション内部のメンテナンス時に開けます。電源スイッチがオフの場合でも、正面カバーは閉じておいてください。インク詰まり防止のための動作を行います。
3	右側メンテナンスカバー	キャッピングステーションを搭載し、メンテナンス時に開閉します。
4	操作パネル	本装置に必要な設定を行う操作キーや、操作項目を表示するディスプレイがあります。(⇒ P.1-6)
5	主電源スイッチ	本装置の電源をオン / オフします。
6	UV ランプ表示灯	UV ランプの状態を表示します。(⇒ P.1-17) 異常（赤）／UV ランプ消灯後、 冷却中（オレンジ）／使用可能（緑）
7	廃インクタンク	クリーニングなどで使用した廃インクを溜めるタンクを 内蔵しています。(⇒ P.3-15)
8	温水装置	インクの状態を適温に保ちます。(⇒ P.3-8)
9	巻き取り装置	作図終了後のロール紙を自動で巻き取ります。
10	クランプレバー	ピンチローラーを上下して、メディアを保持 / 解放します。
11	プラテン	プラテンに沿って、メディアを出力します。
12	除電テープ	UV ランプの光漏れと静電気を防止します。
13	UV 装置	UV ランプの電源を供給します。

装置背面

	名称	はたらき
1	リアダクト	作図中の臭気等を屋外へ排出します。
2	IEEE1394 コネクタ	400 Mbps の IEEE1394 に準拠したインターフェースです。
3	パラレルコネクタ	双方向パラレルインターフェースコネクタです。 （IEEE1284 準拠）
4	UV 照射器具接続ケーブル	UV 照射器具制御ケーブル、UV ランプケーブルを UV 装置へ接続します。
5	本体電源ケーブル	本装置の電源を供給します。
6	D-SUB コネクタ	UV ランプインターフェイスケーブルを接続します。
7	メディア置きバー	ロール紙を取り付ける時に、ロール紙をのせてセットしやすくするためのバーです。
8	ロールホルダー	ロール紙の紙管の左右に入れて、ロール紙を保持します。2 インチと 3 インチの紙管に対応しています。
9	クランプレバー（後）	ピンチローラーを上下して、メディアを保持 / 解放します。
10	背面カバー	メディアのセット時に開閉します。
11	インクステーション	インクカートリッジを差し込みます。

操作パネル

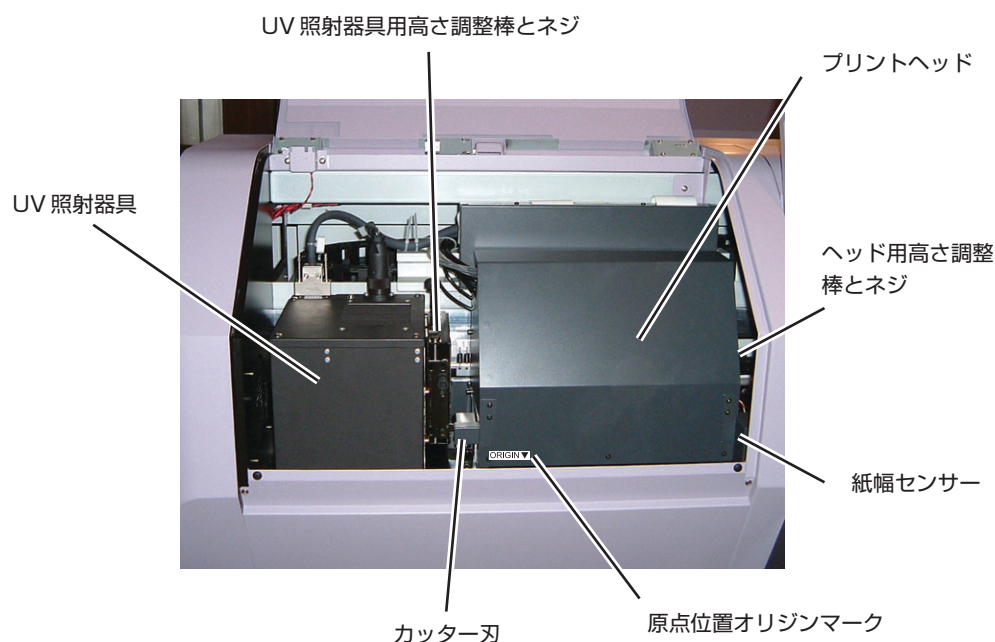
操作パネルは、作図方法の設定、各種操作に使用します。

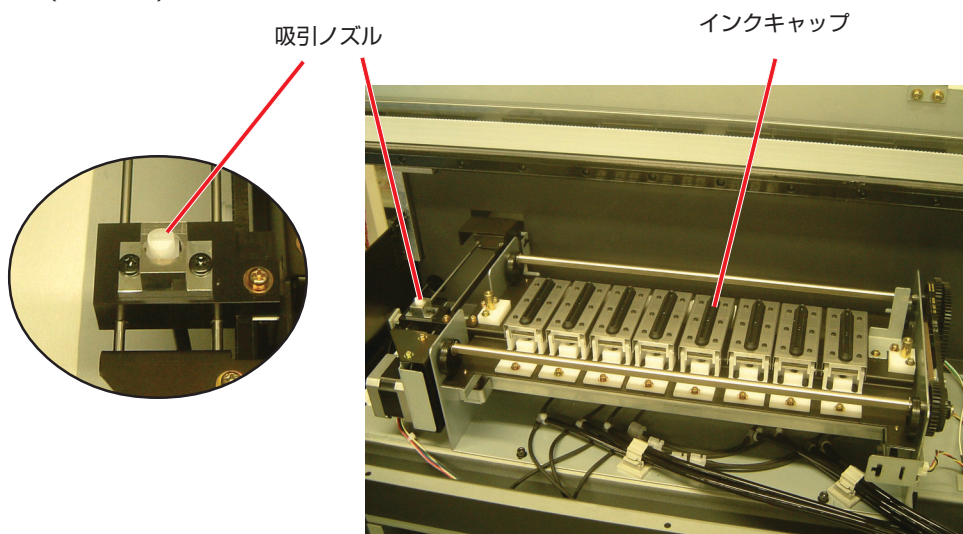
ジョグキーのはたらき

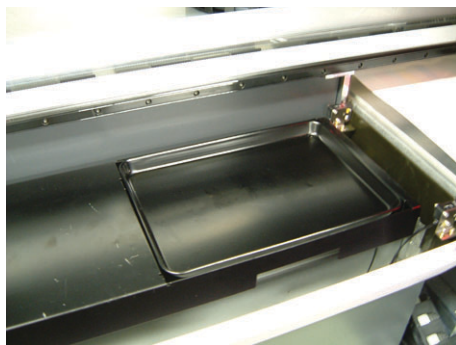
ジョグキーは、使用するタイミングにより機能が異なります。

	メディア検出前	メディア検出後	機能選択時	設定の選択時
◀	メディア幅を検出します。	キャリッジを左へ移動します。	————	————
▶	メディア幅とメディア長を検出します。	キャリッジを右へ移動します。	————	————
▲		メディアを奥へ移動します。	１つ前の機能に戻ります。	１つ前の値を選択します。
▼		メディアを手前に移動します。	次の機能に移ります。	次の値を選択します。

キャリッジ

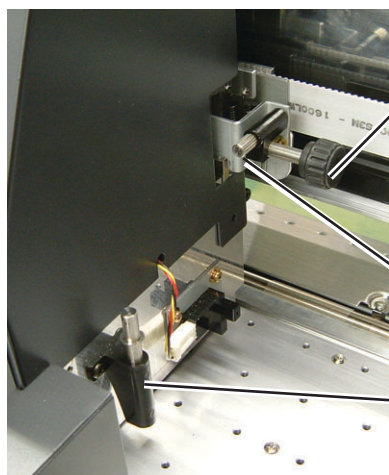
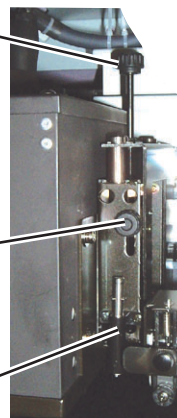
キャリッジには、作図用のプリントヘッド、UV 照射器具、メディアカット用のカッターユニットなどがあります。また、多様なメディア厚に合わせてプリントヘッドまたは UV 照射器具の高さ調整をするための高さ調整ネジが付いています。キャリッジは作図やメディアのカット、メディア検出時に動きます。

キャッピングステーション

本装置正面右側メンテナンスカバー内部にあるキャッピングステーションは、プリントヘッドのメンテナンスを行うインクキャップ、吸引ノズル機構で構成されています。（⇒ P.3-4）

フラッシングトレー

フラッシングトレーは、本体正面の左側メンテナンスカバー内部にあります。
プリントヘッドがフラッシングした際に、フラッシングトレーに廃インクがたまります。
溜まった廃インクはこまめに清掃してください。(⇒ P.3-6)

高さ調整棒と調整ネジについて

メディアを新しくセットする際や、厚みの異なるメディアをセットした場合は、プリントヘッド、UV 照射器具の高さを調整します。

注 意

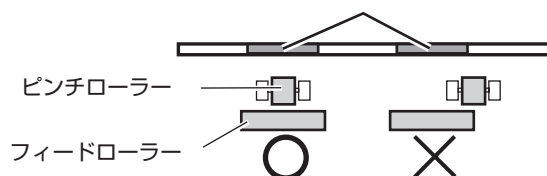
★ メディアの再セット後、プリントヘッド、UV 照射器具の高さ調整をせずに動作するとヘッドがメディアにぶつかり破損する恐れがあります。
★ プリントヘッド、UV 照射器具の高さ調整については、「第２章　メディアをセットする前に」(P.2-8)をお読みください。

ピンチローラーとフィードローラー

★ 本装置を使わない時は、ピンチローラーを上げた状態にしておいてください。ピンチローラーを下げたまま長時間放置しておくと、ピンチローラが変形し、メディアを確実に保持できなくなる場合があります。

★ 回転しているフィードローラーに触れないでください。
皮膚が削れたり、フィードローラーとプラテンに挟まれてケガをするおそれがあります。

★ ピンチローラーはフィードローラーから外れたり、ずれた位置へセットしないでください。適正な位置にセットしていない場合、メディアが斜行し、ヘッドを破損する恐れがあります。

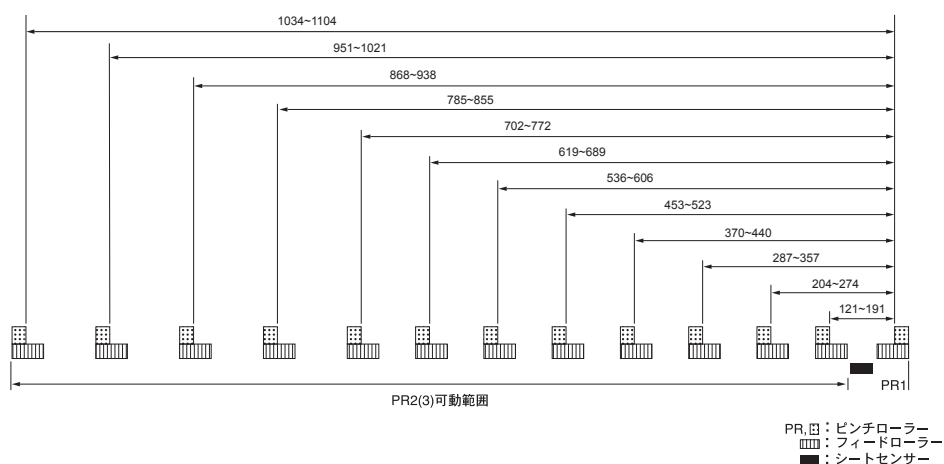
本装置は、「ピンチローラー」と「フィードローラー」でメディアを保持し、作図時にメディアを前側に送り出します。ピンチローラー 1 とピンチローラー 2 の間がキャリッジの移動範囲になります。セットするメディアの幅に合わせ、ピンチローラーを適切なフィードローラー上に移動します。ピンチローラーの移動範囲は次のページを参照してください。「PINCH ROLLER SETTINGS」マークを目安にピンチローラーを動かしてください。

セット位置例

ピンチローラー１と２の移動範囲

重 要！

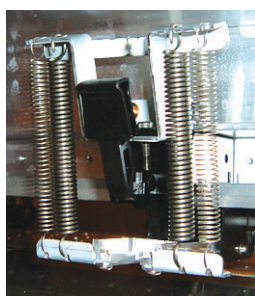
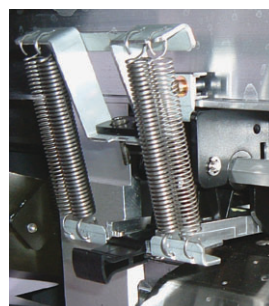
- ★ ピンチローラーを３個使用する場合、中央のピンチローラーはメディアの中央付近に配置してください。片寄った位置に配置すると、メディアがズレる原因になります。
- ★ ピンチローラー３を使用しない場合は、左端のピンチローラー退避位置に移動してください。ピンチローラー退避位置以外に使用しないピンチローラーが配置してあると、ピンチローラーが摩耗したり、メディアがズレる恐れがあります。

単位（mm）

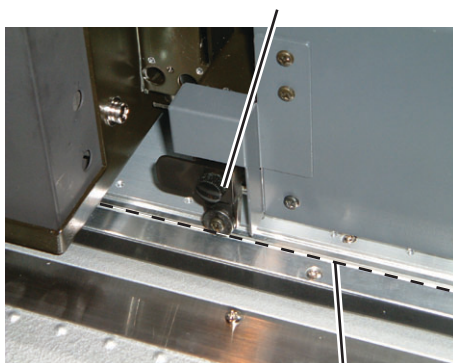
PR, ：ピンチローラー
：フィードローラー
：シートセンサー

クランプ

クランプ圧を調整する強弱レバーにより、メディアを押さえる力を２段階に変えることができます。

強弱レバー	用　途
強モード	・メディアの左右２端を押さえる場合
弱モード	・メディアの中央付近を押さえる場合 ・ピンチローラーの押さえ跡を小さくしたい場合

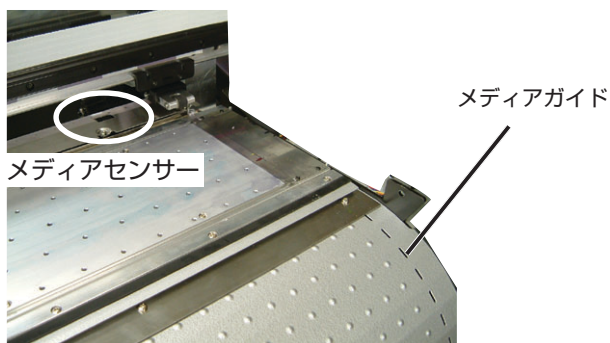
重 要！　★ 左右のクランプ力は、同じ圧力で使ってください。
違う圧力で使用すると、メディアがズレる原因になります。
２ｍ以上の長尺印刷では、クランプ力を強モードでお使いください。

強モード：強弱レバーを上げる

弱モード：強弱レバーを下げる

カッター刃とカットライン

キャリッジにはメディアをカットするカッターユニットが付いています。
プラテンのカットラインに沿ってメディアをカットします。

メディアセンサー

メディアセンサーは、メディアの有無を検出します。
プラテン上にメディアセンサーが 1 箇所あります。

重要! ★ メディアは、必ずプラテン後部側のメディアセンサーを覆い隠すようにセットしてください。センサー上にメディアがないと、メディア検出を実行できません。

＜本体後部＞

＜本体前部＞

重要! ★ 左リーフメディアを使用する場合、プラテン右端の穴（ガイド）より右側にメディアが出ないようにセットしてください。

ケーブルを接続する

インターフェイスケーブルを接続する

コンピュータと本装置をインターフェイスケーブルで接続します。
本装置は、2 種類のインターフェイスケーブルが使用可能です。ご使用のコンピュータや、出力ソフトに合わせて使用するケーブルと接続を選択してください。

重 要!
★ インターフェイスケーブルを接続するときは、本装置の電源スイッチをオフにしてください。

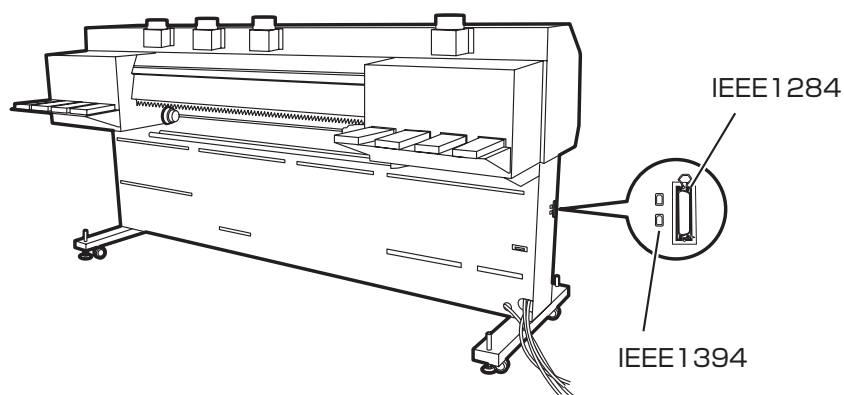
IEEE1394 インターフェイスをご使用の場合は

ご使用のコンピュータが IEEE1394 のインターフェイスを搭載している場合は、コンピュータと本装置を IEEE1394 のインターフェイスケーブルで接続します。

重 要!
★ ご使用の RIP が IEEE1394 インターフェースに対応している必要があります。
★ IEEE1394 の 2 つあるコネクタは、どちらでもご使用できます。
★ IEEE1394 のボードがコンピュータに付いていない場合は、お近くの RIP メーカーまたは弊社営業所までお問い合わせください。

IEEE1284 準拠インターフェイスをご使用の場合は

コンピュータと本装置を IEEE1284 の準拠インターフェイスケーブルで接続します。
IEEE1284 で接続する場合、IEEE1394 を使用したデータ送信より遅くなります。

1
作図の前に

電源ケーブル接続について

重 要！ ★ 電源ケーブル接続について
本装置は、電源取得の際に、配電盤の工事が必要です。
本装置の電源ケーブル接続はお客様が行うことは出来ません。
電源ケーブルを接続する場合は、必ず弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
また設置場所の移転等により、電源ケーブルの接続を変更する場合も同様に、必ず弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
サービスコールをせずに、お客様による電源ケーブル接続を行った際に生じた不具合については、弊社はいっさい責任を負いかねますので、ご了承ください。

UV 装置と UV 照射器具について

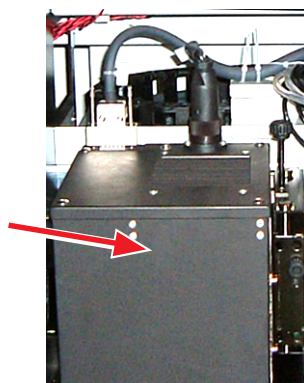
UV 装置

本装置の左下に設置されてある UV 装置は、UV 照射器具、UV 表示灯と連動しています。

UV 照射器具

★ 点灯中の UV ランプから出る光を直接肉眼で見ないでください。
★ 点灯中、消灯後は触らないでください。熱くなり、大変危険です。

本装置の電源をオンにしてから、2 分間後には照射可能状態になります。

UV 照射器具は、シャッター機構を内蔵
しています。作図時のみ自動的に
シャッターが開きます。

UV 照射器具表示灯の働きについて

本装置電源スイッチの下にある、3 つの UV 照射器具表示灯の動作について説明します。表示灯には 3 つのモードがあります。本装置前面の表示灯にて、各モードの状態を表します。また、UV ランプは 30 分以上作図がないと自動的に消灯します。長時間作図しない場合（30 分以上）は、UV ランプを消灯してください。(⇒ P.4-8)

点灯フローチャート

表示灯の説明

モード	UV ランプの状態	概要
レディモード		
点灯/点滅(グリーン)	＜作図可能＞ UV ランプの予熱中（点滅） UV ランプの予熱完了（点灯） UV ランプ安定点灯中 (予熱時間 2 分 30 秒〜 3 分)	【REMOTE】キー、または【TEST】キーを押して[テストサクズ]を選択した時、UV ランプを予熱します。 予熱が完了すると、UV ランプの準備完了となり、作図を開始します。
消灯	＜作図不可能＞ UV ランプの消灯中 もしくは他の 2 モード	→ UV ランプの準備ができていません。
アフタークーリングモード		
点灯（オレンジ）	＜作図不可能＞ UV ランプを冷却中 (6 分間)	以下の場合に、UV ランプを消灯します。 ・消灯するオペレーションをした時 ・作図後 30 分以上が経過した時 ・本装置にエラーが起きた時 UV ランプ消灯後、ランプ部を冷却しています。 UV ランプは再点灯できず、本装置も作図動作は行えません。一旦、消灯するまでお待ちください。
消灯	他の 2 モード	
エラーモード		
点灯（レッド）	＜作図不可能＞ エラーが発生 (UV ランプは消灯する)	① UV 電源の異常 ② UV ランプのオーバーヒート UV ランプを消灯し、ランプ冷却ファンを停止します。本装置の作図動作はストップします。 ③ UV 照射器具のシャッターが正常に動作しない場合
消灯	正常	

インクカートリッジを入れる

インクカートリッジを挿入します。

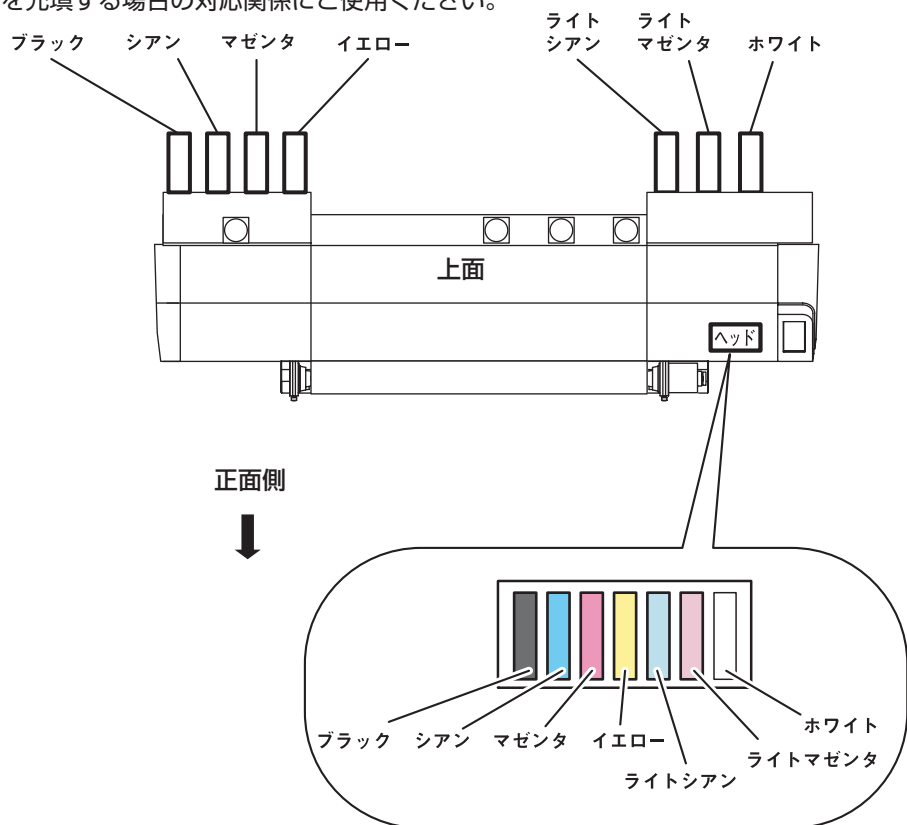
重 要！
★ インクカートリッジを差し込む場合は、IC チップがある方を上面にむけて、横にして差し込んでください。

★ 本装置電源を入れた後は、必ず初期充填を行ってください。
（⇒ P.2-7）

インクステーションとヘッドの関係

１列のノズルに対して１色のインクが対応しています。
ヘッドのノズル詰まりのチェックや、インクエンドとなったカートリッジの交換、インクを充填する場合の対応関係にご使用ください。

インクの取り扱い上のご注意

重 要！

★ インクカートリッジは、弊社推奨のインクカートリッジをご使用ください。
★ インクには直接ふれないようにしてください。誤ってインクを付けてしまったときは、石けんや水ですぐに洗い落としてください。万一、インクが目に入ったときは、大量の流水で洗い、医師に相談してください。
★ インクカートリッジを強く振らないでください。強く振ったり、振り回したりすると、カートリッジからインクがもれることがあります。
★ インクカートリッジは分解しないでください。
★ インクカートリッジのインクを詰め替えないでください。故障の原因になります。また、インクを詰め替えて使用したことによって生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。
★ インクカートリッジは冷暗所で保存してください。
★ インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上、室温環境下に放置してから使用してください。
★ インクカートリッジは開封してから6カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは作図品質が低下します。
★ インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。
★ 未使用のインクカートリッジは、産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託してください。
★ 一部成分において（光重合開始剤）、水性生物に対する毒性があります。自然水系、生活排水への漏洩流出を防いでください。
★ インクカートリッジに記載している有効期限を過ぎた場合は、そのインクカートリッジを使用しないでください。

白インク（ホワイト）の取り扱いについて

白インク（ホワイト）は、使用していない場合、カートリッジ内部で、沈殿してしまう場合があります。白インクの状態を良好に保つため、3章をご覧くださり、定期メンテナンス作業を必ず行ってください。

重 要！

★ インクカートリッジは、弊社推奨のインクカートリッジをご使用ください。
★ 一週間に一度、白インクの状態を良好に保つため、インクカートリッジを抜き、白インクをよく振ってください。

使用可能なメディアについて

メディア取り扱い上の注意

メディアの取り扱いについて、次の点にご注意ください。

重 要！

★ 推奨メディアをお使いください
安定した高画質で作図するには、弊社推奨のメディアをお使いください。

★ メディアの厚さ
メディアをセットする場合、必ずプリントヘッド、UV 照射器具の高さを調整してください。メディアやプリントヘッド、UV 照射器具を破損する恐れがあります。

★ メディアの伸縮
包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。
室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。
包装を開けて、使用する場所で 30 分以上さらしてから装置に取り付けてください。

★ カールしたメディア
カールしたメディアは使用しないでください。紙詰まりの原因になります。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。

使用可能メディアとメディアサイズ

使用可能メディアは、ロールとリーフです。
本装置で使用可能なメディアの種類とサイズを説明します。

		UJV-110
ロール	最大幅	1220 mm
	最小幅	210　mm
	最大作図範囲	1200 mm
	厚さ	1.0 mm 以下
	ロール外形	φ 180 mm 以下
	ロール重量	25 kg 以下 ただしロールの左右を保持した時、ロールにタワミがないこと
	紙管内径	2 インチまたは 3 インチ
	作図面	ロール外側面
	巻終わり処理	紙管にテープ止めまたは弱粘着
	作図強度	UV 熱による変形量が 少なく、プリント可能なこと
リーフ	最大幅	1220 mm
	最小幅	210 mm
	最大作図範囲	1200 mm

メニューモードについて

本装置には３つのモードがあります。各メニューモードについて説明します。

ローカルモード

ローカルモードは、作図準備状態のモードです。
全てのキーが有効です。
コンピュータから、データを受信できます。ただし、作図は行いません。
ローカルモードでは以下の操作が可能です。

1. ジョグキーを押して、作図原点や作図範囲を設定します。
2. 【TEST】キーを押して、「テスト作図」を行います。
3. 【CLEANING】キーを押して「ヘッドクリーニング」を行います。
4. 【DATA CLEAR】キーを押して、受信したデータを消去します。
5. 【FUNCTION】キーを押して、各種機能を設定します。(⇒ファンクションモード)

ファンクションモード

ローカルモード時に、【FUNCTION】キーを押すとファンクションモードになります。
作図方法に関する機能設定を行います。詳細は、４章設定機能、５章メンテナンス機能をご覧ください。

リモートモード

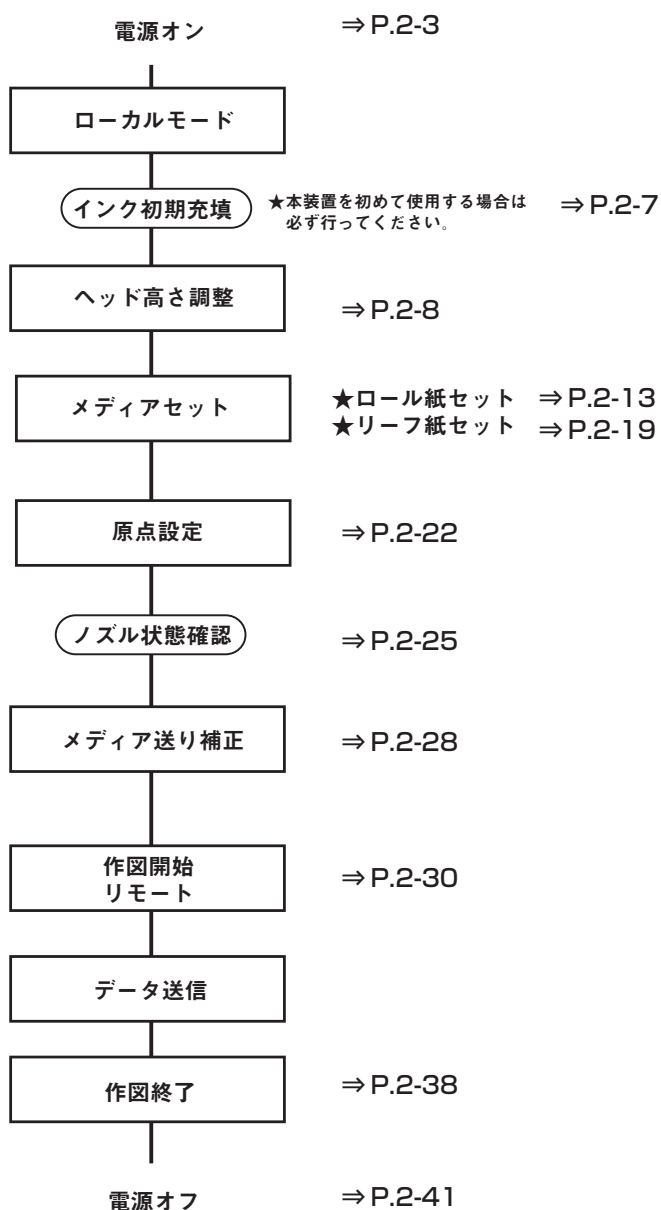
受信したデータを作図します。
作図中に【REMOTE】キーを押すと、一時停止します。
ローカルモード時は、【REMOTE】キーを押すとリモートモードになります。

2章
基本操作

作図を行うために必要な操作について説明します。

本章の内容

作業の流れ

電源を入れてから、作図が終了するまでの作業について説明します。
各項目の詳細は、参照ページをご覧ください。

電源をオンにする

1 **UV 装置の電源をオンにします。**
「|」側に倒します。

2 **主電源スイッチをオンにします。**
「|」側に倒します。

電源をオンにすると[BOOT]を表示し、続けてファームウェアのバージョンを表示します。

BOOT

V＊.＊＊

初期動作を実行し、ローカルモードになります。

シバラクオマチクダサイ

- ローカルモードに入る前には、3 種類の LCD 表示があります。次のページを参照してください。右の LCD 表示は、「クランプレバーが上がっていて、メディアはセットされていない」を示しています。

レバーヲ カクニンシテクダサイ

注 意

★ UV 装置の電源がオフの場合は、エラーを表示します。UV 装置の電源をオンにし、本装置の電源を入れ直してください。

★ 温水装置の温度が一定温度になっていない場合は、メッセージを表示します。この場合は、作図できません。表示が消えると、作図ができます。

ERROR 72 UV デンゲン OFF	<<ローカル>> オンスイジュンビチュウ

3 **接続してあるコンピュータの電源をオンにします。**

電源投入時のローカルモード表示について

電源を投入した際に、本装置は 3 種類の LCD 表示を表示します。下記に従って、確認してください。（⇒ P. 付録 7）

LCD 表示と内容	対処
クランプレバーが上がっていて、 メディアはセットされていない レバーヲ カクニンシテクダサイ	クランプレバーを下げてください。 クランプレバーを下げるまでは、 ファンクションメニューに入ることは出来ません。 メディアをセットしていない場合は、 クランプレバーを上げた状態にしてください。（⇒ P.2-15）
クランプレバーが下がっているが メディアがセットされていない ＜＜ローカル＞＞ ＊＊メディアガアリマセン＊＊	クランプレバーを上げ、メディアをセットします。（⇒ P.2-13） ファンクションメニューに入ることは可能です。 ヘッドの高さ調整をする場合は、この表示にしてください。
メディアがセットされていて クランプレバーも下がっている メディアケンシュツ ロール＜　　　　　＞リーフ	ジョグキーを押すと、メディア幅検出動作に入ります。（P.2-17）

本装置の情報を表示する

【ENTER】キーを押して、本装置の情報を表示します。以下はローカルモード中に情報を表示する方法を説明します。

● メディア幅検出画面でも【ENTER】キーを押して、同様に情報を表示できます。

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。

<<ローカル>>
＊＊メディアガアリマセン＊＊

2 【ENTER】キーを押すと、インク残量を表示します。

ENTER

ザンリョウ　　KCMYcmW
1234567

3 【ENTER】キーを押すと、バージョン、コマンドなどの情報を表示します。

ENTER

V＊．＊＊　／　MRL－2B

● 使用機種情報について、メンテナンス項目の「マシンジョウホウ」でも確認することが出来ます。
(⇒ P.5-29)

4 【ENTER】キーを押すと、現在の UV ランプの照射時間を表示します。

ENTER
UVショウシャジカン
600h00m

● UV ランプの照射時間については、「UV ランプを交換する」
(⇒ P.5-16) を参照してください。

5 【ENTER】キーを押し、ローカルモードに戻ります。

ENTER
<<ローカル>>
＊＊メディアガアリマセン＊＊

カバーについて

カバーの開閉について

作図中にカバーを開けると、安全のためキャリッジが停止し、本装置の作図動作が止まります。この場合、次の操作手順で本装置、およびコンピュータを再起動してください。

★ 作図中にカバーを開けないでください。作図中にカバーを開けると、画像の作図が中断され、継続できなくなります。
★ カバーは、取っ手を持って開閉してください。樹脂面を持って開閉すると破損の原因になります。

操作手順

1 作図中にカバーを開けると、メッセージを表示します。
作図を停止します。

```
！カバーオープン
カバー　ヲ　シメテクダサイ
```

2 コンピュータからのデータ送信を停止します。

3 カバーを閉めます。

4【ENTER】キーを押します。

```
（　COVER　OPEN　）
＜ENT＞ヲ　オシテクダサイ
```

```
シバラク　オマチクダサイ
```

5 キャリッジが動き始めます。
本装置の電源をオンにした時と同じ初期動作をします。

インクの初期充填を行う

本装置を初めて使用する場合は、本装置にインクカートリッジを取り付けてインクを充填する必要があります。新しくインクを交換する場合は、P.2-38 をご覧ください。

操作手順

1 インクステーションにインクカートリッジを正規の位置まで差し込み、セットしてあることを確認します。

2 ローカルモードになっていることを確認します。

3 【FUNCTION】キーを押します。

4 ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス]を選択します。

5 【ENTER】キーを押します。

6 ジョグキー【▲】【▼】を押して、[インクジュウテン]を選択します。

7 【ENTER】キーを押します。

8 ジョグキー【◀】【▶】を押し、クリーニングを実行する色を選択します。

9 ジョグキー【▲】【▼】を押し、クリーニングを実行する色を表示します。

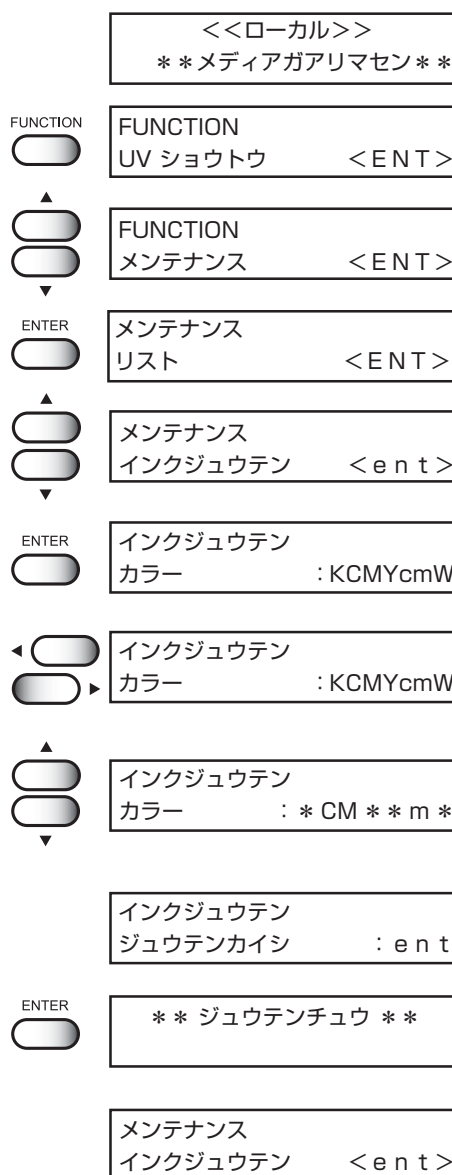
クリーニングを実行しない場合は「＊」にしてください。

10 【ENTER】キーを押します。

11 【ENTER】キーを押します。

自動的にインク充填を開始します。

12 インク充填を終了すると、[インクジュウテン]に戻ります。

【END】キーを 2 回押すと、ローカルモードに戻ります。

メディアをセットする前に

メディアをセットする前には、以下の作業を同時に行ってください。

●プリントヘッドの高さ調整

● UV 照射器具の高さ調整

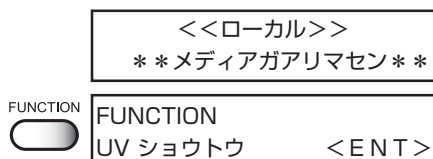
プリントヘッドと UV 照射器具の高さ調整をする [タカサチョウセイ]

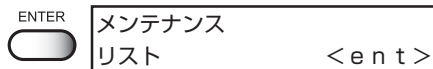
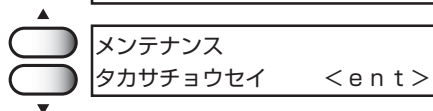
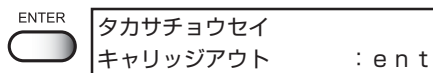
使用するメディアの厚みにより、プリントヘッドと UV 照射器具の高さを調整する必要があります。メディア厚に適正な高さでない場合は、作図も適正に行われません。
また、高さ調整をしないと作図品質の低下、またはメディアや本装置の破損になるなど大変危険です。前回使用したメディアと異なるメディアを使用する場合は、必ず高さ調整を行ってください。

> **重 要!** ★ 高さ調整をする際には、必ずメディアを外しておいてください。メディアをセットしたままの状態で高さ調整を実行すると、キャリッジアウトの際に、メディアにキャリッジがぶつかり、プリントヘッドまたは UV 照射器具を破損するおそれがあります。

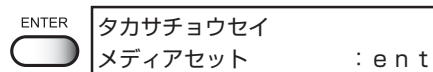
操作手順

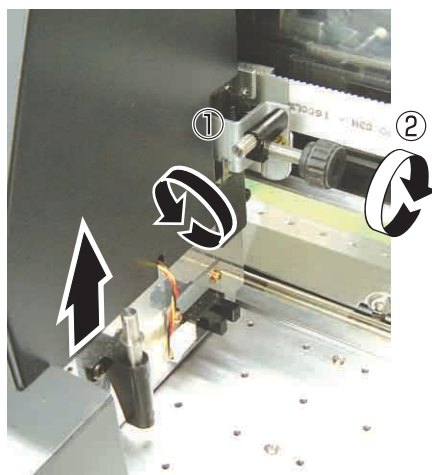
1 **メディアがセットされている場合はメディアを外し、前側のクランプレバーを下げます。**

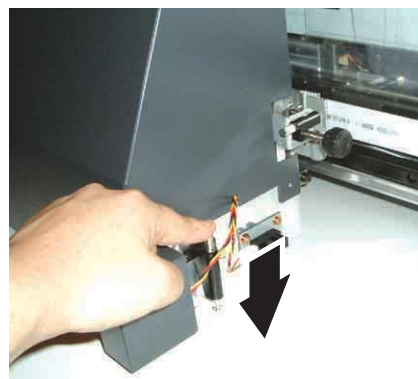
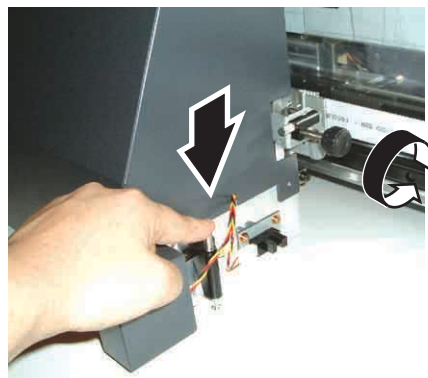
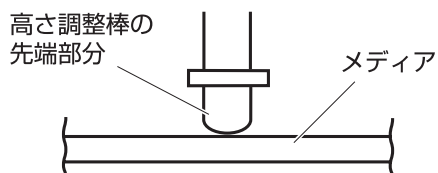
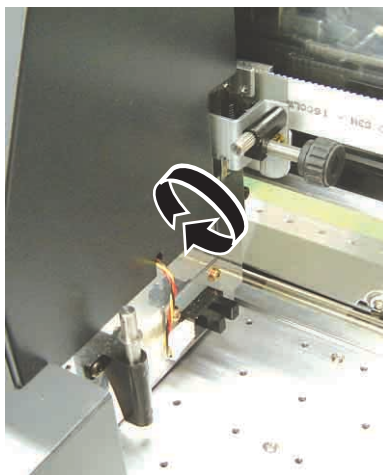
2 **ローカルモードから【FUNCTION】キーを押します。**

3 **ジョグキー【▲】【▼】を押し、[メンテナンス] を選びます。**

4 **【ENTER】キーを押します。**

5 **ジョグキー【▲】【▼】を押して、[タカサチョウ セイ] を選びます。**

6 **【ENTER】キーを押します。**
プラテン上に、キャリッジが移動します。正面カバーを開けます。

7 **使用するメディアをセットし、キャリッジををメディア上に移動します。**

● メディアのセット方法については、「メディアをセットする（P.2-13 ～）を参照してください。」

8 **【ENTER】キーを押します。**

9 プリントヘッドの高さ調整をします。

a. サポートネジ①を緩め、高さ調整ネジ②を手前側にまわして、ヘッドを上に移動します。

b. 高さ調整棒を、右手で上から押します。高さ調整棒を下に押しても動かない位置まで押し込みます。

重要! ★ このときに、高さ調整棒の先端がメディア表面に着いてしまう場合は、前ページ操作手順 9-a を実行して、プリントヘッドをさらに上に上げてください。

c. 高さ調整ネジを奥側にまわして、プリントヘッドを下に移動します。
高さ調整棒を押したままで、棒の先端が使用するメディアの表面に触れる高さまでプリントヘッドを下げます。

d. プリントヘッドの高さ調整が終わったら、サポートネジを締めます。

e.【ENTER】キーを押します。

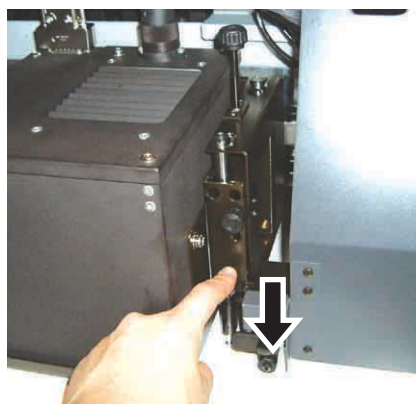
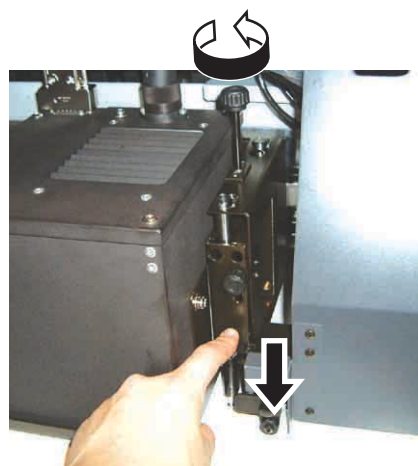
タカサチョウセイ
ヘッドシュウリョウ　　　　: ent

10 次に UV 照射器具の高さ調整を行います。

11 UV 照射器具の高さ調整をします。

a. UV 照射器具の右側にあるサポートネジ①を緩め、高さ調整ネジ②を手前側にまわして、UV 照射器具を上に移動します。照射器具の左側にあるサポートネジも一緒に緩めます。

b. 高さ調整棒を、右手で上から押します。高さ調整棒を下に押しても動かない位置まで押し込みます。

★ このときに、高さ調整棒の先端がメディア表面に着いてしまう場合は、前ページ操作手順 11-a を実行して、UV 照射器具をさらに上に上げてください。

c. 高さ調整ネジを奥側にまわして、UV 照射器具を下に移動します。高さ調整棒を押したままで、棒の先端が使用するメディアの表面に触れる高さまで UV 照射器具を下げます。

d. UV 照射器具の高さ調整が終わったら、サポートネジを締めます。同様に左側のサポートネジも締めます。

12 キャリッジを右端または左端へ移動し、メディアをプラテン上から外します。

13 正面カバーを締めます。

14 【ENTER】キーを押します。

キャリッジが動いて、ステーションに移動します。

タカサチョウセイ UV シュウリョウ　　　：ｅｎｔ

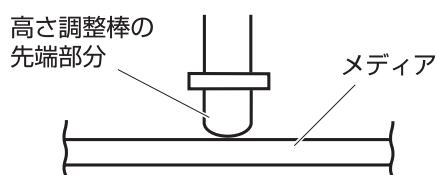
シバラクオマチクダサイ

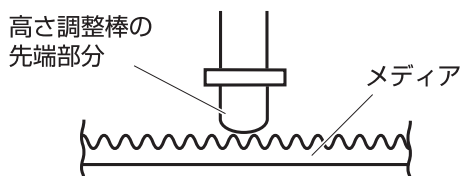
ローカルモードに戻ります。

<<ローカル>> ＊＊メディアガアリマセン＊＊

プリントヘッドとUV照射器具の高さ調整をする場合のポイント

- 高さ調整は、高さ調整棒の先端がメディアの表面に触れる高さに調整すると、プリントヘッド、UV照射器具とメディア印字面の距離が最適になります。
- プリントヘッド、UV照射器具の高さを上げても、高さ調整棒の先端をメディア表面に触れる高さで調整した場合は、メディア印字面とヘッドの距離は変わりません。
- プリントヘッド、UV照射器具とメディア印字面の距離を広げた場合、印字品質は低下します。

適正位置

距離を広げた位置

毛羽立ちのあるメディアや、ソリや凹凸のあるメディアを使用する場合

- メディア表面の毛羽立ちや、メディアエッジ部分のソリ、または作図中のメディア凹凸をさけたい場合は、プリントヘッド、UV照射器具とメディア印字面との距離を広げて使用できます。

重要！ ★ プリントヘッドの高さを調整すると、作図点がずれます。プリントヘッドの高さを調整した際は、必ずドット位置補正を行ってください。（⇒ P.5-4）

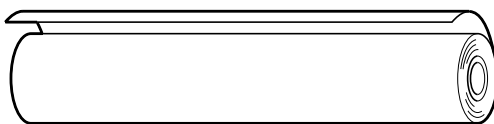
メディアをセットする

セット可能なメディアには、「ロール紙」および「リーフ紙」があります。(⇒ P.1-20)

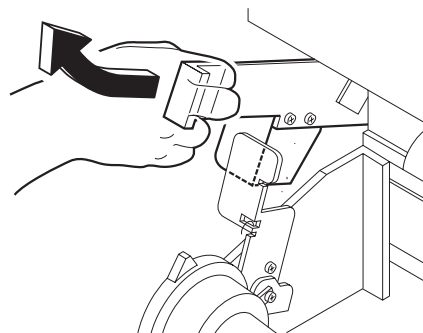
ロール紙をセットする

本装置にロール紙を取り付けます。ロール紙は、本装置の専用メディアを使用してください。

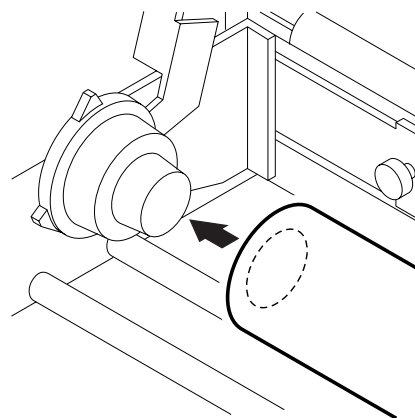
★ ロール紙は重いので、足などに落とさないように注意してください。

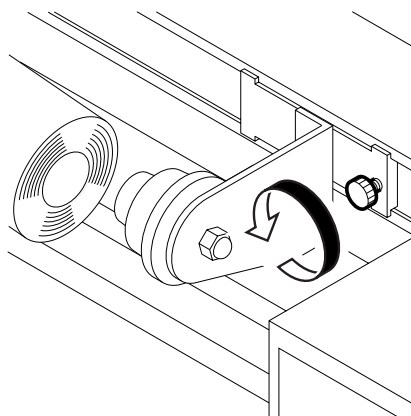
★ メディアをセットする際に、必ずプリントヘッド、UV 照射器具の高さ調整の確認をしてください。
(⇒ P.2-8)

操作手順

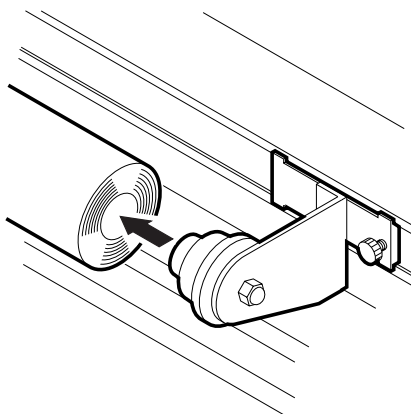
1 **背面カバーを開け、後ろのクランプレバーを引き上げます。**

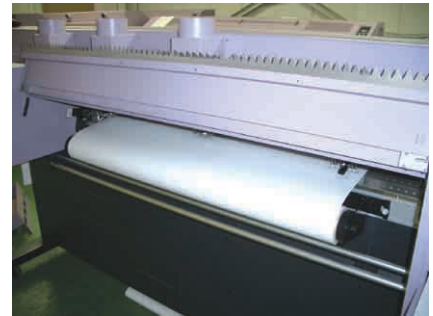
ロールホルダーが本装置の前面方向にロックします。後ろ方向はフリーに動きます。

2 **左側のホルダーに、ロール紙の紙管を差し込みます。**

ロール紙の紙管が動かなくなるまで、奥に差し込んでください。

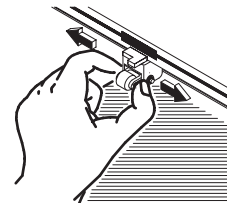
ロール紙の紙管の内径は、2 インチと 3 インチの 2 種類の大きさがあります。
紙管の内径に合わせて、ロールホルダーに差し込んでください。

3 **右側のロールホルダーのネジを緩めます。**

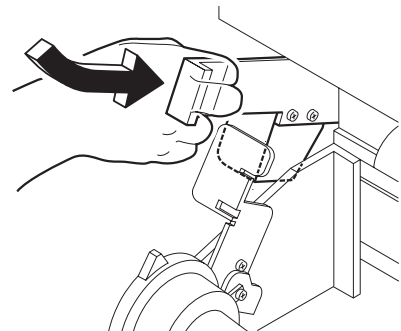
ロール紙の幅に合わせて、ロールホルダーの位置を調整します。
この際、ロール紙をメディア置きバーの上に置きながらセットすると、メディアの扱いが容易になります。

4 **ロール紙の紙管に、右側のロールホルダーを入れます。**

紙管の奥までロールホルダーを差し込んだら、ネジで固定します。

5. **ロール紙を本装置の後ろ側から、50cm から 60cm ほど引き出します。**

6 引き出したロール紙を、プラテンとピンチローラーの間に差し込み、ロール紙を本装置の手前側に引き出します。

7 ピンチローラーをシートの幅に合わせて移動します。（セット位置例：P.1-10 参照）

● メディアの厚みによって、クランプ圧を変更することが出来ます。（⇒P .1-11）

★ ピンチローラーは、ロールシートの端から 5mm 以上内側に移動してください。シートフィード中にシートが外れる原因になります。

8 後ろのクランプレバーを押し、背面カバーを閉じます。

● ロール紙をピンチローラーで固定し、ずり落ちてこないよう、仮止めします。

9 本装置の前側のクランプレバーを引き上げます。

ロールホルダーが再びフリーになり、ロール紙を動かせます。

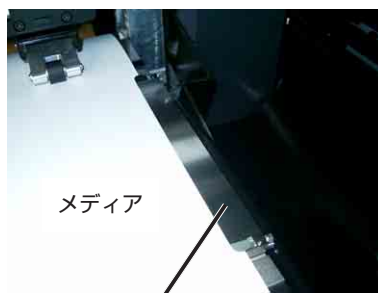
10 正面カバーを開けて、ロール紙を引き出します。

引き出す際に、ロール紙にしわがよらないように注意しながら引き出します。

11 本装置の前側のクランプレバーを下げます。

前側に引き出したロール紙を、ピンチローラーで固定します。

- ロールホルダーからプラテンに入るまでの間のロール紙に、不均一なテンションによるタワミ、シワが無いかを確認します。
ロール紙を左右均等に引っ張った状態で、クランプしてください。
- 使用するロール紙の幅が広いと、作図中にメディアの端が浮いてきます。「メディア押さえ」を使用して、メディア端を押さえておくと、メディアの浮きを防止して、メディアがよれることなく作図できます。

★ 厚みのあるメディアを使用する場合は、「メディア押さえ」をメディアから外して作図してください。

12 正面カバーを閉じます。

作図は、正面カバーを閉じた状態にしないと実行できません。

メディアをセットしたら

メディアをセットし、正面カバーを閉じます。

ジョグキー【◀】を押します。

キャリッジが動いてメディア検出をします。
その後ローカルモードになります。

<<ローカル>>
ハバ：1100mm

● メディアに直射日光が当たっていると、正しくメディア幅を検出できない場合があります。再度メディアをセットしてください。

メディアを交換する場合

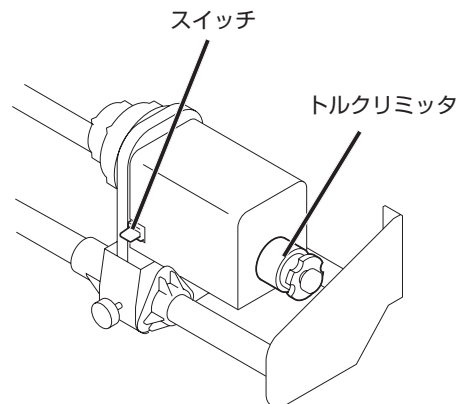
重 要！
★ 使用するメディアを交換する場合は、必ずプリントヘッド、UV 照射器具の高さ調整を確認してください。
★ ロールメディアの巻きが少なくなった場合
紙管に対して、貼り付けてあるメディアが平行ではないため、ピンチローラでのメディア送り時に浮きが生じ、紙ジャムになります。
メディア残量が少ないロールの場合は、粘着のよわい紙管に取り替えるか、またはジョグキーでメディア送りをしてください。

巻き取り装置の使い方

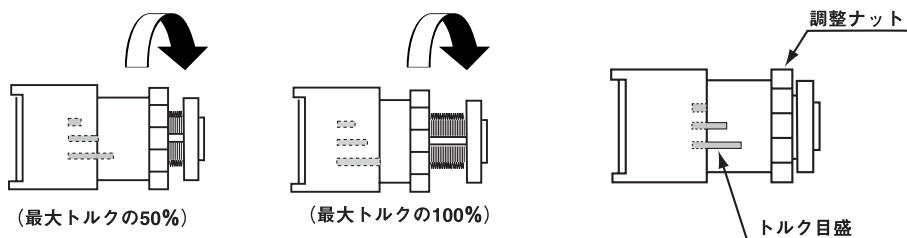
巻き取り装置には、メディアの巻き取り方向や巻き取りのオフを設定するスイッチがあります。

REVERSE ： **作図面を内側にして巻き取ります。**
OFF ： **巻き取りを行いません。**
FORWARD ： **作図面を外側にして巻き取ります。**

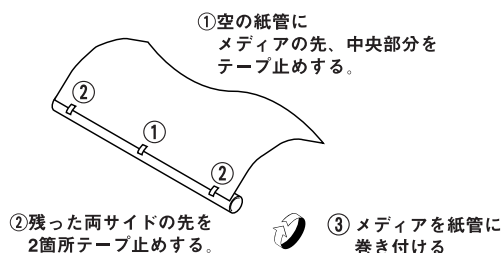
重 要！
★ メディアを巻き取る時の注意事項

作図終了後は、作図によってインクがメディアにのっているところとのらないところの厚みが変わることで、メディアの巻き取りが偏ってしまい紙ジャムを引き起こし、ヘッドを破損する恐れがあります。区切りのよいところでメディアカットを実行し、再度メディアをセットしてから作図を開始してください。

トルクリミッタを調節をする

巻き取り装置には、トルクリミッタが付いています。
トルクリミッタを調整して、巻き取りの強さを変更することができます。
（工場出荷時は、トルクリミッタを最も強く設定してあります。）
薄いメディアを使い、テンションが強すぎる時はトルクリミッタの調節を弱めてください。

●時計回り　：　テンションが強くなる（ターポリン等の重量のある厚いメディア）
●反時計回り：　テンションが弱くなる（軽いメディア）

重 要! ★ トルクリミッタの調節が弱すぎると、メディアを確実に巻き取ることができません。またトルクリミッタの調節が強すぎると、メディアによってはたるんでしまい、画質に影響する場合があります。

紙管へのテープ止め

幅の広いメディアを使用すると、紙管にメディアが付きにくくなる場合があります。
右図を参照し、メディアを巻き取り装置の紙管に固定してください。

リーフ紙をセットする

リーフ紙はロール紙と異なり、メディアをロールホルダーに固定する必要はありません。
リーフ紙は本装置の前側からでも、後ろ側からでもメディアセットが可能です。

> **重 要!** ★ リーフ紙を使用する場合は、メディアが曲がってセットされないように注意してください。プラテン上のメディアガイドを目安にしてセットしてください。

1 正面カバーを開けます。

2 クランプレバーを上げます。

本装置の前側からでも、後ろ側からでもクランプレバーを上げられます。

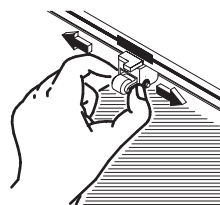
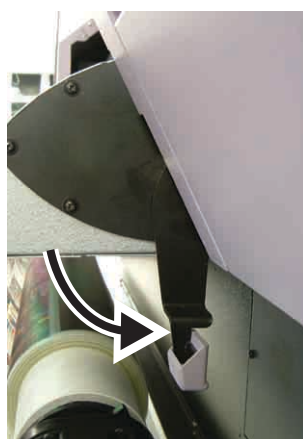
3 リーフ紙をピンチローラーとプラテンの間に差し込みます。

本装置の前側からでも、後ろ側からでもメディアセットが可能です。

4 **ピンチローラーをシートの幅に合わせて移動します。（セット位置例：P.1-10 参照）**

（セット位置例：P.1-10 参照）

● メディアの厚みによって、クランプ圧を変更することが出来ます。（⇒P .1-11）

重 要! ★ ピンチローラーは、ロールシートの端から 5mm 以上内側に移動してください。シートフィード中にシートが外れる原因になります。

5 **クランプレバーを下げます。**

6 **正面カバーを閉じます。**

7 **【ENTER】キーを押します。**

初期動作後、ローカルモードに戻ります。

(COVER OPEN)
< ENT >ヲオシテクダサイ

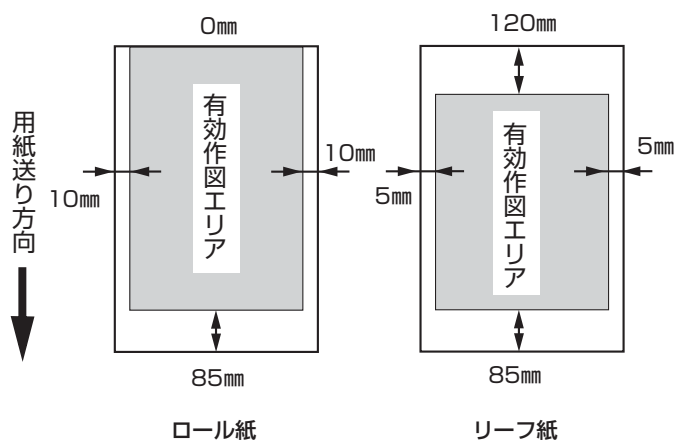
8 **ジョグキー【▶】を押します。**

キャリッジが動いてメディア検出をします。その後ローカルモードになります。

メディアセンタク	
ロール<	>リーフ

<<ローカル>>
ハバ：1100mm

使用するメディアの作図範囲を設定する

本装置は、使用するメディアのサイズに関係なく、機構上作図できないエリアがあります。
この作図不可のエリアを「デッドスペース」と呼びます。
使用するメディアサイズから「デッドスペース」を差し引いた範囲を、メディアの「有効作図エリア」と呼びます。ロール紙とリーフ紙では「デッドスペース」の最低値が異なります。作図する際にご注意ください。

作図原点を設定する

作図原点の設定

作図原点の設定方法は、２種類あります。

●ジョグキーによる作図原点の設定

●ファンクションメニュー「ゲンテン」設定からの作図原点の設定

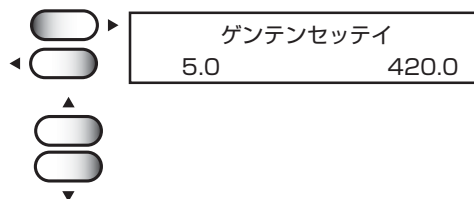
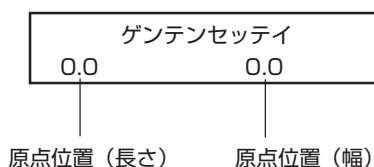
ジョグキーによる作図原点の設定

セットしたメディア上に、データの作図原点を設定します。

メディアをセットしメディア検出が終了した後に、原点設定を行います。

操作手順

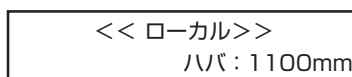
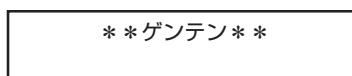
1 メディア検出終了後、ジョグキー【▲】【▼】【◀】【▶】を押し、作図原点を設定する位置までキャリッジとメディアを動かします。

● ヘッドについている「ORIGIN」マークの矢尻下が原点になります。

2 作図原点を決定したら、【ENTER】キーを押します。

<< ローカル>>
ハバ：1100mm

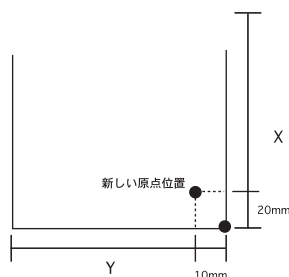
● 再度、作図原点を変更するまで、この設定を保存します。

● 正確に原点設定をする場合は、【FUNCTION】メニューの「ゲンテン」設定で、原点を設定します。

● ジョグキーによる原点設定は、電点をオフにすると原点位置はクリアされます。

正確に作図原点位置を設定する場合［FUNCTION］-［ゲンテン］

原点位置を正確に設定する場合、ファンクションメニューから X,Y 原点の設定をします。
この設定で原点を設定した場合、設定した値が原点位置（0.0）となります。

注意

★ 設定後、電源をオフにしても原点位置はクリアされませんが、ジョグキーで原点を更新する場合は設定した値がクリアされます。（⇒ P.2-22）

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。

<<ローカル>>
ハバ：1100mm

2【FUNCTION】キーを押します。

FUNCTION
FUNCTION
UV ショウトウ ＜ＥＮＴ＞

3 ジョグキー【▲】または【▼】を押し、［ゲンテン］を選択します。

FUNCTION
ゲンテン ＜ＥＮＴ＞

4【ENTER】キーを押します。

ENTER
ゲンテン
Xオフセット ＜ｅｎｔ＞

5 再度【ENTER】キーを押し、［X オフセット］を選択します。
1 行目の（）内数値は、原点位置から最大有効範囲までの距離を表します。

ENTER
ゲンテン (860mm)
Xオフセット： 240mm

6 ジョグキー【▲】または【▼】を押し、数値を入力します。
X 原点の設定します。

7【ENTER】キーを押します。
LCD 表示は、手順 4 に戻ります。

8 ジョグキー【▲】または【▼】を押し、[Y オフセット] を選択します。

ゲンテン
Yオフセット　　　　　＜ｅｎｔ＞

9 【ENTER】キーを押します。

Y 原点の設定します。

ゲンテン　　　　　（1000mm）
Yオフセット：　　　　100mm

10 ジョグキー【▲】または【▼】を押し、数値を入力します。

ゲンテン　　　　　（1000mm）
Yオフセット：　　　　100mm

11 【ENTER】キーを押し、Y 原点を設定します。

LCD 表示は手順 8 に戻ります。原点が設定されました。

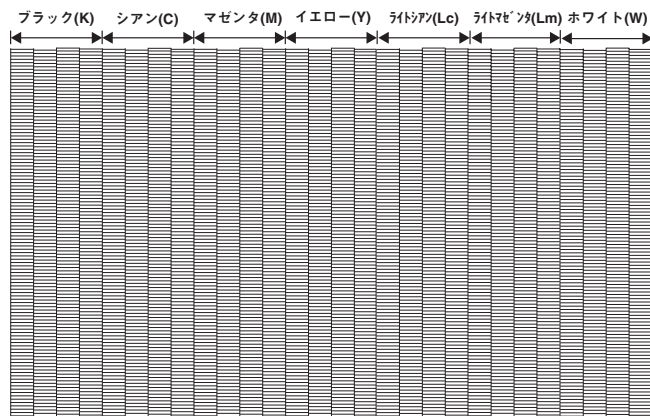
ゲンテン
Yオフセット　　　　　＜ｅｎｔ＞

12 【END】キーを 3 回押して、ローカルモードに戻ります。

＜＜ローカル＞＞
ハバ：1100mm

ノズル詰まりの確認 / 解消

テスト作図を行い、ノズル詰まりなどの作図不良（カスレや抜け）がないか確認します。
異常がある場合は、クリーニング機能を実行します。

正常なパターン

テスト作図を行う

注意

★ UV 照射器具の温度が一定温度になっていない場合、または温水装置の温度が一定温度になっていない場合は、メッセージを表示します。この場合は、作図できません。表示が消えると、作図ができます。

＊＊＊＊＊＊ UV ジュンビチュウ	＊＊＊＊＊＊ オンスイジュンビチュウ

操作手順

メディアがセットされ、原点位置をセットしてあることを確認してください。

1 ローカルモードになっていることを確認します。

```
<<ローカル >>
      ハバ：1100mm
```

2 【TEST】キーを押します。

TEST

```
テストサクズ
ノズルチェック    <ENT>
```

3 【ENTER】キーを押します。
テスト作図を開始します。

ENTER

```
＊＊ テスト サクズ＊＊
```

4 テスト作図が終了すると、ローカルモードになります。

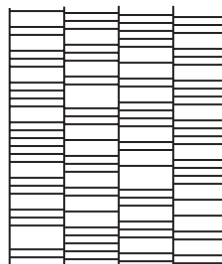
```
<<ローカル >>
      ハバ：1100mm
```

5 作図結果を確認します。
正常な場合は、操作を終了します。
異常があった場合は、次の操作に進みます。

2 基本操作

異常なパターン

下記のような異常なパターンが作図された場合はヘッドのクリーニングを行います。
クリーニングには、２種類あり、パターン作図の結果によって使い分けてください。
また、画質品質が改良されない場合は、吸引ノズル、キャップのクリーニングをする必要があります。３章日常のお手入れを参照してください。

ノーマル：　線の抜けがある時
ハード　：　ノーマルで作図不良が改善しない時

<異常な作図パターン>

クリーニングの実行

1【CLEANING】キーを押します。

CLEANING

クリーニング	
カラー	：KCMYcmW

2 ジョグキー【◀】【▶】を押し、クリーニングを実行する色を選択します。

クリーニング	
カラー	：KCMYcmW

3 ジョグキー【▲】【▼】を押し、クリーニングを実行する色を表示します。
クリーニングを実行しない場合は「＊」にしてください。

クリーニング	
カラー	：K＊＊Y＊＊＊

4【ENTER】キーを押します。

ENTER

クリーニング	
タイプ	：ノーマル

5 ジョグキー【▲】【▼】を押して、クリーニングタイプを選択します。

クリーニング	
タイプ	：ハード

6【ENTER】キーを押します。

ENTER

クリーニング	
クリーニング　カイシ	：ｅｎｔ

7 【ENTER】キーを押して、クリーニングを開始します。

クリーニング
クリーニング　カイシ　　：ｅｎｔ

＊＊クリーニング＊＊
＊＊＊＊ -----------------

8 クリーニングが終了すると、ローカルモードになります。

<<ローカル>>
ハバ：1100mm

9 作図原点が自動的に更新されるので、再度テスト作図を実行し、作図結果を確認します。

作図結果が正常になるまで、＜クリーニング→テスト作図＞を繰り返します。

メディアの送り量を補正する [ﾒﾃﾞｨｱﾎｾｲ]

メディアの種類を交換した場合、巻き取り装置の使用の有無により、メディアの送り量が変化します。必ずメディアの送り量を補正してください。
補正値が適切でないと、作図した画像に縞などが入るなど、綺麗に作図できない場合があります。

> **重 要!** ★ ロールメディアをお使いの場合、メディアホセイを終了すると、作図原点位置までメディアが戻り、本装置背面のロールメディアにたわみが生じます。作図を開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。

補正パターン

右図のパターンを５つ作図します。

５つのパターンのうち２つめ以降の境を見て、境が均等の濃さになるように調整してください。

設定値：-100～+100

＜補正値が大きい場合＞

隙間が空いている

＜補正値が小さい場合＞

重なっている

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。

<<ローカル>>
ハバ：1100mm

2【FUNCTION】キーを押します。

3 ジョグキー【▼】を押して、［セッテイ］を選びます。

4【ENTER】キーを押します。

5 ジョグキー【▲】または【▼】を押して、タイプを選びます。　⇒ P.4-4

6【ENTER】キーを押します。

7 ジョグキー【▼】を押して、［メディアホセイ］を選択します。

8【ENTER】キーを押します。

9 再度【ENTER】キーを押します。

10 出力パターンの状態により、ジョグキー【▲】【▼】を押して、補正値を入力します。

- 補正値を40変更するごとに、帯が約0.1mm移動します。この移動量を参考にして、補正量を決定してください。

11【ENTER】キーを押します。
補正値を登録します。
正常なパターンを作図するまで手順6～8を繰り返します。

ENTER
タイプ゜　1
サクズ゛　カイシ　：ent

12【END】キーを3回押して、メニューがローカルモードまで戻ります。

<<ローカル>>
ハバ：1100mm

データを作図する

作図を開始する

作図の開始手順を説明します。
各種機能の設定は、「4 章　ファンクション機能について」をお読みください。

重 要！
★ UV 照射器具の温度が一定温度になっていない場合、または温水装置の温度が一定温度になっていない場合は、メッセージを表示します。この場合は、作図できません。表示が消えると、作図ができます。

<リモート> UV ジュンビチュウ	<リモート> オンスイジュンビチュウ

★「セッテイ」機能の「ブンハンインサツ」設定（⇒ P.4-6）を「ON」にしている場合は、印刷方法が異なります。P.2-31 参照してください。

● 両方のエラー表示がされていても、データは送信できます。作図は表示が消えてから開始します。

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。
メディアがきちんとセットされ、原点が設定されていることを確認します。

<<ローカル>>
ハバ：1100mm

2 【REMOTE】キーを押します。

<リモート>

● UV 光量で[レイヤ]を設定している場合は、リモート表示の右下にレイヤ番号を表示し、光量を確認できます。
この状態で、ジョグキー【▲】または【▼】を押してレイヤを変えて、UV 光量を変更できます。

<リモート>
1

UV 光量のレイヤ番号

3 コンピュータからデータを送信します。
作図条件を表示します。
データの送信方法については、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

<リモート>　600 X 600
HOST ／ 4P

優先順位 (P.4-6)　パス　解像度 600 DPI

作図を自動的に開始します。

重 要！
★ 作図中に UV ランプによる熱で、メディアが浮き上がり、印刷が中断される場合があります。新しいメディアをセットし、作図を開始してください。

色ごとに分けた作図データを重ねて印刷する（分版印刷）

作図データをカラー、白インクの色ごとに分けた作図データを重ねて印刷すること（以下、分版印刷）により、より鮮やかな印刷結果を得ることが出来ます。
設定機能の「ブンハンインサツ」設定（⇒ P.4-6）を「ON」にすると、分版印刷が可能です。各色ごと重ねて印刷するため、印刷時には作図位置がずれないよう調整を行いながら作図データを印刷します。

- 分版印刷をする場合は、かならず「ブンハンインサツ」の設定を「ON」にしてください。（⇒ P.4-6）
- 「ブンハンインサツ」の設定が「OFF」の場合は、通常の印刷と同じです。
- 分版印刷用の作図データを作成する場合（色置換による）は、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

重 要！ ★ 本装置側で各色の作図データを受信する回数と、コンピュータから送る色ごとの作図データ数をかならず一致させてください。一致させていない場合は、作図位置がずれ、良い印刷結果を得ることが出来ません。

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。

メディアがきちんとセットされ、原点が設定されていることを確認します。

```
<<ローカル>>
ハバ：1100mm
```

2【REMOTE】キーを押します。

REMOTE

```
イチチョウセイ    ：キジュン
サクズカイシ      ：ent
```

3 基準線を作図するため、【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
＊＊サクズチュウ＊＊
```

2本の作図基準線が作図データ前に印刷されます。
基準線の作図終了後、リモートモードに戻ります。

```
<リモート>
```

- 「基準線の作図について」をご覧ください。（⇒ P.2-35）

4 コンピュータから1版目のデータを送信します。

作図条件を表示します。データの送信方法については、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

5 作図を開始します。

- 作図原点は、作図が終了しても変更されません。

重 要！ ★ 作図中に UV ランプによる熱で、メディアが浮き上がり、印刷が中断される場合があります。新しいメディアをセットし、作図を開始してください。

●作図例

6【ENTER】キーを押します。

ENTER

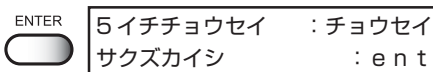
<リモート>

7 **２版目の調整パターンを基準線の上に作図するため、【ENTER】キーを押します。**

２版目を印刷する前に、１版目と２版目のズレを確認するため、基準線の上に調整パターンが作図されます。

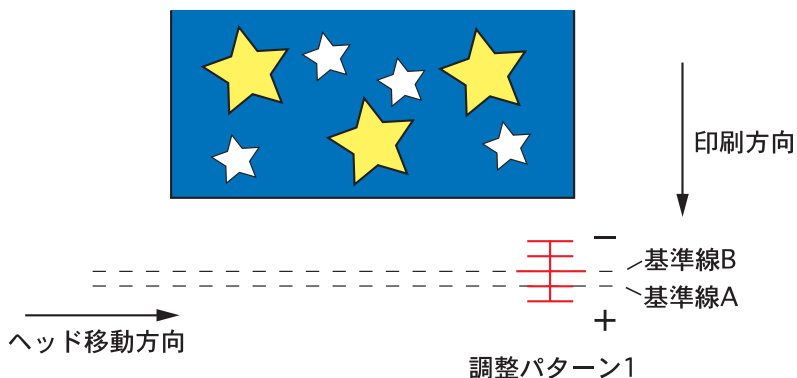
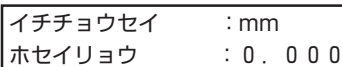
ENTER

５イチチョウセイ	：チョウセイ
サクズカイシ	：ｅｎｔ

重 要！ ★ ブンハンインサツの設定（⇒P.4-6）で、「パターンサクズ」が「OFF」の場合は、この表示がありません。

＊＊サクズチュウ＊＊

調整パターンの作図後、補正量の入力画面になります。

イチチョウセイ	：mm
ホセイリョウ	：０．０００

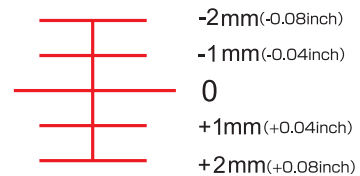
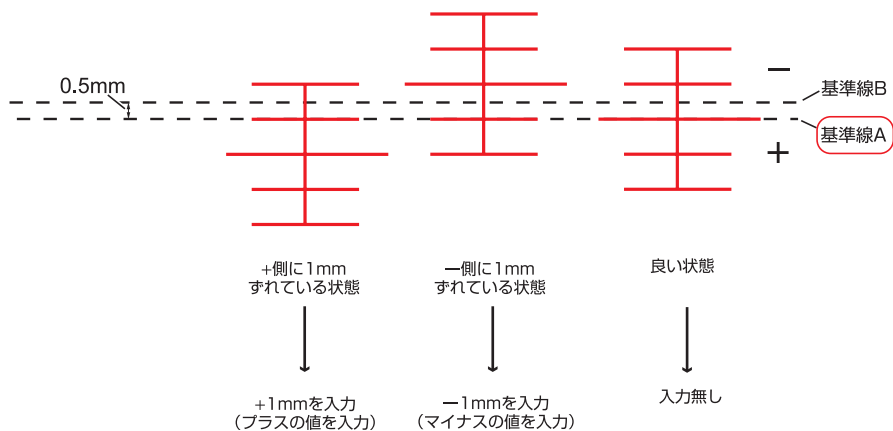
重 要！ ★ 調整パターンが作図されると、ズレ量確認のため、メディアがプラテン上まで移動します。正面カバーは開けないでください。

8 ジョグキー【▲】【▼】で、補正量を入力します。

基準線Aに対して、調整パターンの目盛り「0」位置がプラス側またはマイナス側にズレている場合、そのズレ量にしたがって、補正量を入力します。

●プラス側にズレている　　⇒プラスの値を入力
●マイナス側にズレている　⇒マイナスの値を入力

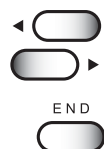
基準線Aと基準線Bとの距離は0.5mmとなっています。
補正量の単位は0.125mm単位（インチの場合は0.005インチ単位）になっています。

```
イチチョウセイ　　　：mm
ホセイリョウ　　　：０．０００
```

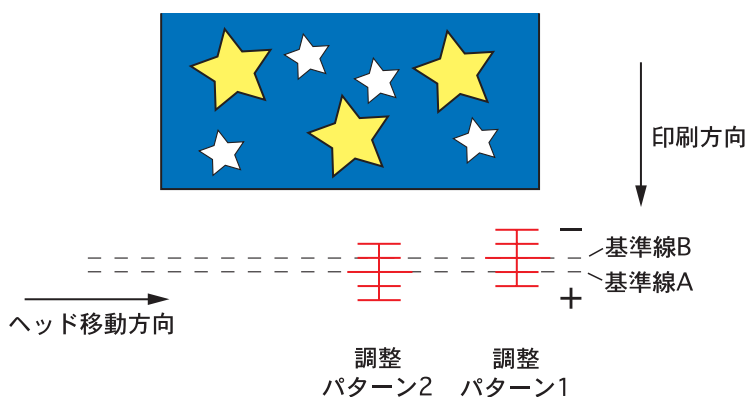
調整パターンの目盛り

基準線と調整パターンの関係

9【ENTER】キーを押すと、調整パターン終了画面になります。

ENTER

```
イチチョウセイ　　　：mm
ホセイリョウ　　　：１．０００
```

ジョグキー【◀】........... 入力した補正量の調整パターンをサクズします。
ジョグキー【▶】........... 補正量入力を終了し、リモートモードになります。
【END】キー................. 補正入力画面に戻ります。

10 ジョグキー【◀】を押して、入力した補正量の調整パターンを作図します。

```
イチチョウセイ        ：mm
サクズ<          >シュウリョウ
```

```
＊＊サクズチュウ＊＊
```

11 ズレが無いことを確認し、【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
イチチョウセイ        ：mm
ホセイリョウ        ：０．０００
```

12 補正入力終了のためジョグキー【▶】を押し、リモートモードにします。

```
イチチョウセイ        ：mm
サクズ<          >シュウリョウ
```

```
<リモート>
```

13 コンピュータから２版目のデータを送信します。

作図条件を表示します。データの送信方法については、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

14 １版目の上に、２版目の作図を開始します。

15 作図後、手順６に戻ります。

> **重 要！** ★ 印刷回数は、「ブンハンインサツ」の「サクズカイスウ」設定により異なります。初期値は３回となっています。

16 手順７から１３を再実行し、分版印刷を終了します。

作図後、【REMOTE】キーを押して、ローカルモードに戻ります。

＜＜ローカル＞＞
ハバ：1100mm

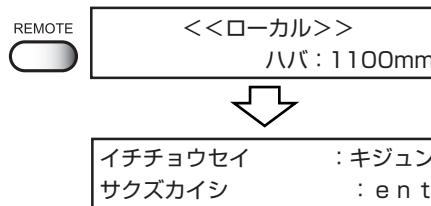
重要!

★ 作図途中で中断する場合は、データクリアを実行します。データクリア後は、かならず次に作図をする場合は作図をする前に基準線を作図します。

★ 一版目の作図後から設定された作図回数を作図する間に、使用できる機能は以下です。
・ヘッドクリーニング（クリーニングキーによる⇒ P.2-26）
・データクリア（データクリアキーによる⇒ P.2-36）
・リモートモードにしてオンライン作図（リモートキー⇒ P.2-30）

★ 一版目の作図後から設定された作図回数を作図する間、上記以外のキーを押さないでください。操作エラーが発生します。

基準線の作図について

１版目の前に、ローカルモード画面からリモートキーを押すと、かならず基準線を作図するLCD表示の条件は以下になります。

● 【REMOTE】キーを押して、基準線を作図するため、【ENTER】キーを押す場合。

● 「ブンハンインサツ」設定で、設定が「ON」になっている場合（P.4-6）

⇒ 設定後、何らかの形で本装置の電源を再度オンにした後、【REMOTE】キーを押す場合。

⇒ 作図原点を更新した後に、【REMOTE】キーを押す場合。

● 「ブンハンインサツ」設定（P.4-6）で、設定を「OFF」から「ON」に変更して、【REMOTE】キーを押す場合。

● オンラインで作図中にデータクリアを押して作図データを削除し、再度リモートモードにして作図データを送信する場合

白版・カラー版を重ねて印刷する（白重ね作図）

ファームウエアのバージョン Ver2.30 より、Raster Link ProII を使用して白（特色）重ね作図が可能になります。
本体側では優先順位を“ホスト”に設定し、RIP 側の指定により白インクにカラーインクを重ねる、もしくはカラーインクに白インクを重ねるなどの方式を選択し印刷できます。
分版印刷と比べ、メディアを戻す事なく白版（特色版）・カラー版を印刷するため、重ね合わせの精度が上がります。
印刷時間は分版印刷で白版・カラー版を印刷する場合とほぼ同じです。

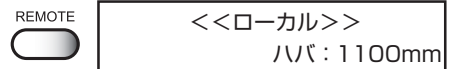
白（特色）重ね機能の詳細については、Raster Link ProII に付属のマニュアル「リファレンスガイド　JV シリーズ / UJ V -110/ D S シリーズ編」の“特色版を自動的に作成する”を参照してください。

作図を中止する

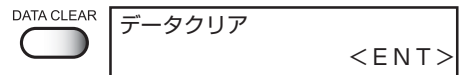
作図を途中で中止する場合、作図動作を止め、すでに受信したデータを本装置から消去します。

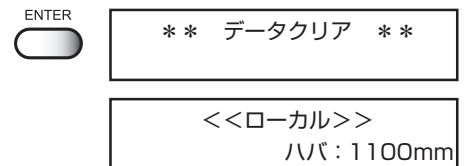
操作手順

1. 作図中に、【REMOTE】キーを押すと、作図動作を中止します。

REMOTE

<<ローカル>>
ハバ：1100mm

2. コンピュータからデータを送信している場合は、コンピュータ側でデータ送信を止めます。

3. 【DATA CLEAR】キーを押します。

4. 【ENTER】キーを押します。
   受信したデータを消去し、ローカルモードに戻ります。

2
基本操作

作図が終了したら[メディアカット]

作図を終了した後のメディアカットについて説明します。

★ 作図を終了しても本装置の主電源スイッチをオフにしないでください。ノズル詰まりの原因になります。

重 要!
★ 自動でメディアカットをしない設定にしてある場合は、以下の手順でメディアをカットします。

操作手順

1 ローカルモードにします。
【REMOTE】キーを押して、ローカルモードに戻します。

2 ジョグキー【▲】【▼】を押します。
メディアカットする位置を決めます。

3【FUNCTION】キーを押します。

4【ENTER】キーを押します。
メディアをカットします。

5 ローカルモードに戻ります。
作図前の状態に戻ります。

<<ローカル>>
ハバ：1100mm

新しいインクに交換する

インクカートリッジ内のインクが少なくなってくるとメッセージを表示します。
なお、作図は続行できますが、作図中にインクが無くなる場合があります。
速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。

重 要！
★[ニアエンド]を表示したら、速やかにインクを交換してください。
★インクカートリッジを差し込む場合は、IC チップがある方を上面にむけて、横にして差し込んでください。

<使用中に、インク残量が少なくなった場合>

インク残量が少ない色を表示します。
下記の手順に従いインクを交換してください。
右の表示は、ブラックインクの残量が少ないことを示しています。

<<ローカル>>　ニアエンド
カラー　　　　　：K

交換手順

1【REMOTE】キーを押して、ローカル モードにします。

2 新しいインクと交換します。
インク色を表示したインクカートリッジを引き抜いて、新しいインクカートリッジをセットします。

3【REMOTE】キーを押して、リモートモードにします。
連続して作図ができます。

2
基本操作

カートリッジ異常が発生したら

インクカートリッジに異常が発生したら、メッセージを表示します。
作図、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。
速やかに新しいインクカートリッジに交換して下さい。

注意 ★カートリッジ異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの原因になります。ノズルが詰まった場合、サービスマンによる修理が必要になります。

1 カートリッジ異常の詳細を表示します。

カートリッジ異常の内容を確認することができます。詳細は、「6章困ったときは」のメッセージを表示するトラブルを参照してください。

！インクカートリッジ	
カラー	：KCMYcmW

！インク　IC イジョウ	
カラー	：KCMYcmW

！カートリッジイジョウ	
カラー	：KCMYcmW

！ヒジュンセイ　インク	
カラー	：KCMYcmW

！インク　シュルイ	
カラー	：KCMYcmW

！インク　カラー	
カラー	：KCMYcmW

！キゲン　ギレ	(2 カゲツ)
カラー	：KCMYcmW

電源のオフ

電源をオフにするときは、データを受信していないか、未出力のデータが残っていないかを確認してください。

> **重要!**
> ★ カバーは閉めたままにしてください。
> ★ UV 電源装置の消灯作業を行い（⇒ P.4-8）、クーリングランプ（オレンジ）が消えてから、UV 電源をオフしてください。

1 UV 消灯作業を開始します。（⇒ P.4-8 参照）

2 UV ランプ表示灯の「COOLING」ランプ（オレンジ）が消えます。

3 接続してあるコンピュータの電源をオフにします。

4 主電源スイッチをオフにします。
「○」側へ倒します。

3章
日常のお手入れ

日常行うお手入れについて説明します。

お手入れに必要な消耗品は、販売店または弊社営業所でお求めください。

・清掃棒（型番：SPC-0386）
・メンテナンス用洗浄液（型番：SPC-0385）

本書の内容

日常のお手入れ

本装置の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

長期間使用しない場合は

★ 必ず主電源スイッチをオフにしてください。（⇒ P.2-41）

★ セットしてあるメディアを取り除いてください。

お手入れ上のご注意

重 要！

★ 本装置は、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。

★ 本装置の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。

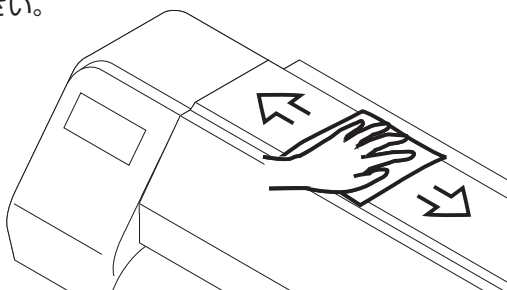
★ UV ランプの温度が完全に下がってから、お手入れを行ってください。火傷をする危険性があります。

★ ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。

カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。

★ 本装置の内部に潤滑油などを注油しないでください。プリンタ内部が故障する恐れがあります。

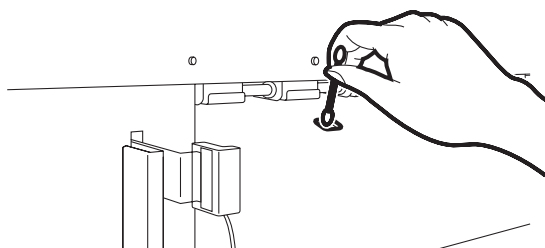
外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、堅くしぼってから拭き取ってください。

プラテンの清掃

重 要!	★ プラテンの清掃は、プラテンの温度が十分下がった状態で行ってください。

プラテン上は、メディアをカットするため、糸や紙粉等で汚れます。ペーパータオルで汚れを拭き取ってください。インクが付着している場合は、メンテナンス用洗浄液をスポイトで垂らし、ペーパータオルで拭き取ります。

メディアセンサーの清掃

綿棒でセンサーの表面にたまったホコリ等を取り除いてください。

画質不良が解消されない場合は[ｽﾃｰｼｮﾝﾒﾝﾃ]

ステーション内部の汚れがひどい場合、またプリントヘッドのクリーニング機能（⇒ P.2-26）を実行しても画質不良が解消されない場合は、洗浄キットを使用して吸引ノズルとキャップのクリーニングを行います。

クリーニングに必要な物：清掃棒（SPC-0386）・メンテナンス用洗浄液（SPC-0385）
　　　　　　　　　　　手袋・ゴーグル

重 要！

- ★ 清掃をする場合は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。
- ★ キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジは操作キーを使用して動かします。

ステーション内部の洗浄

操作手順

1 ローカルモードから、【FUNCTION】キーを押します。

<<ローカル>>
ハバ：1100mm

FUNCTION
FUNCTION
UV ショウトウ　　＜ＥＮＴ＞

2 ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。

▲ ▼
FUNCTION
メンテナンス　　＜ＥＮＴ＞

3【ENTER】キーを押します。

ENTER
メンテナンス
リスト　　＜ｅｎｔ＞

4 ジョグキー【▲】【▼】を押して、[ステーションメンテ]を選びます。

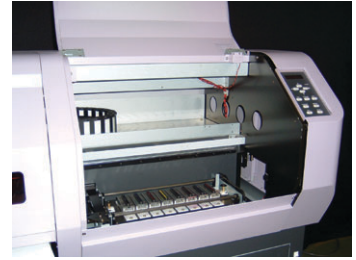
▲ ▼
メンテナンス
ステーション　メンテ ＜ｅｎｔ＞

5【ENTER】キーを押します。

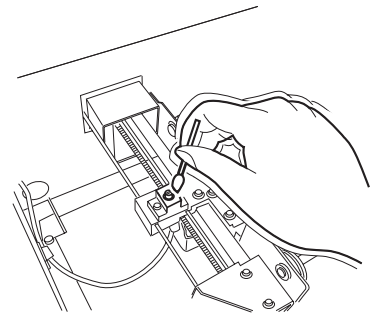
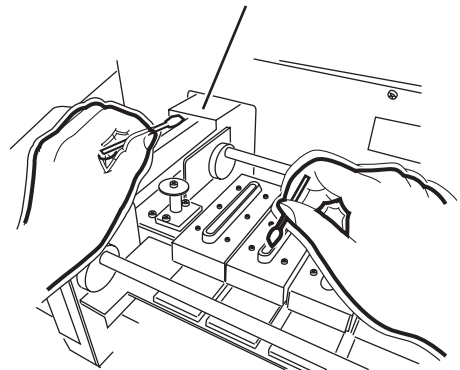
ENTER
ステーション　メンテ
キャリッシ゛ アウト　：ｅｎｔ

6 再度【ENTER】キーを押します。
キャリッジがプラテン上に移動します。

ENTER

7 右側のメンテナンスカバーを開けます。

8 メンテナンス用洗浄液を含ませた専用の清掃棒で吸引ノズルのよごれを取り除きます。

重 要！ ★ 吸引ノズルはていねいにクリーニングしてください。

● 汚れ、曲がりがひどい場合は、新しい吸引ノズルと交換する必要があります。販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。

9 キャップのゴムや、吸引ノズルカバーの内側に付着したインク等を専用の清掃棒で拭き取ります。

10 メンテナンスカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。

初期動作を実行し、メディア選択画面に戻ります。

ステーション　メンテ シュウリョウ　　　　　：ｅｎｔ

シバ゛ラク　オマチクダ゛サイ

メディア　センタク ロール<　　　　　>リーフ

フラッシングトレーのクリーニング

フラッシングトレーにたまった廃インクをふき取ります。

クリーニングに必要な物：メンテナンス用洗浄液（SPC-0385）・手袋・紙タオル・ゴーグル

> **重 要！**
> - ★ 清掃をする場合は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。
> - ★ キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジは操作キーを使用して動かします。
> - ★ フラッシングトレーにたまった廃インクは、こまめに取り除いてください。UV ランプの光に当たり、固まって除去できなくなる場合があります。

操作手順

1 ローカルモードから、【FUNCTION】キーを押します。

```
＜＜ローカル＞＞
ハバ：1100mm
```

FUNCTION

```
FUNCTION
UV ショウトウ        ＜ＥＮＴ＞
```

2 ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。

```
FUNCTION
メンテナンス         ＜ＥＮＴ＞
```

3 【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
メンテナンス
リスト               ＜ｅｎｔ＞
```

4 ジョグキー【▲】【▼】を押して、[ステーションメンテ]を選びます。

```
メンテナンス
ステーション　メンテ ＜ｅｎｔ＞
```

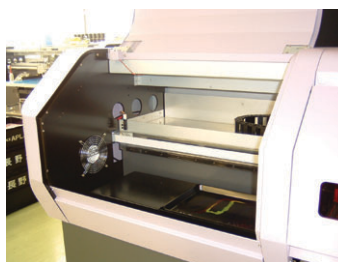
5 【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
ステーション　メンテ
キャリッシ゛ アウト       ：ｅｎｔ
```

6 【ENTER】キーを押します。
キャリッジがプラテン上に移動します。

ENTER

7 左側のメンテナンスカバーを開けます。

8 **フラッシングトレーにたまった廃インクをメンテナンス用洗浄液を含ませた紙タオルで拭き取ります。固まったインクがある場合は、軽くたたいて取り除きます。**

重要！ ★ UV ランプの光によって強固に固まり、除去できなくなったインクがある場合、固まったインクによってヘッドを破損する恐れがあります。この場合には、新しいフラッシングトレイと交換する必要があります。販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。

9 **メンテナンスカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。**

初期動作を実行し、メディア選択画面に戻ります。

ステーション　メンテ シュウリョウ　　　　：ｅｎｔ
シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ
メディア　センタク ロール<　　　　>リーフ

温水装置の水を交換する[オンスイコウカン]

インクの状態を適温に保つため、温水装置を稼働させます。温水装置内の温水タンクに、不凍液と水をいれます。半年に一回、必ず確認してください。

補充・交換に関する注意

重 要!
- ★ 水のつぎたしはできません。
- ★ 水と不凍液の混合液の割合は、水２：不凍液１にしてください。その後補充、または交換を行ってください。
- ★ 不凍液を入れず、水だけを温水タンクに入れた場合は、ヘッドが故障する原因になります。
- ★ 温水装置に必要な水量、温水タンク内の汚れを確認するために半年に一回、温水装置の確認をしてください。
- ★ 温水タンクの水不足が頻繁に起きる場合は、販売店または弊社営業所までサービスコールしてください。
- ★ 不凍液と混ぜた水は、使用している地域の条例に従って処分してください。

不凍液の取り扱い上のご注意

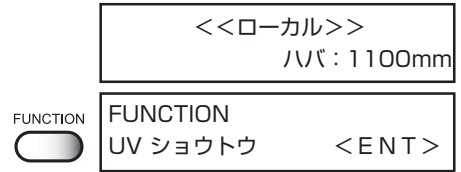
重 要!
- ★ 不凍液を取り扱う場合は、必ず付属のゴーグルおよび手袋を着用してください。
- ★ 不凍液は、弊社専用の不凍液をご使用ください。温水装置が故障する恐れがあります。
- ★ 不凍液には直接ふれないようにしてください。誤って不凍液を付けてしまった場合は、石けんを使って、すぐに流水で洗い落としてください。万一、不凍液が目に入った場合は、大量の流水で洗い、医師に相談してください。
- ★ 不凍液は冷暗所で保存してください。
- ★ 不用となった不凍液は、産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託してください。

- ● 予備の温水タンクをお求めの場合は、お近くの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- ● 廃温水タンク水を移すポリエチレンタンクをご用意ください。
- ● 温水タンクの水が不足すると、次のエラーを表示します。エラーを表示した場合は、次ページの手順と同様に、水を交換してください。

```
ERROR 70
ミズブソク
```

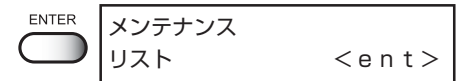
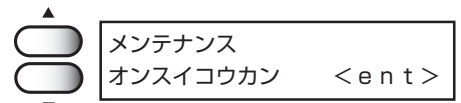
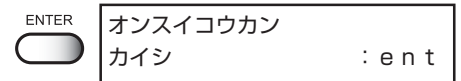
不凍液の補充・交換方法

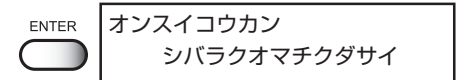
1 ローカルモードから、【FUNCTION】キーを押します。

<<ローカル>>
ハバ：1100mm

2 ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。

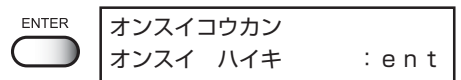
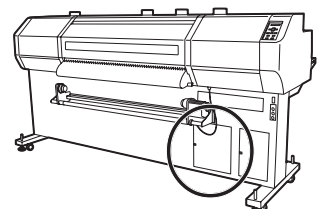
3【ENTER】キーを押します。

ENTER

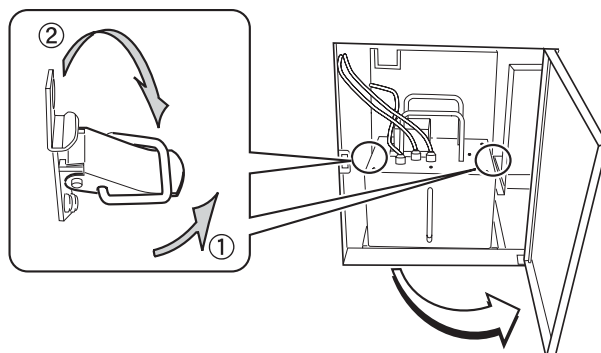
メンテナンス
リスト　<ent>

4 ジョグキー【▲】【▼】を押して、[オンスイコウカン]を選びます。

5【ENTER】キーを押します。

6【ENTER】キーを押すと、温水装置の冷却作業を開始します。

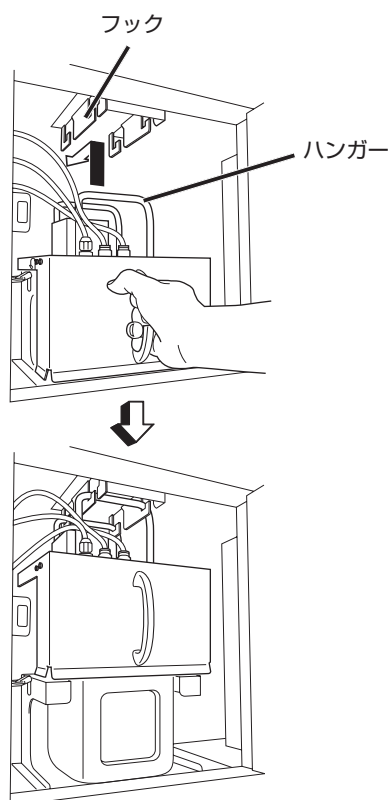
オンスイコウカン
シバラクオマチクダサイ

★「シバラクオマチクダサイ」が消えるまえに、温水装置は触らないでください。高温のため、火傷をする恐れがあります。また、交換作業前に本装置を使用していた場合、「シバラクオマチクダサイ」が消えるまで約20分程かかります。

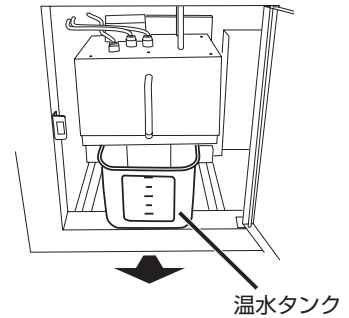
7 [オンスイハイキ] が表示されたら、【ENTER】キーを押します。

オンスイコウカン
オンスイ　ハイキ　：ent

8 温水装置カバーを開けます。

3

日常のお手入れ

9 カバーの両サイドにあるキャッチクリップを外します。

10 温水装置カバーを持ち上げ、温水装置のハンガーをフックにかけます。

> **注意** ★ フックにハンガーを掛ける際は、ケーブル、チューブを折り曲げたり、無理な力をかけて引っ張らないでください。温水装置の故障の原因となります。

11 温水タンクを取り出します。

> 重要！ ★ 水がこぼれないように取り出してください。万一、こぼれてしまった場合は、必ずふき取ってください。

12 廃温水タンク水を別のポリエチレンタンクに移します。

> 重要！ ★ 廃温水タンク水は、使用している地域の条例に従って処分してください。

13 空の温水タンクを温水装置にセットします。

14 温水装置を元に戻し、キャッチクリップを締めて、カバーを閉じます。

15【ENTER】キーを押します。
本装置内にたまった不凍液を排出します。

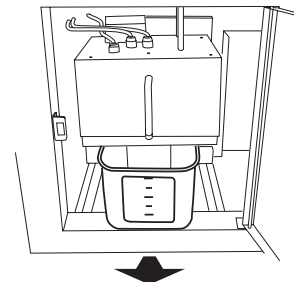
ENTER

オンスイコウカン
タンク　セット　　　　：ｅｎｔ

オンスイコウカン
シバラクオマチクダサイ

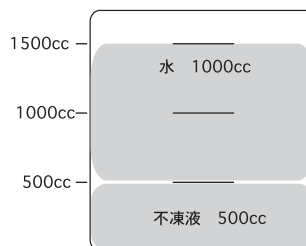
16［オンスイハイキ］が表示されたら、【ENTER】キーを押します。

オンスイコウカン
オンスイ　ハイキ　　　：ｅｎｔ

17 温水装置カバーを開け、温水タンクを取り出します。

18 再度、廃温水タンク水を別のポリエチレンタンクに移します。

不凍液と水の割合

19 温水タンクを洗います。

> **重要!** ★ 中性洗剤を使用してタンクを洗った場合は、よく水でタンクをゆすいでください。

20 温水タンクに不凍液と水を入れます。

付属の不凍液 500cc を入れた後に、水 1000cc の水を入れてください。

21 温水タンクと温水装置を元に戻し、キャッチクリップを締めて、カバーを閉じます。

22【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
オンスイコウカン
フトウエキ　セット　　　：ｅｎｔ
```

23【END】キーを押し、［オンスイコウカン］を終了します。

END

```
メンテナンス
オンスイコウカン　　　＜ｅｎｔ＞
```

白インク（ホワイト）の定期メンテナンス[ホワイトメンテナンス]

白インク（ホワイト）は他のインクに比べて沈殿しやすい性質があります。
本装置を２週間以上使用しない場合、プリンタ内部またはカートリッジ内部で沈殿する場合があります。沈殿した場合、作図時にノズル詰まりが発生し、正常な作図結果が得られなくなります。これを防ぐため、また白インクの状態を良好に保つために、必ず下記の定期的メンテナンスを行ってください。

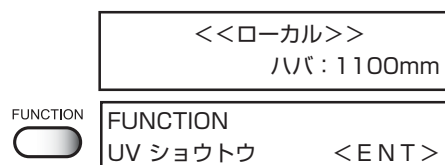
重 要！
- ★ １週間に１度、必ず白インクの状態を良好に保つため、インクカートリッジを抜き、白インクを 10 回程度ゆっくりと、上下に振ってください。
- ★ 弊社推奨のインクカートリッジをご使用ください。

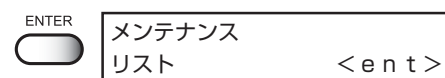
操作手順

1 ローカルモードから、【FUNCTION】キーを押します。

＜＜ローカル＞＞
ハバ：1100mm

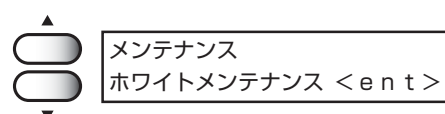
FUNCTION
UV ショウトウ　＜ＥＮＴ＞

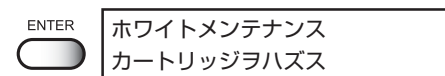
2 ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。

3 【ENTER】キーを押します。

ENTER

メンテナンス
リスト　＜ｅｎｔ＞

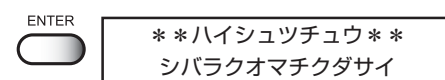
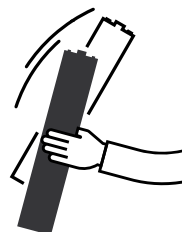
4 ジョグキー【▲】【▼】を押して、[ホワイトメンテナンス]を選びます。

メンテナンス
ホワイトメンテナンス ＜ｅｎｔ＞

5 【ENTER】キーを押します。

ENTER

ホワイトメンテナンス
カートリッジヲハズス

6 白インクカートリッジをインクステーションから抜きます。

7 【ENTER】キーを押します。
白インクの排出作業を行います。

＊＊ハイシュツチュウ＊＊
シバラクオマチクダサイ

8 白インクカートリッジを 10 回程度ゆっくりと上下に振ります。

9 白インクカートリッジをインクステーションに戻します。

10 【ENTER】キーを押し、インク充填を開始します。

白インク充填終了後に、右記表示になります。

```
ホワイトメンテナンス
カートリッジヲセット
```

```
＊＊ジュウテンチュウ＊＊
シバラクオマチクダサイ
```

```
メンテナンス
ホワイトメンテナンス ＜ｅｎｔ＞
```

廃インクタンクのインクが溜まったら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、廃インクタンクに溜まります。

- 予備の廃インクタンクをお求めの場合は、お近くの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- 廃インクを移すポリエチレンタンクをご用意ください。

> **重 要!**　★ ヘッドクリーニング中などのインク排出中の場合は、排出が終了してから作業を行ってください。

廃インクがタンクに一杯になると、次のエラーを表示します。

```
！ハイインクタンク
ハイインクタンク　フル
```

交換手順

1 廃インクボックスカバーを開けます。

2 廃インクタンクを下げながら、手前に引き出します。

> **重 要!**
> ★ 廃インクタンクを引き出す際に、廃インクを飛ばさないように、廃インクタンクの口をティッシュなどで押さえながら、ゆっくり引き出してください。
>
> ★ インクで床を汚さないように、下に紙を敷いてから廃インクタンクを交換してください。

3 廃インクを別のポリエチレンタンクに移します。

> **重 要!**　★ 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。

4 空にした廃インクタンクを再度セットします。
廃インクボックスカバーを締めます。

> **注 意**　★ 空の廃インクタンクを入れる場合には、指などのけがかないようにに注意して入れてください。

5 【ENTER】キーを押して、終了します。
ローカルモードに戻ります。

ENTER

```
ハイインク　タンク
タンクショリカンリョウ　：ｅｎｔ
```

```
＜＜ローカル＞＞
ハバ：1100mm
```

作図中のインク滴のボタ落ちを防ぐために

キャリッジ下面のヘッドガードプレートには、作図によるインク滴が発生することがあります。インク滴のボタ落ちによりメディアが汚れたり、作図不良の原因となりますので、定期的にキャリッジ下面をクリーニングしてください。
クリーニングに必要なもの：清掃棒（SPC-0386）・手袋・ゴーグル
　　　　　　　　　　　　　メンテナンス用洗浄液（SPC-0385）

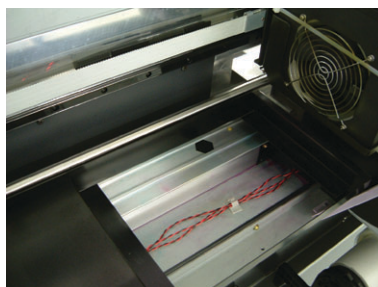
重 要！
★ 必ず電源をオフにしてから、クリーニングを行ってください。
★ 十分に UV 照射器具が冷えてから作業を行ってください。

操作手順

1 ジョグキーを押し、キャリッジをプラテン上へ動かします。

2 電源をオフにします。（⇒ P.2-41）

3 左側メンテナンスカバーを開けます。

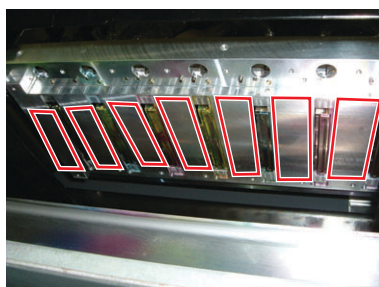
4 フラッシングトレイを外します。

5 左側メンテナンスカバー下面をとめているネジ２個をマイナスドライバーではずします。

6 下カバーを外します。

7 キャリッジを左側へ動かします。

8 メンテナンスカバー下面からメンテナンス洗浄液を含んだ専用の清掃棒でキャリッジ下面をクリーニングします。
右図の枠内をクリーニングしてください。

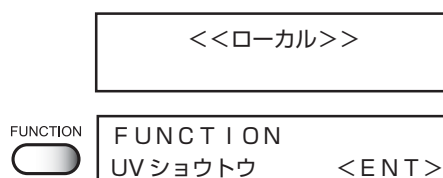
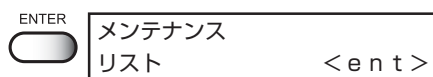
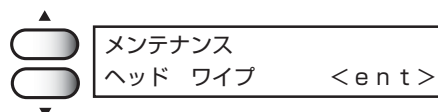
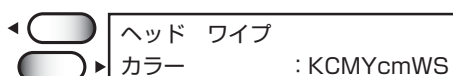
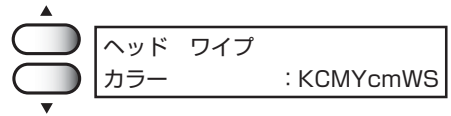
★ ヘッド、ノズルには絶対に触らないでください。破損する原因になります。

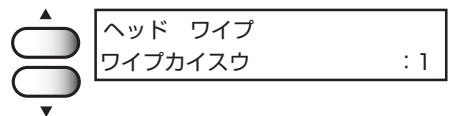
★ キャリッジ下面のクリーニングがしずらい場合は、ヘッド高さ調整ネジをつかって、ヘッドを上げてから、クリーニングを行ってください。

● 専用の清掃棒をお求めの際は、販売店または弊社営業所までお問い合わせください。

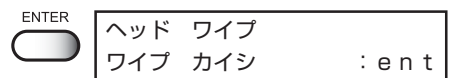
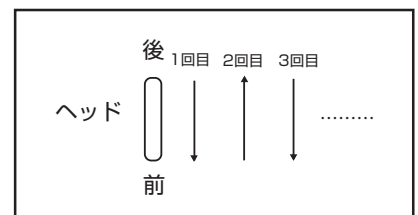
9 クリーニング終了後、元に戻します。

ノズル面のクリーニング

ヘッドのノズル面に、作図によるインク滴が発生したり、インク滴のボタ落ちによりメディアを汚した場合に実行してください。

操作手順

1. ローカルモードから、【FUNCTION】キーを押します。
2. ジョグキー【▲】または【▼】を押し、［メンテナンス］を選びます。
3. 【ENTER】キーを押します。
4. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、［ヘッド　ワイプ］を選びます。
5. 【ENTER】キーを押します。
6. ジョグキー【◀】または【▶】を押し、インク滴が付着しているヘッドを選択します。

ヘッド　ワイプ
カラー :KCMYcmWS

7 ジョグキー【▲】または【▼】を押し、ワイプのオン / オフ表示します。
OFF 表示は - となります。

8【ENTER】キーを押します。

9 ジョグキー【▲】または【▼】を押して、ワイピングの回数１～９回を選びます。

10【ENTER】キーを押します。

11【ENTER】キーを押します。

ワイピングが開始されます。

吸引の動作

4章
ファンクション機能について

ファンクション機能について説明します。

本章の内容

ファンクションメニューについて

ファンクションメニューとは、本装置の作図条件を設定するメニューのうち、ファンクション（作図機能）について設定する項目のことを言います。ファンクションメニューの構造と操作を覚えて、作図条件を設定しましょう。
（ファンクションメニューの[メンテナンス]については、「5 章メンテナンス機能」をお読みください。）

ファンクションメニューの設定は、一連の作図設定をまとめて使用可能にするために、まず最初に設定する作図方法をタイプ１から４に割り当ててから、各詳細設定を行います。

作図条件の設定の前に

作図条件の各設定をする前に、ファンクションメニューの基本操作について説明します。
以下の３点を確認してから、ファンクションメニューの作図条件の各設定をします。

1. メニューモードが《 ローカル 》モードになっているかを確認します。
2. ディスプレイに表示する言語が選択してあるか確認します。
3. 作図条件の一連の設定を記憶する[タイプ]を選択します。

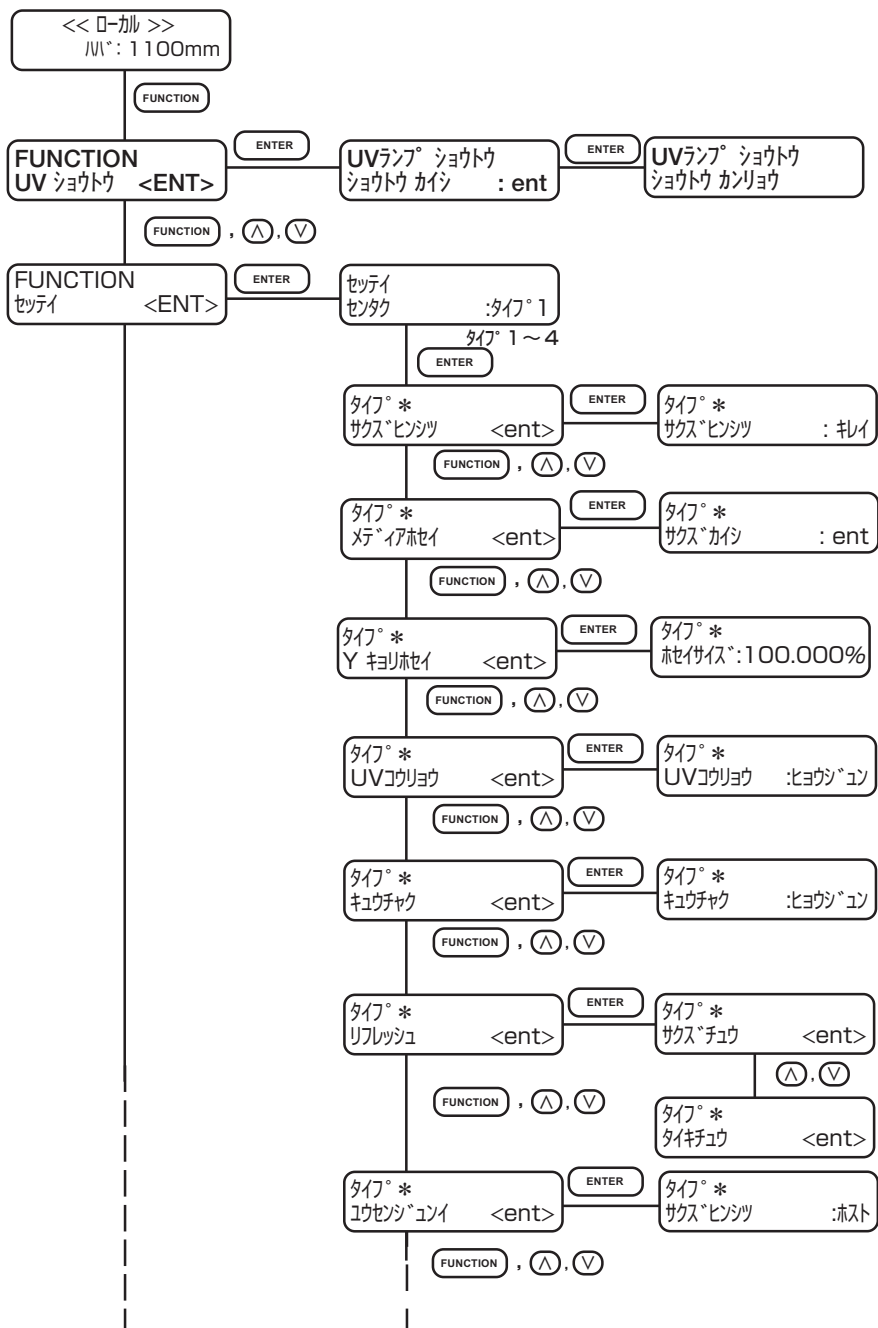
ファンクションメニュー設定の前に基本操作の確認をして、各作図条件を設定します。

メニューモードを確認する

ファンクションメニューの設定をする前に、メニューモードを確認します。
メニューモードは、ローカルモードまたはファンクションモードから開始します。
ディスプレイが、《 ローカル 》または《 FUNCTION 》になっているかを確認します。

メニューの基本操作

ここでは、各モードの切り替え、メニューの操作方法について説明します。
各メニューに入る操作は、下図のようになります。
詳細なメニュー構造は、付録をご覧ください。

4
ファンクション機能

複数の作図条件をまとめて登録する（タイプの選択）

作図条件をファンクションモードで設定した場合に、その一連の作図条件をまとめてプリンタに登録します。一連の作図条件は、タイプ１から４までの４種類を登録し、次回使用する場合に[タイプ]ごとの作図条件を使用可能です。使用するメディアや、作図方法に合わせて作図条件をタイプごとに設定しておくと使用する際に便利です。
ここでは、作図条件をどのタイプに割り当てて登録するかを説明します。

選択可能なタイプは４種類あります。

[タイプ 1]　　[タイプ 3]
[タイプ 2]　　[タイプ 4]

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。

```
<<ローカル>>
ハバ：1100mm
```

2【FUNCTION】キーを押します。

FUNCTION

```
FUNCTION
UV ショウトウ　　　<ENT>
```

3 ジョグキー【▼】を押して、[セッテイ]を選びます。

▼

```
FUNCTION
セッテイ　　　　　<ENT>
```

4【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
セッテイ
センタク　　　　：タイプ1
```

5 ジョグキー【▲】【▼】を押して、タイプ１から４を選びます。

▲ ▼

```
セッテイ
センタク　　　　：タイプ3
```

6【ENTER】キーを押します。
各作図条件を設定します。（⇒ P.4-5）

ENTER

```
タイプ3
サクズ　ヒンシツ　　<ent>
```

タイプの変更

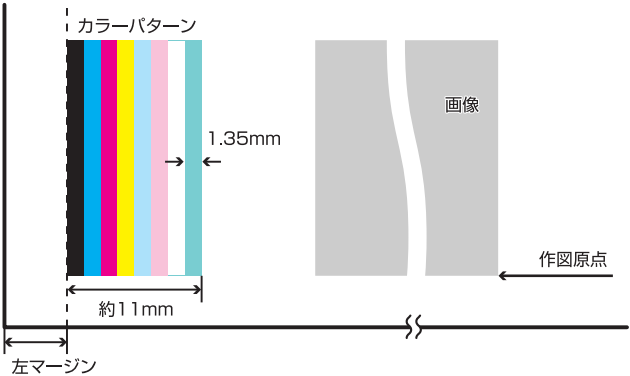
既にタイプ１から４の各作図条件を登録してある場合は、タイプを選択するだけで、作図に合わせた設定に切り替えて使用できます。

1 上記操作手順１から５を実行します。
使用するタイプを選択します。

```
セッテイ
センタク　　　　：タイプ3
```

2【END】キーを押します。
選択したタイプの作図条件で作図が行えます。

END

```
タイプ3
サクズ　ヒンシツ　　<ent>
```

各設定機能を登録する

ファンクションモードには、５項目の設定機能があります。
また、設定機能の中には、18 項目の設定機能があります。
下記は設定項目の内容を示しています。

機能名称		概　要
UV ショウトウ⇒ P.4-7		UV ランプを消します。
設定	タイプ⇒ P.4-4	作図条件をまとめて登録します。
	サクズヒンシツ	作図画像の品質を設定します。 [ﾋｮｳｼﾞｭﾝ]：標準的な作図品質 [ｷﾚｲ]：高品質・低スピード [ﾊﾔｲ]：高スピード・やや劣る品質
	メディアホセイ	本装置は、メディアを前面に少しずつ送り出しながら作画します。メディアの厚みが変わると送り出し量の適正値も変わり、作図した画像に縞などが入るなど綺麗に作図できない場合があります。テスト作図をして、このようなメディアの厚みによるメディア送り量の狂いを補正します。
	Y キョリホセイ	出力時に、作図データのスケールを微調整します。 調整値:± 0.39%
	UV コウリョウ	UV ランプの硬化が弱くなった場合に、UV ランプの光量を調整します。通常、[ﾋｮｳｼﾞｭﾝ]に設定します。また、[レイヤ]を設定すると最大 4 レイヤまで、レイヤごとに UV 光量を設定できます。（⇒ P.5-20） [ﾂﾖｲ]：　強い光量 [ﾋｮｳｼﾞｭﾝ]：標準的な光量 [ﾖﾜｲ]：　弱い光量 [ﾅｼ]：　UV ランプのシャッターを閉じて印刷する [ｲﾝｻﾂ ﾅｼ]：印刷せずにツヨイ光量で照射する [ﾚｲﾔ]：　版（レイヤ）毎に UV 光量を設定。
	キュウチャク	メディアの吸着力を設定します。メディアが浮きやすい場合は、「ﾂﾖｲ」に設定します。 [ﾋｮｳｼﾞｭﾝ]：標準的なメディア吸着力 [ﾂﾖｲ]：標準よりも強いメディア吸着力
	リフレッシュ	「タイキチュウ」または「サクズチュウ」にプリントヘッドのリフレッシュを行います。ホコリが多い場所や、湿度が低い場所で本機能を使用し、ヘッドのインク詰まりを防ぎます。作図中、待機中の２パターンで設定できます。レベル数が大きいほど、リフレッシュ回数が多くなります。 リフレッシュ回数:レベル０～３ （レベル０では、リフレッシュを行いません。）
	ユウセンジュンイ	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀと本装置の設定の優先順位を決めます。２機能（作図品質[ｻｸｽﾞ ﾋﾝｼﾂ]/ 重ね塗り[ｶｻﾈﾇﾘ]）をそれぞれ、本装置で設定した値を優先にするか、ｺﾝﾋﾟｭｰﾀで設定した値を優先にするか選択します。 [ﾎｽﾄ]：ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ(出力ｿﾌﾄ）の設定を優先して作図します。 [ﾊﾟﾈﾙ]：ﾌﾟﾘﾝﾀ(本装置）の設定を優先して作図します。

	機能名称	概　要
設定	オートカット	作図終了後、メディアを自動でカットするか設定します。オートカットしない場合は、続けて次の画像データを作図します。メディアはオートカットを設定していなくても、手動でカットが可能です。 [ON]：**オートカットを実行します。** [OFF]：**オートカットを実行しません。**
	カサネヌリ	同じ出力データでのインク重ね塗りを回数を設定します。 **カサネヌリ回数:1 ～ 9 回**
	カラーパターン	メディアの左端に塗りつぶしパターンを作図し、作図中のノズル詰まりを確認できます。　メディア幅一杯に作図する場合は、OFF に設定します。 [ON]:　**有効作図エリアの左端よりパターン作図します。 8 ヘッド使用時には、約 11mm の幅になります。** [OFF]:　**カラーパターンを作図しません。** カラーパターン 画像 1.35mm 作図原点 約11mm 左マージン
	シロカサネサクズ	白インクを印字した後、メディアを戻す事なく白インクの上からカラーインクを作図する方式を設定します。 [ON]:　**白インクを作図後にインクを硬化させ、カラーインクを作図します。** [OFF]:　**白インクとカラーインクを同時に作図します。**
	ブンハンインサツ ⇒印刷 P.2-31	色ごと（白、カラー）に重ねて作図する設定をします。 **●ﾌﾞﾝﾊﾝｲﾝｻﾂ**　[ON]：**色ごとの作図データを重ねて作図します。** [OFF]：**通常と同様に印刷します。作図終了後、原点位置を更新。** **●ｻｸｽﾞｶｲｽｳ**　：**2 ～ 10 回（初期値：3 回）** **●ﾊﾟﾀｰﾝｻｸｽﾞ**　[ON]：**作図データを印刷する前に、基準線上に、イチズレを調整するパターンを作図します。** [OFF]：**基準線、調整パターンを作図せずに作図データを印刷します。**
	オートクリーニング	作図中、自動的にノズルクリーニングを行います [ON]：**オートクリーニングを実行します。** [OFF]：**オートクリーニングを実行しません。**

	機能名称	概　要
設定	マージン	メディア左右に余白（デッドスペース）を設けます。メディアの左右にそれぞれ設定が可能です。 ミギ／ヒダリマージン: 0 ～ 95mm　初期値：10mm
	メディアケンシュツ	メディアの検出方法を設定します。 [ｾﾚｸﾄ]　：初期動作でロールメディアとリーフメディアを選択するメニューを表示します。ロールメディアを選択するとメディアの「幅」を検出します。リーフメディアを選択するとメディアの「幅」と「長さ」を検出します。初期値は「ハバ」になります。 [ﾊﾊﾞ]　：ロールメディアを使用する場合に設定します。メディアをセットしクランプレバーを下げると自動的にメディアの「幅」のみ検出します。
	ミリ / インチ	表示単位を決定します。ディスプレイに表示する設定値の単位を設定します。出荷時は[ﾐﾘ]に設定してあります。 [ﾐﾘ]：設定値の単位をミリで表示します。 [ｲﾝﾁ]：設定値の単位をインチで表示します。
	セッテイリセット	設定条件を初期化します。 設定した作図条件を工場出荷時の設定値に戻します。 タイプごとにリセットします。 [ENTER]：設定をリセットします。 [END]：設定をリセットしません。
メンテナンス⇒５章		各メンテナンス項目を設定します。
ゲンテン⇒ P.2-22		作図原点を設定します。
DISPLAY ⇒ P.4-9		表示言語を設定します。

UV 照射器具の消灯［UV ショウトウ］

UV 照射器具は 30 分以上作図がないと自動的に消灯しますが、長い間隔をあけて作図をする場合、UV ランプの寿命を長く保つために、任意で UV ランプを消しておくことができます。再度作図が始まると、UV 照射器具は自動的に動作し、UV ランプが点灯します。

- 消灯までの時間を設定することができます。設定については「UV ランプの消灯時間を設定する」P.5-15 をご覧ください。消灯までの時間の初期値は 30 分です。
- 「ショウトウジカン」の設定が「ON」になっているまたは、長時間作図をしない場合（30 分以上）は、このメニューで UV ランプを消灯してください。
- ランプ消灯をしてから再点灯し、作図可能になるまで、10 分間ほどかかります。

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。

<<ローカル>>
ハバ：1100mm

2【FUNCTION】キーを押します。

FUNCTION

FUNCITON	
UV ショウトウ	＜ENT＞

3【ENTER】キーを押します。

ENTER

UV ランプ　ショウトウ	
ショウトウ　カイシ	：ent

4【ENTER】キーを押します。
UV 照射器具の消灯を開始します。

ENTER

UV ランプ　ショウトウ
ショウトウ　カンリョウ

5 ランプが消灯すると完了メッセージを表示して、手順３に戻ります。

FUNCITON	
UV ショウトウ	＜ENT＞

ディスプレイの表示言語を変更する［DISPLAY］

ディスプレイに表示する言語は、日本語または英語を選択できます。
プリンタの初期値は[Japanese]です。表示言語を英語にしてみましょう。

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。

<<ローカル>>
ハバ：1100mm

2 【FUNCTION】キーを押します。

FUNCTION
UV ショウトウ <ENT>

3 ジョグキー【▲】を押し、[DISPLAY]を選択します。

FUNCTION
DISPLAY <ENT>

4 【ENTER】キーを押します。

DISPLAY
センタク ：JAPANESE

5 ジョグキー【▲】【▼】を押して、表示する言語を選びます。

DISPLAY
センタク ：ENGLISH

6 【ENTER】キーを押します。
【END】キーを押し、ローカルモードに戻ります。

FUNCTION
DISPLAY <ENT>

<< LOCAL >>
WIDTH : 1100mm

5章
メンテナンス機能

本装置を適正にお使いいただくよう、作図品質の悪化の解決や、UV ランプの交換などのメンテナンスについて説明します。

本章の内容

メンテナンスについて

メンテナンスは、本装置を適正にお使いいただくためのお手入れに関する操作をいいます。
メンテナンスは、ファンクションメニューの[メンテナンス]を選択し、各詳細を設定してから実行します。

メンテナンス機能の導入について

メンテナンス機能を実行する場合、操作パネル上で以下の操作が必要です。
メンテナンス機能への導入操作を覚え、各メンテナンスを実行します。

操作手順

1 ローカルモードになっていることを確認します。

＜＜ローカル＞＞
ハバ：1100mm

2 【FUNCTION】キーを 1 回押します。

FUNCTION
UV ショウトウ　　＜ＥＮＴ＞

3 ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス] を選択します。

FUNCTION
メンテナンス　　＜ＥＮＴ＞

4 【ENTER】キーを押します。

メンテナンス
リスト　　＜ｅｎｔ＞

5 次の操作を選択します。

設定機能一覧

機能名称	概　要	参照ページ
リスト	本装置の設定状態を作図します。	P.5-3
ドットイチホセイ	ヘッド高さを変更した後、ドット位置を補正します。	P.5-4
ステーションメンテ	ステーション内部の清掃を行います。	P.3-4 ～ P.5-6
タカサチョウセイ	プリントヘッド、UV 照射器具の高さ調整を行います。	P.2-8
インクジュウテン	ノズル詰まりが復旧しない場合に行います。	P.5-7
ヘッドワイプ	ノズル面に付着したインク滴をクリーニングします。	P.3-18
テイキ ワイピング	定期的にノズル面をワイピングします。	P.5-8
インクセット	インクの組み合わせを変更します。	P.5-9
インクコウカン	インクの交換をします。	P.5-14
オンスイコウカン	温水装置の水を交換します。	P.3-8
ホワイトメンテナンス	白インクの定期メンテナンスを行います。	P.3-13
ヘッドメンテナンス	電源投入時の微量クリーニングを実行するヘッドを選択します。	P.5-16
UV ランプ	消耗した UV ランプを交換します。	P.5-17
マシンジョウホウ	本装置のファームウェアバージョン、シリアル番号を表示します。	P.5-29

設定状態を作図する [ﾘｽﾄ]

本装置の設定状態を出力します。
メンテナンスの参考にしてください。

1. ファンクション機能の設定[セッテイ]に関する情報
2. メンテナンス機能のドット位置補正[ドットイチホセイ] の情報
3. 本装置で使用中のファームウェアのバージョン情報
4. 保守（サービスマン用）に必要な各設定値

重 要! ★ A4 サイズ以上のシートを縦にセットして、作図を行ってください。

```
    LIST  (System Ver1.33)  (I/F Ver1.40)   S/N : C6104001  COMMAND : MRL-2B

(1) ｾｯﾃｲ           <  ﾀｲﾌﾟ 1  >          ﾀｲﾌﾟ 2              ﾀｲﾌﾟ 3              ﾀｲﾌﾟ 4
  ｻｸｽﾞ ﾎｳｼｷ     ﾋｮｳｼﾞｭﾝ :ﾊﾟﾈﾙ    ﾊﾔｲ     :ﾎｽﾄ     ｷﾚｲ     :ﾊﾟﾈﾙ    ﾋｮｳｼﾞｭﾝ :ﾎｽﾄ
  Y ｷｮﾘﾎｾｲ      100.000%          100.390%           99.610%            100.020%
  ﾒﾃﾞｨｱﾎｾｲ      0                 10                 -10                100
  UV ｺｳﾘｮｳ      ﾋｮｳｼﾞｭﾝ           ﾂﾖｲ                ﾋｮｳｼﾞｭﾝ            ﾂﾖｲ
  ｷｭｳﾁｬｸ        ﾋｮｳｼﾞｭﾝ           ﾂﾖｲ                ﾋｮｳｼﾞｭﾝ            ﾂﾖｲ
  ﾘﾌﾚｯｼｭ
     ｻｸｽﾞﾁｭｳ    ﾚﾍﾞﾙ 0            ﾚﾍﾞﾙ 1             ﾚﾍﾞﾙ 2             ﾚﾍﾞﾙ 3
     ﾀｲｷﾁｭｳ     ﾚﾍﾞﾙ 0            ﾚﾍﾞﾙ 1             ﾚﾍﾞﾙ 2             ﾚﾍﾞﾙ 3
  ｵｰﾄｶｯﾄ        OFF               ON                 OFF                ON
  ｶｻﾈﾇﾘ         1        :ﾎｽﾄ     2        :ﾎｽﾄ      1        :ﾎｽﾄ      9        :ﾎｽﾄ
  ｵｰﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ    ON                OFF                OFF                OFF
  ﾐｷﾞﾏｰｼﾞﾝ      10mm              20mm               50mm               90mm
  ﾋﾀﾞﾘﾏｰｼﾞﾝ     15mm              20mm               50mm               90mm
  ﾒﾃﾞｨｱｹﾝｼｭﾂ    ｾﾚｸﾄ              ﾊﾊﾞ                ｾﾚｸﾄ               ﾊﾊﾞ
  ﾐﾘ/ｲﾝﾁ        ﾐﾘ                ｲﾝﾁ                ﾐﾘ                 ｲﾝﾁ

(2) ｹﾞﾝﾃﾝ
     X ｵﾌｾｯﾄ    0mm
     Y ｵﾌｾｯﾄ    200mm

(3) DISPLAY     JAPANESE
(4) ﾄﾞｯﾄｲﾁﾎｾｲ
                ﾊﾟﾀｰﾝ  1          ﾊﾟﾀｰﾝ  2           ﾊﾟﾀｰﾝ  3           ﾊﾟﾀｰﾝ  4
                   0.0               0.0                0.0                0.0
                ﾊﾟﾀｰﾝ  5          ﾊﾟﾀｰﾝ  6           ﾊﾟﾀｰﾝ  7
                   0.0               0.0                0.0
(5) ﾗﾝﾆﾝｸﾞﾒｰﾀｰ
  UVｼｮｳｼｬ ｼﾞｶﾝ 91h2m
  ｲﾝｸｻﾞﾝﾘｮｳ     K:100%  C:100%  M:100%  Y:100%  c:100%  m:100%  W:100%
  ｼｮｯﾄ ｶｳﾝﾄ     K: 27             C: 17              M: 0               Y: 0
                c: 0              m: 0               W: 0
  ｽｷｬﾝ ｶｲｽｳ     1       (x1000)
  ｻｸｽﾞ ﾁｮｳ      327m            1072ft
```

1 **A4 サイズ以上のメディアをセットし、作図原点を設定します。**

2 **[メンテナンス]-[リスト]を選択します。**
(⇒ P.5-2)

メンテナンス	
リスト	<ｅｎｔ>

3 **【ENTER】キーを押します。**
自動的に作図を開始し、作図終了後､[リスト]に戻ります。

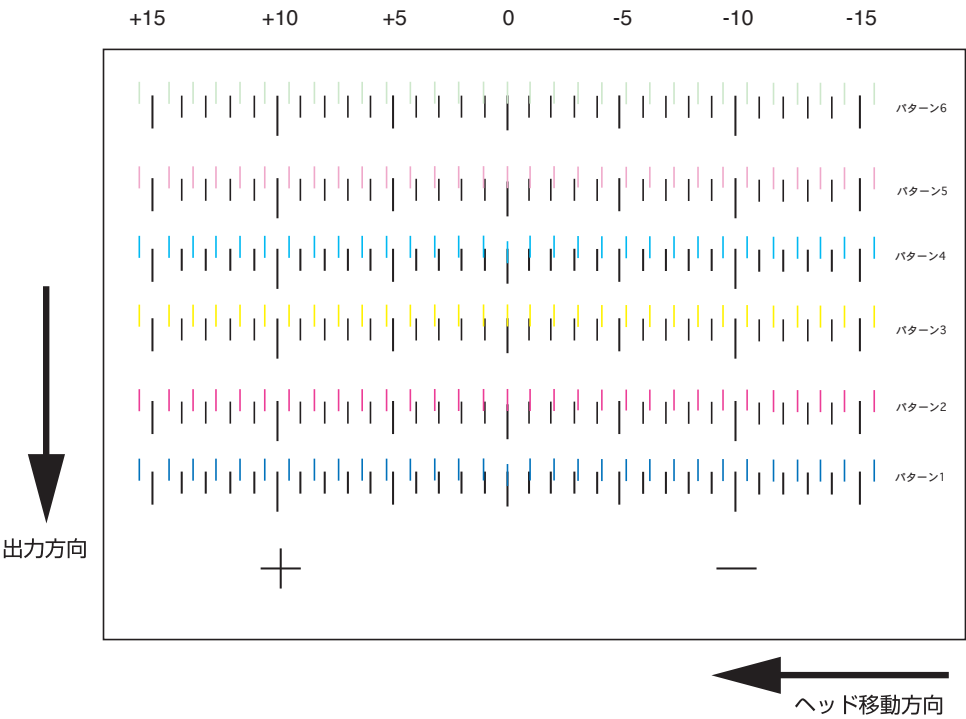
ENTER

END

4 **【END】キーを２回押して、ローカルモードに戻します。**

メディアの厚みが変わったら[ドットイチホセイ]

作図のインク落下点の位置を補正し、適正な作図結果を得られるようにします。
6 パターンのテスト作図のインク落下点を比較して補正します。プリントヘッドの高さを調整した後は、必ずドット位置補正を実行してください。

●パターン作図例

操作手順

1 **A4 サイズ以上のメディアをセットし、作図原点を設定します。**

2 **[メンテナンス]-[ドットイチホセイ]を選択します。(⇒ P.5-2)**

メンテナンス
ドットイチホセイ　　　＜ｅｎｔ＞

3 **【ENTER】キーを押します。**

ENTER

ドットイチホセイ
サクズカイシ　　　　　：ｅｎｔ

4 **【ENTER】キーを押します。**
ドット位置補正のテストパターン作図を開始します。
テストパターンは 6 種類作図します。

ENTER

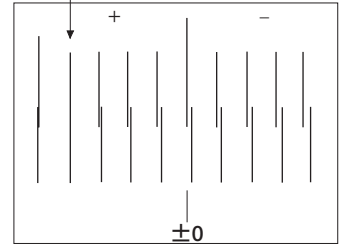
＊＊　サクズチュウ　＊＊

5 **ジョグキー【▲】【▼】を押して、パターン１のドット位置補正をします。**

出力した６パターンは、作図した順にパターン１から６と呼びます。
パターン１の適正なドット位置をジョグキーで選択します。
テストパターンの往路と復路が、１本の直線になっている位置を選びます。

> **重 要！** ★ 直線のパターンの補正値が、-15から+15の中にない場合は、ヘッドの高さ調整をしてから、再度ドット位置補正を実行してください。

プラス方向に0位置から4本目が直線で表示しています。この場合のドット位置補正値は4.0です。

6 **【ENTER】キーを押します。**

ENTER

ドットイチホセイ
パターン １　　：＊.＊

7 **手順４・５の操作を再実行し、続けてパターン６までのドット位置補正をします。**

各パターンの適正ドット位置を選択します。

ドットイチホセイ
パターン２　　：０．０

ドットイチホセイ
パターン３　　：０．０

ドットイチホセイ
パターン４　　：０．０

ドットイチホセイ
パターン５　　：０．０

ドットイチホセイ
パターン６　　：０．０

パターン作図開始画面に戻ります。

8 **【ENTER】キーを押し、ドット位置補正に戻ります。**

【END】キーを２回押すと、ローカルモードに戻ります。

メンテナンス
ドットイチホセイ　　＜ｅｎｔ＞

ステーション内部の清掃をする[ｷｬﾘｯｼﾞ ｱｳﾄ]

ステーション内部の清掃の際にキャリッジを移動します。

★ 手でキャリッジをキャッピングステーションから出さないでください。
キャリッジはジョグキーを使用して動かします。

操作手順

1 [メンテナンス]-[ステーションメンテ]を選択します。(⇒P.5-2)

メンテナンス
ステーションメンテ　＜ｅｎｔ＞

2【ENTER】キーを押します。

ENTER

ステーションメンテ
キャリッジアウト　　：ｅｎｔ

3【ENTER】キーを押します。

吸引ノズルが前に移動し、キャリッジがステーション上から移動します。

ENTER

ステーションメンテ
シュウリョウ　　：ｅｎｔ

4 メンテナンスカバーを開けて、ステーション内部のメンテナンスを行います。

キャップ、吸引ノズル、キャリッジのクリーニングについては、３章をご覧ください。

5 メンテナンスカバーを閉じて、【ENTER】キーを押します。

ENTER

シバラクオマチクダサイ

6 メディア選択画面に戻ります。

メディア　センタク
ロール＜　　　　＞リーフ

ヘッドクリーニングでノズル詰まりが復旧しない場合[ｲﾝｸｼﾞｭｳﾃﾝ]

ヘッドクリーニング（⇒P.2-26）を行っても、ノズル詰まりが復旧しない場合、本機能を使用します。

操作手順

1 [メンテナンス]-[インクジュウテン]を選択します。(⇒P.5-2)

```
メンテナンス
インクジュウテン　　　＜ent＞
```

2【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
インクジュウテン
カラー　　　　　　:KCMYcmW
```

3 ジョグキー【◀】【▶】を押し、インクを充填するヘッドを選択します。

4 ジョグキー【▲】【▼】を押し、インクを充填するヘッドを表示させます。
充填を行わないヘッドは「＊」を表示させます。

5【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
インクジュウテン
ジュウテン　カイシ　　：ent
```

6 再度、【ENTER】キーを押して、インク充填を開始します。

ENTER

```
＊＊ ジュウテンチュウ ＊＊
＊＊＊＊ ----------------------
```

7 インク充填を終了すると、右の表示に戻ります。

```
メンテナンス
インクジュウテン　　　＜ent＞
```

8【END】キーを２回押して、ローカルモードに戻します。

```
＜＜ローカル＞＞
ハバ：1100mm
```

5 メンテナンス機能

ノズル面にインク滴が付着するのを防ぐ [ﾃｲｷ ﾜｲﾋﾟﾝｸﾞ]

ヘッドのノズル面に作図によりインク滴が付着する場合があります。
本機能は、設定された回数分印刷した後、次の印刷を開始する前にヘッド面のワイプを行い、ヘッド面に付着したインク滴を取り除きます。

操作手順

1. [メンテナンス]-[テイキ ワイピング]を選択します。(⇒ P.5-2)

メンテナンス
テイキ ワイピング　　＜ｅｎｔ＞

2.【ENTER】キーを押します。

ENTER

3.ジョグキー【▲】または【▼】を押して、印刷回数を指定します。(OFF, 1 ～ 99 回)

- 「インサツカイスウ」の初期値は、OFF です。使用状況に応じて設定値を変更してください。
- 定期ワイピングをしない場合は、OFF にします。

4.【ENTER】キーを押します。

- OFF にした場合は、手順 8 に進みます。

5. ジョグキー【◀】または【▶】を押して、ワイプするヘッドを選択します。

テイキ ワイピング
カラー：Ｋ Ｃ Ｍ Ｙ ｃ ｍ Ｗ Ｓ

6. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、ワイプのオン、オフを選択します。
オフの表示は「＊」です。

7.【ENTER】キーを押します。

ENTER

メンテナンス
テイキ ワイピング　　＜ｅｎｔ＞

8.【END】キーを２回押して、ローカルモードに戻します。

END

インクセットを変更する【インクセット】

本装置の標準インクセットは７色（ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ、ホワイト）ですが、以下のインクセットに変更することができます。

■ カラー色のみの６色インクセットに変更（６色のみ、白インクは使用しない）
■ 特色インクを追加した８色インクセットに変更
■ ７番目の白インクを特色インクに変更

★ インクセット中に、カバーを開けたり、電源をオフにしたりしないでください。正常にインクセットの変更が出来なくなります。
★ 充填するインクカートリッジは、インクが十分に入っているものをセットしてください。インクが十分に入っていない場合は、正常にインクセットの変更が出来なくなります。
★ 廃インクタンク内の容量を確認してください。廃インクの量が多い場合は、廃インクを捨ててください。(⇒ P.3-7 参照)

■ カラー色のみの６色インクセットに変更する

７色インクセットから６色インクセットに変更する手順を説明します。

操作方法

1 [メンテナンス]-[インクセット]を選択します。
(⇒ P.5-2)

```
メンテナンス
インクセット          ＜ｅｎｔ＞
```

2 【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
インクセット
Ｕｖ－７      ［ＫＣＭＹｃｍＳ］
```

3 ６色対応のインクセットを選択します。
ジョグキー【▲】または【▼】を押して、「Uv-6 [KCMYcm]」を選択します。

▲ ▼

```
インクセット
Ｕｖ－６      ［ＫＣＭＹｃｍ　 ］
```

4 【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
インクセット ：ＫＣＭＹｃｍ
セッテイシマスカ？    ：ｅｎｔ
```

5 【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
インクセット  ：＊＊＊＊＊＊Ｗ
カートリッジヲハズス
```

6 不要になる白インクカートリッジを外します。

5 メンテナンス機能

7【ENTER】キーを押します。

不要になったインクカートリッジのインクを洗浄します。

＊＊センジョウチュウ＊＊
シバラクオマチクダサイ

8 右の表示になったら、洗浄液カートリッジをセットします。

インクセット　：＊＊＊＊＊＊W
センジョウジグヲ セット

9【ENTER】キーを押します。

洗浄液を吸引し、洗浄します。

＊＊センジョウチュウ＊＊

10 右の表示になったら、洗浄液カートリッジを外します。

インクセット　：＊＊＊＊＊＊W
センジョウジグヲハズス

11【ENTER】キーを押します。

吸引した洗浄液を廃インクタンクへ排出します。

ENTER

＊＊センジョウチュウ＊＊

インクセット ：ＫＣＭＹｃｍ
シバラクオマチクダサイ

洗浄液排出後、ローカルモードに戻ります。

＜＜ローカル＞＞
ハバ：1100 mm

● ７色インクセットに設定を戻す場合は、手順３まで戻り、「Uv-7［ＫＣＭＹｃｍＷ　］」を選択してください。

■ 特色インクを追加した８色インクセットに変更する

８色インクセットには、２種類のインクセットがあります。

1. Uv-8[KCMYcmWS]：７色インクセットに特色インクを追加した８色インクセット
2. Uv-8[KCMYcmSs]：７色インクセットの白インクを特色インクに、さらに特色インクを１つを追加した８色インクセット

７色セットから特色インクを追加した８色インクセットに変更する手順を説明します。

操作手順

1 **[メンテナンス]-[インクセット]を選択します。**
(⇒ P.5-2)

メンテナンス
インクセット　　　　　＜ｅｎｔ＞

2 **【ENTER】キーを押します。**

ENTER

インクセット
Ｕｖ－７　　［ＫＣＭＹｃｍＷＳ］

3 **８色インクセットが表示されているのを確認し、【ENTER】キーを押します。**
「Uv-8　[KCMYcmWS]」を選択します。

ENTER

インクセット　：ＫＣＭＹｃｍＷＳ
セッテイシマスカ？　　：ｅｎｔ

4 **【ENTER】キーを押します。**

ENTER

インクセット　：＊＊＊＊＊＊＊Ｓ
カートリッジヲセット

5 **特色のインクカートリッジをセットします。**

> 重要！ ★ 充填するインクカートリッジは、インクが十分に入っているものをセットしてください。インクが十分に入っていない場合は、正常にインクセットの変更が出来なくなります。

6 **【ENTER】キーを押します。**
セットされたインクカートリッジのインク充填を開始します。

＊＊ジュウテンチュウ＊＊

インクセット　：ＫＣＭＹｃｍＷＳ
シバラクオマチクダサイ

インク充填が終了すると、ローカルモードに戻ります。

＜＜ローカル＞＞
ハバ：１１００ｍｍ

● ７色インクセットに設定を戻す場合は、手順３まで戻り、「Uv-7［ＫＣＭＹｃｍＷ　］」を選択してください。

洗浄液を吸引し、洗浄します。

■ 7色インクセットの7番目の白インクを特色に変更する

7色インクセットから、白インクの代わりに特色インクを使う7色インクセットに変更する手順を説明します。

操作手順

1 [メンテナンス]-[インクセット]を選択します。
(⇒P.5-2)

メンテナンス
インクセット　　　　<ent>

2 【ENTER】キーを押します。

ENTER

インクセット
Uv－8　　[KCMYcmWS]

3 7色対応のインクセットを選択します。
ジョグキー【▲】または【▼】を押して、「Uv-7　[KCMYcmS　]」を選択します。

インクセット
Uv－7　　[KCMYcm S]

4 【ENTER】キーを押します。

ENTER

インクセット　：KCMYcmS
セッテイシマスカ？　：ent

5 【ENTER】キーを押します。

ENTER

インクセット　：＊＊＊＊＊＊W
カートリッジヲハズス

6 不要になる白インクカートリッジを外します。

7 【ENTER】キーを押します。
不要になったインクカートリッジのインクを洗浄します。

ENTER

＊＊センジョウチュウ＊＊
シバラクオマチクダサイ

8 右の表示になったら、洗浄液カートリッジをセットします。

インクセット　：＊＊＊＊＊＊W
センジョウジグヲセット

9【ENTER】キーを押します。
洗浄液を吸引し、洗浄します。

＊＊センジョウチュウ＊＊

10 右の表示になったら、洗浄液カートリッジを外します。

インクセット　：＊＊＊＊＊＊＊W
センジョウジグヲハズス

11【ENTER】キーを押します。
吸引した洗浄液を廃インクタンクへ排出します。

＊＊センジョウチュウ＊＊

12 右の表示になったら、特色のインクカートリッジをセットします。

インクセット　：＊＊＊＊＊＊＊S
カートリッジヲセット

13【ENTER】キーを押します。
セットされたインクカートリッジのインク充填を開始します。
インク充填が終わると、ローカルモードに戻ります。

ENTER

＊＊ジュウテンチュウ＊＊

インクセット　：KCMYcmS
シバラクオマチクダサイ

＜＜ローカル＞＞
ハバ：1100mm

インクを交換する [インクコウカン]

インクを交換する場合には、下記の手順に従ってインクを交換します。

操作方法

1 [メンテナンス]-[インクコウカン]を選択します。(⇒ P.5-2)

メンテナンス
インクコウカン　　　＜ｅｎｔ＞

2【ENTER】キーを押します。

ENTER

インクコウカン
カラー　　　　:KCMYcmW

3 ジョグキー【◀】【▶】を押し、インクを交換するカートリッジを選択します。

4 ジョグキー【▲】【▼】を押し、インクを交換するカートリッジを表示させます
交換を行わないカートリッジは、「＊」を表示させます。

5【ENTER】キーを押します。

ENTER

インクコウカン
カートリッジヲハズス

6 交換するインクカートリッジを外します。
充填してあるインクを廃インクタンクへ排出します。

＊＊センジョウチュウ＊＊
シバラクオマチクダサイ

7 右の表示になったら、洗浄液カートリッジをセットします。

インクコウカン
センジョウジグヲセット

8【ENTER】キーを押します。
洗浄液を吸引します。

＊＊センジョウチュウ＊＊

● 洗浄液カートリッジは、お近くの販売店または弊社営業所にてお求めください。

9 右の表示になったら、洗浄液カートリッジを外します。
吸引した洗浄液を廃インクタンクへ排出します。

インクコウカン
センジョウジグヲハズス

＊＊センジョウチュウ＊＊

10 終了後、インクステーションに各インクカートリッジを差し込みます。

11 【ENTER】キーを押します。
インク充填が始まります。

インクコウカン
カートリッジヲセット

＊＊ジュウテンチュウ＊＊

12 インク交換が終了すると「インクコウカン」に戻ります。

メンテナンス
インクコウカン　　＜ｅｎｔ＞

5
メンテナンス機能

電源投入時の微量クリーニングを選択する[ﾍｯﾄﾞﾒﾝﾃﾅﾝｽ]

電源投入時に行う微量クリーニングを実行するヘッドを選択します。

操作手順

1 [メンテナンス]-[ヘッドメンテナンス]を選択します。(⇒ P.5-2)

メンテナンス
ヘッドメンテナンス　＜ｅｎｔ＞

2【ENTER】キーを押します。

ENTER

ヘッドメンテナンス
カラー　　　　　：KCMYcmW

3 ジョグキー【◀】【▶】を押し、微量クリーニングするカートリッジを選択します。

4 ジョグキー【▲】【▼】を押し、微量クリーニングのオン・オフを選択します

5【ENTER】キーを押します。

6【END】キーを２回押して、ローカルモードに戻します。

<<ローカル>>
ハバ：1100mm

UV ランプを交換する [UV ランプ]

UV ランプは消耗品です。
本装置は、UV ランプの照射使用時間をカウントし、交換時期をお知らせします。

UV ランプの照射時間を確認する

操作手順

1 **ローカルモードになっていることを確認します。**

＜＜ローカル＞＞
ハバ：1100mm

2 **【ENTER】キーを数回押します。**
照射使用時間を表示します。
LCD 表示は、照射使用時間 130 時間 05 分を示しています。

UV ショウシャジカン
130 h 05 m

● 「本装置の情報を表示する」（⇒ P.2-5）を参照してください。

3 **【ENTER】キーを押して、ローカルモードに戻ります。**

＜＜ローカル＞＞
ハバ：1100mm

UV ランプを交換する

一定の照射時間を超えると、ランプ交換のメッセージを表示します。
メッセージを表示したら、お早めにランプを交換するため、サービスコールしてください。

【ENTER】キーを押し、UV ランプの交換を行います。

! UV ランプ
! UV ランプ　コウカン　：ｅｎｔ

重 要! ★ 交換メッセージが表示された場合は、新しい UV ランプと交換する必要があります。販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。

UV ランプの照射時間をリセットする［タイマーショキカ］

UV ランプを交換後、本装置で記憶している照射時間をリセットします。

操作手順

1 [メンテナンス]-[UV ランプ]を選択します。
(⇒ P.5-2)

メンテナンス
UV ランプ　　　　＜ｅｎｔ＞

2【ENTER】キーを押します。

ENTER

UV ランプ
コウリョウソクテイ　＜ｅｎｔ＞

3 ジョグキー【▲】【▼】を押し、［タイマーショキカ］を選択します。

4 再度、【ENTER】キーを押します。

ENTER

5 再度、【ENTER】キーを押します。
照射時間を初期化します。

6 動作を終了すると、右の表示に戻ります。

UV ランプ
タイマーショキカ　＜ｅｎｔ＞

7【END】キーを２回押して、ローカルモードに戻ります。

＜＜ローカル＞＞
ハバ：1100mm

UV ランプの消灯時間を設定する【ｼｮｳﾄｳｼﾞｶﾝ】

UV ランプの消灯時間を設定します。

連続照射　OFF .... OFF を選択した場合は、自動的に UV ランプが設定した時間後に消灯する作業を行います。初期値は 30 分となっています。

連続照射　ON .... ON にを選択した場合は UV ランプが常時点灯している状態になります。消灯する場合は、UV ショウトウ (⇒ P.4-8) メニューでランプを消灯します。

操作手順

1 [メンテナンス]-[UV ランプ]を選択します。(⇒ P.5-2)

メンテナンス
UV ランプ　　　<ent>

2 【ENTER】キーを押します。

ENTER

UV ランプ
コウリョウソクテイ　　<ent>

3 ジョグキー【▲】【▼】を押し、[ショウトウジカン］を選択します。

UV ランプ
ショウトウジカン　　<ent>

4 【ENTER】キーを押します。

ENTER

UV ランプ
レンゾクショウシャ　　: ON

5 ジョグキー【▲】【▼】を押し、[レンゾクショウシャ］を OFF に選択します。

UV ランプ
レンゾクショウシャ　　: OFF

6 【ENTER】キーを押します。

ENTER

ショウトウジカン
00 h 00 m

7 ジョグキー【▲】【▼】を押し、消灯する時間を分単位で入力します。

ショウトウジカン
01 h 30 m

8 【ENTER】キーを押します。

ENTER

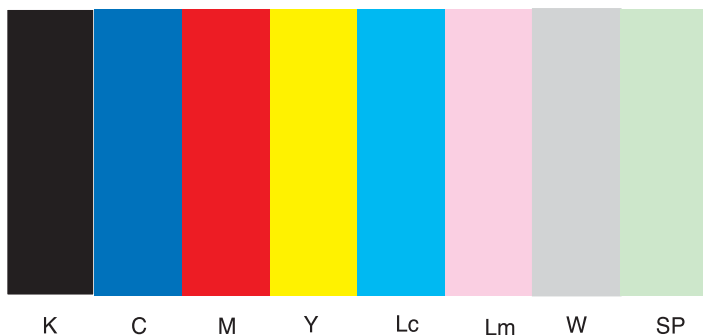
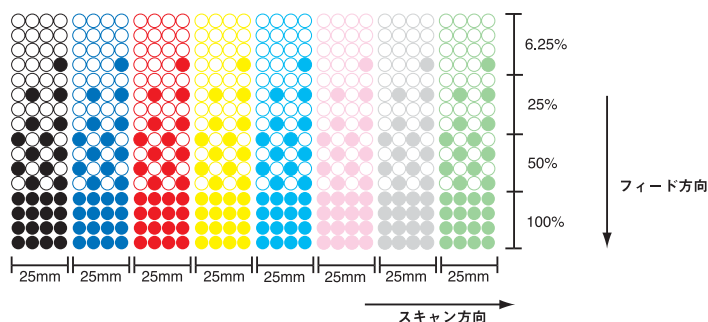
UV ランプ
ショウトウジカン　　<ent>

9 【END】キーを押して、ローカルモードに戻ります。

<<ローカル>>
ハバ : 1100mm

UV 硬化が弱くなったときのチェック方法［コウカチェック］

UV ランプの消耗にともない、インクの硬化が弱くなる場合があります。
硬化チェックをすることにより、インクの硬化度をチェックし、UV ランプの光量を変更できます。また、UV 光量は、版ごと（最大４版）に調整できます。

UV 硬化チェックテストパターン

操作手順

1 作図パターン用としてメディアをセットし、作図原点を設定しておきます。

2 ローカルモードになっているか、確認します。

<<ローカル>>
ハバ：1100mm

3【TEST】キーを押します。

TEST

テストサクズ
ノズルチェック　　<ENT>

4 ジョグキー【▲】【▼】を押し、［コウカチェック］を選択します。

テストサクズ
コウカチェック　　<ENT>

5【ENTER】キーを押します。

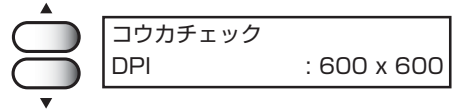
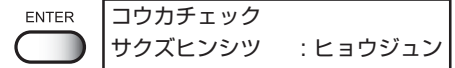
ENTER

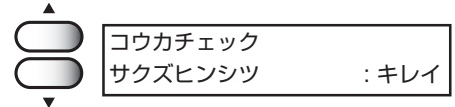
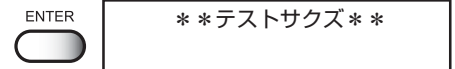
コウカチェック
DPI　　: 300 x 300

6 ジョグキー【▲】【▼】を押して解像度を選択します。

コウカチェック	
DPI	: 600 x 600

7【ENTER】キーを押します。

コウカチェック	
サクズヒンシツ	: ヒョウジュン

8 ジョグキー【▲】【▼】を押し、作図品質を選択します。

コウカチェック	
サクズヒンシツ	: キレイ

9【ENTER】キーを押すと、テスト作図を開始します。

＊＊テストサクズ＊＊

重要! ★ UV照射器具の温度が一定温度になっていない場合、または温水装置の温度が一定温度になっていない場合は、メッセージを表示します。この場合は、作図できません。表示が消えると、作図ができます。

＊＊＊＊＊＊
UV ジュンビチュウ

＊＊＊＊＊＊
オンスイジュンビチュウ

10 テスト作図終了後、作図パターンをチェックします。

UV光量が弱くなっている場合は、良質な作図パターンは得られません。その場合は、次の手順に進んでください。

5 メンテナンス機能

UV 光量の変更

操作手順

1 ローカルモードになっているか、確認します。

```
＜＜ローカル＞＞
ハバ：1100mm
```

2【FUNCTION】キーを押します。

FUNCTION

```
FUNCTION
UV ショウトウ　　　＜ＥＮＴ＞
```

3 ジョグキー【▼】を押し、[セッテイ] を選択します。

```
タイプ 1
セッテイ　　　　　＜ｅｎｔ＞
```

4【ENTER】キーを 2 回押します。

ENTER

2 回

```
タイプ 1
サクズヒンシツ　　＜ｅｎｔ＞
```

5 ジョグキー【▼】を押し、[UV コウリョウ] を選択します。

```
タイプ 1
UV コウリョウ　　＜ｅｎｔ＞
```

6【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
タイプ 1
UV コウリョウ：ヒョウジュン
```

7 ジョグキー【▲】または【▼】を押し、光量を選択します。

右の表示は、[レイヤ]を選択しています。
[レイヤ]以外を選択した場合は、手順 11 から行ってください。

```
タイプ 1
UV コウリョウ：レイヤ
```

8【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
タイプ 1
レイヤ 1 ：ツヨイ
```

9 ジョグキー【◀】または【▶】を押し、レイヤを選択します。

10 ジョグキー【▲】または【▼】を押し、光量を選択します。

タイプ 1
レイヤ 2 ：ヒョウジュン

[ムコウ]を選択すると、それ以降のレイヤの光量は、[ムコウ]を選択する前のレイヤの光量で作図します。

例： 4 つのレイヤを作図する場合、レイヤ 3 の光量を[ムコウ]に設定すると、レイヤ 1 とレイヤ 2 の光量が有効になります。よって、有効な光量のレイヤを繰り返し適用します。つまり、レイヤ 3 はレイヤ 1 の光量で、レイヤ 4 はレイヤ 2 の光量で作図します。

11 【ENTER】キーを押します。

12 【END】キーを 3 回押して、ローカルモードに戻ります。

＜＜ローカル＞＞
ハバ：1100mm

13 再度、UV 硬化をチェックします。

メディアをセットし、UV 光量の作図パターンを作成します。（⇒ P.5-20）

- UV 光量の度合いを変更しても、変化がない場合は、UV ランプが消耗しています。下記の方法で確認してください。

■ UV ランプの照射時間を確認する（⇒ P.2-5、5-19）
■ レイヤ毎に UV 光量を設定している場合、作図待機中のリモートモードで、レイヤを変えることができます。（⇒ P.2-30）
■ UV ランプの照度を確認する（⇒ P.5-24）
■ UV ランプ交換のためサービスコールをする（⇒ P.5-17）

UV 照度の確認方法

UV ランプの消耗にともない、インクの硬化が弱くなる場合があります。
添付の照度計を使用して、UV ランプの照度を測定します。
付属の照度計取り扱いマニュアルを参照し、UV ランプの照度を確認してください。

一定の照度時間を超えると、照度確認のメッセージを表示します。

【ENTER】キーを押し、添付の照度計で照度を確認します。

！ UV ランプ UV コウリョウカクニン　：ｅｎｔ

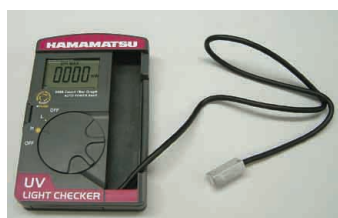
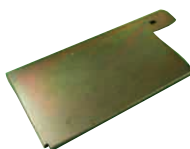
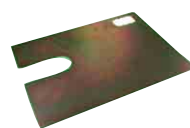
ＵＶ照度測定について

UV ランプのレベルを変更しても、作図後の UV 硬化が上がらない場合があります。
これは UV ランプの消耗により、十分な照度が得られていません。

UV ランプ照度測定の目安

出荷時のランプ照度と 1000 時間経過後のランプ照度は、照度計の内側に記載されています。この値を元に照度を確認してください。

- ランプは時間経過につれて照度が低下します。1000 時間を超えると約 30% 低下します。著しく照度が低下している場合は、UV ランプの故障が考えられますので、お近くの販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
- 1000 時間経過後も、急に照度が落ちたり、点灯が不安定になることはありませんが、照度は徐々に低下します。UV 硬化性能チェック（⇒ P.5-20 参照）または照度測定をこまめに行ってください。

付属品　：UJ 照度セット

照度計

照度計ブラケット①

照度計ブラケット②

重 要！ ★ 照度測定の際の注意
●測定をする際は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。
●肌を UV ランプの光から守るために、長袖を着用してください。

操作手順

1 [メンテナンス]-[UV ランプ]を選択します。
(⇒ P.5-2)

メンテナンス
UV ランプ　　　　　＜ｅｎｔ＞

2 【ENTER】キーを押します。

ENTER

UV ランプ
コウリョウソクテイ　＜ｅｎｔ＞

3 [コウリョウソクテイ]を選択し、【ENTER】キーを押します。

ENTER

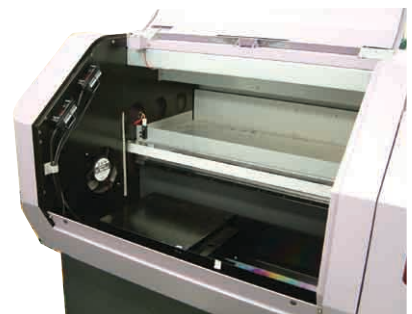
UV コウリョウソクテイ
ヘッドイドウ　　　　：ｅｎｔ

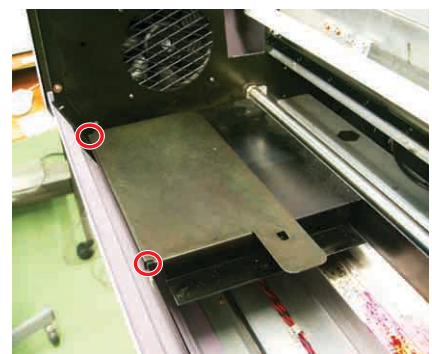
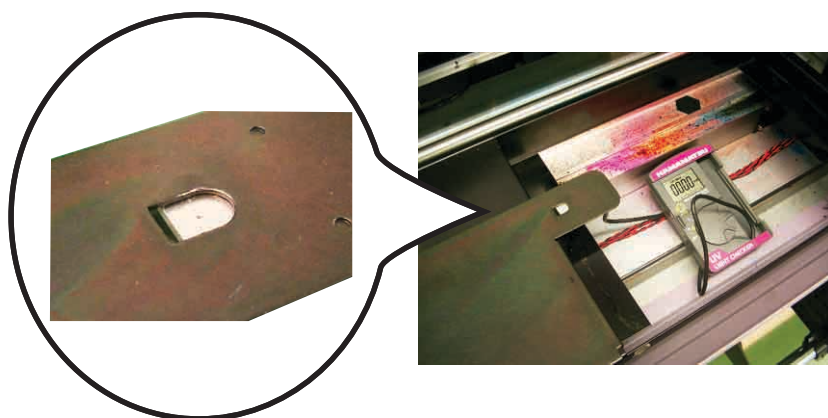
4 【ENTER】キーを押します。
ヘッドがキャップステーションに移動します。

ENTER
＊＊イドウチュウ ＊＊
シバラクオマチクダサイ

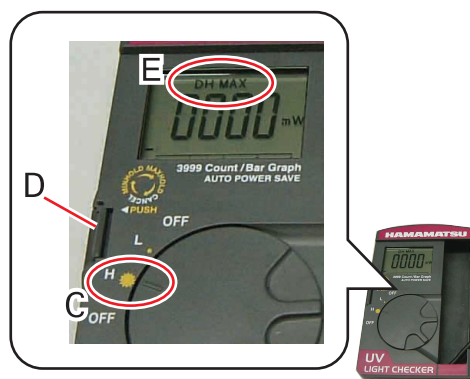
5 左側メンテナンスカバーを開けます。

ヒダリカバーヲ
アケテクダサイ

6 フラッシングトレイを外して、ＵＶ照度計をセットします。

UV 照度計のセット方法

A. 照度計ブラケット①を突き当てて、セットします。

B. 照度センサー先端部を照度計ブラケット①にセットします。
センサー穴を上に向け、ブラケット穴に出るようにします。確実に奥まで差し込んでください。

C. 照度計のスイッチを「H」にセットします。

D. 左側のボタンを数回押します。

E. 「DH　MAX」を表示させます。

F. 左上のコーナーに合わせて、取っ手が右上になるように、照度計ブラケット②をかぶせます。

7 照度計をセット後、【ENTER】キーを押します。

UV コウリョウソクテイ
ジグヲセット　　　：ent

8 左側メンテナンスカバーを閉じます。

ヒダリカバーヲ
シメテクダサイ

9 UV 光量の強さを選択します。

【FUNCTION】キーを押すごとに、UV 光量の強さが切り替わります。ディスプレイの右上に、選択した UV 光量の強さを表示します。
（H: 強い , N: 標準 , L: 弱い）

UV コウリョウソクテイ　　N
ソクテイカイシ　　　：ent

10 【ENTER】キーを押し、測定開始します。

UV コウリョウソクテイ　　N
ソクテイカイシ　　　：ent

＊＊ソクテイチュウ ＊＊
シバラクオマチクダサイ

● 測定時ランプが点灯していない場合は、点灯に時間がかかります。

11 測定終了後、左側メンテナンスカバーを開けます。

ヒダリカバーヲ
アケテクダサイ

● メンテナンスカバーを開ける前に、【ENTER】キーを押すと、手順 13 に戻り、UV 光量測定ができます。

12 照度計ブラケット②を取り外し、測定値を確認します。

● 測定値の目安は、照度計の内側をご覧ください。

★ 照度測定後、照度計ブラケット②の左半部分は、UV ランプの熱で熱くなっていますので、触らないでください。火傷をする恐れがあります。

5

メンテナンス機能

13 **測定値を確認後、【ENTER】キーを押します。**

ENTER

UV コウリョウソクテイ
ジグヲカクニン　　　　：ent

14 **ジョグキー【▶】を押し、照度測定を終了します。**

再度測定をする場合はジョグキー【◀】を押します。UV 照度計のセット方法 E を行ってください。

UV コウリョウソクテイ
ソクテイ<　　　　>シュウリョウ

UV コウリョウソクテイ
ソクテイカイシ　　　　：ent

ヒダリカバーヲ
シメテクダサイ

> **重要!** ★ 再度測定を行う場合は、時間をおいてから行ってください。UV ランプの熱により、正しい測定値が得られません。

15 **照度計と照度計ブラケット①を取りはずします。**

>
> 注意
> ★ 照度測定後は、照度計ブラケット①、また照度計のセンサー部が UV ランプの熱で熱くなっています。少し時間をおいてから取り外してください。火傷をする恐れがあります。

16 **フラッシングトレイを取り付けて、【ENTER】キーを押します。**

UV コウリョウソクテイ
トレイヲセット　　　　：ent

ヒダリカバーヲ
シメテクダサイ

17 **左側メンテナンスカバーを閉めます。**

原点検出を行い、「ローカル」画面に戻ります。

<<ローカル>>
ハバ：1100 mm

本装置の情報を表示する[ﾏｼﾝｼﾞｮｳﾎｳ]

本装置のファームウェアバージョン、シリアル番号を表示します。
トラブル発生時に、販売店または弊社営業所にこの情報とトラブル内容とをご連絡ください。付録のお問い合わせシートをご利用していただくと、速やかに対処いたします。

操作手順

1 [メンテナンス]-[マシンジョウホウ]を選択します。(⇒ P.5-2)

メンテナンス
マシンジョウホウ　　＜ｅｎｔ＞

2 【ENTER】キーを押します。

ENTER

マシンジョウホウ
バージョン　　＜ｅｎｔ＞

3 再度【ENTER】キーを押し、[バージョン]を選択します。
バージョンが表示されます。

ENTER

MAIN　　Ver ＊＊.＊＊
I / F　　Ver ＊＊.＊＊

4 【ENTER】キーを押し、[バージョン］に戻ります。

ENTER

マシンジョウホウ
バージョン　　＜ｅｎｔ＞

5 ジョグキー【▲】【▼】を押して、[シリアルＮｏ.]を選択します。

マシンジョウホウ
シリアルＮｏ.　　＜ｅｎｔ＞

6 【ENTER】キーを押します。
シリアル番号を表示します。

ENTER

シリアルナンバー
Ｓ／Ｎ　＊＊＊＊＊＊＊＊

7 【ENTER】キーを押し、[シリアル No.］に戻ります。

ENTER

マシンジョウホウ
シリアルＮｏ.　　＜ｅｎｔ＞

8 【END】キーを３回押して、ローカルモードに戻ります。

END

<<ローカル>>
ハバ：1100 mm

カッター刃の交換

カッター刃は消耗品です。切れ味が悪くなってきたら、新しいカッター刃(SPA-0107)に交換してください。

★ 刃先は鋭利です。ケガをしないようご注意ください。

★ 使用済みのカッター刃は、地域の条例に従い廃棄してください。

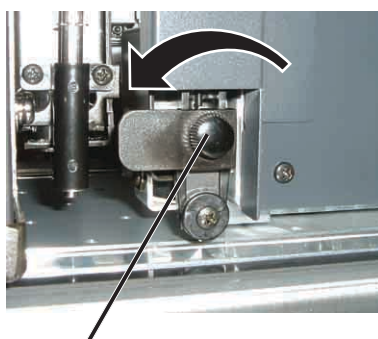
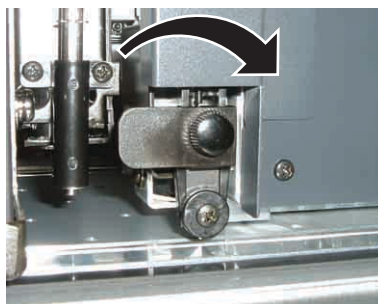
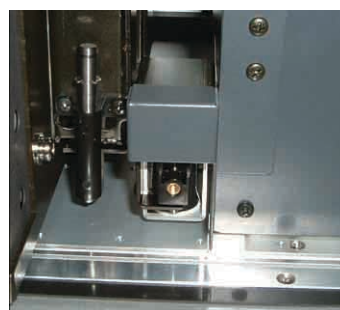
● カッター刃の下に用紙を敷いておくと、刃先が落ちた時に拾いやすくなります。

操作手順

1 [キャリッジアウト]を実行します。
⇒ P.5-6 参照

2 正面カバーを開けます。

3 キャリッジ横のカッターユニットを交換します。

a. カッターユニットのネジを緩めます。
b. カッターユニットを取り外します。
c. 新しいカッターユニットを取り付けます。
d. カッターユニットのネジを締めて、カッターユニットを固定します。

カッターユニットのネジ

4 正面カバーを閉じ、【ENTER】キーを押します。
ローカルモードに戻ります。

6章
困ったときは

本装置になんらかの異常が発生した場合、エラーメッセージを表示した場合のトラブルの解消方法について説明します。

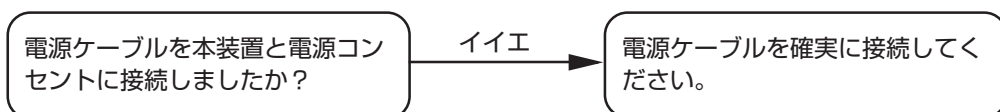
本章の内容

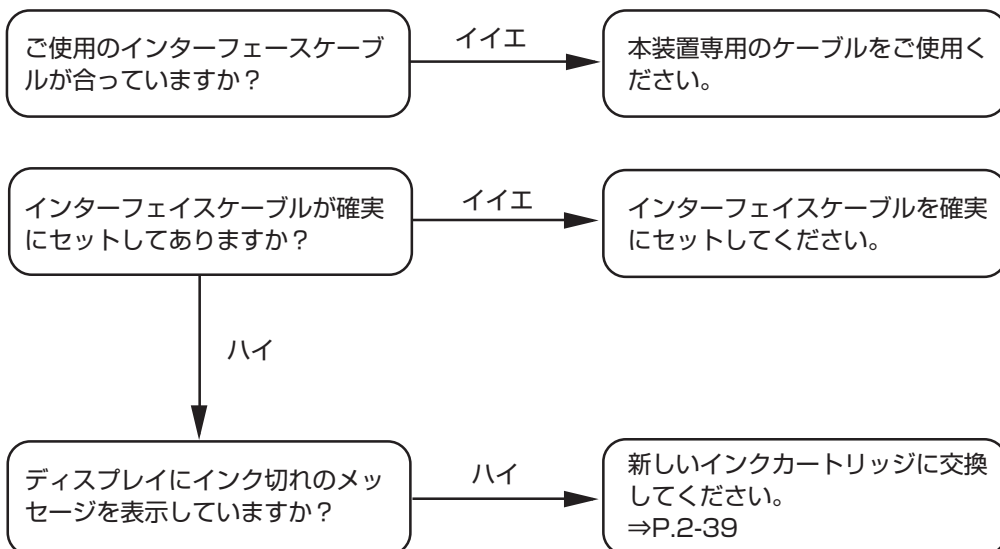
故障？と思う前に

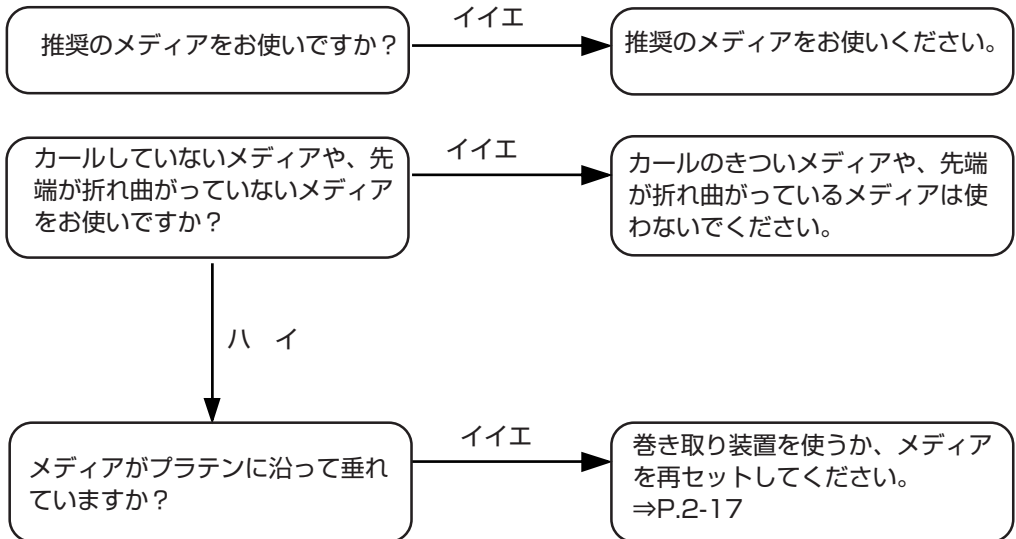
ディスプレイにエラーメッセージを表示しない

故障？と思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

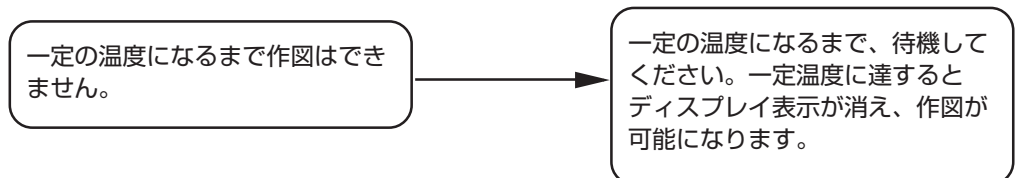
電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。接続が適正かもう一度確認してください。

作図できない

作図ができない場合は、データが適正に本装置に送られていない場合があります。
また、作図機能に不良がある場合や、メディアのセット方法に問題がある場合などが考えられます。

メディア詰まり / メディアが汚れる

メディア詰まりやメディアの汚れは、ご使用のメディアやセット方法に問題があるなどが考えられます。

ディスプレイにメッセージを表示する

「オンスイジュンビチュウ」または「UV ジュンビチュウ」

ディスプレイに「オンスイジュンビチュウ」と表示された場合、温水装置の水温が一定に達していません。また「UV ジュンビチュウ」と表示された場合は、UV ランプの温度が一定に上がっておらず、UV ランプが使用できず、作図することはできません。

作図不良が発生したときは

ここでは、作図品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

スジ / カスレが発生する

対処方法：1. ヘッドクリーニングを行ってください。⇒ P.2-26

2. ステーション内部のメンテナンスをしてください。
⇒ P.3-4、P.5-6

3. ヘッドが通過する部分にゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。

作図中のメディア上に大きなインク滴が落ちる

対処方法　：　1. インクキャップのクリーニングをしてください。
⇒ P.3-4

2. ヘッドクリーニングを行ってください。⇒ P.2-26

3. メディア表面のホコリを取り除いてご使用ください。

4. プラテン表面に付着しているホコリをクリーニングしてください。

5. キャリッジ下面のクリーニングをしてください。
⇒ P.3-16

作図中にメディアが浮き上がり、作図が中断する

作図中に UV ランプによる熱で、メディアが浮き上がり、印刷が中断される場合があります。

対処方法　：　新しいメディアをセットし直し、作図を開始してください。

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージを表示します。
メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングメッセージ

ワーニングメッセージ	原　　因	対処方法
! UV ランプ UV ランプ　コウカン　　　:ent	UV ランプの交換時期です。	販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
! UV ランプ UV コウリョウカクニン　　:ent	UV ランプの照度を測定する時期になりました。	UV ランプ照度確認を行ってください。⇒ P.5-22
<<ﾛｰｶﾙ>>　ニアエンド カラー　　　　　：KCMYcmW	インクカートリッジのインク残量が少なくなりました。	【REMOTE】キーを押すと、1ファイルごと作図します。早めに表示しているヘッドのインクカートリッジを交換してください。
！インクエンド カラー　　　　　：KCMYcmW	インクカートリッジのインクが終わりました。	表示しているヘッドのインクカートリッジを交換してください。
！インクカートリッジ カラー　　　　　：KCMYcmW	インクカートリッジが装着されていません。	表示しているヘッドのインクカートリッジを取り付けてください。
！ハイインク　タンク ハイインク　タンク　フル	廃インクタンクが一杯になりました。	廃インクタンクを取り変えてください。
！インク　IC イジョウ カラー　　　　　：KCMYcmW	インクカートリッジの IC チップが正常に読めませんでした。	表示している色のインクカートリッジを再挿入してください。再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
！カートリッジ　イジョウ カラー　　　　　：KCMYcmW	装填したインクカートリッジが異常です。	表示している色の新しいインクカートリッジを再挿入してください。再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
！ヒジュンセイ　インク カラー　　　　　：KCMYcmW	インクカートリッジがミマキ純正品ではありません。	ミマキ純正品をお使いください。
！インク　シュルイ カラー　　　　　：KCMYcmW	装填したインクカートリッジの種類が異なります。	装填したインクカートリッジの種類を確認してください。
！インク　カラー カラー　　　　　：KCMYcmW	装填したインクカートリッジの色が、前回装填した色と異なります。	表示している色と装填したインクカートリッジの色を確認してください。
！キゲン　ギレ　（2 カゲツ） カラー　　　　　：KCMYcmW	インクカートリッジの有効期限が切れています。	表示している色のインクカートリッジを交換してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージは、エラー番号を表示します。エラーメッセージを表示した場合は、電源をオフにしてしばらくたってから電源をオンにしてください。
それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

エラーメッセージ	原　　因	対処方法
ERROR 01 MAIN ROM ERROR 02 MAIN RAM	制御基板に異常が発生しました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 03 POWER +5V ERROR 03 POWER +35V	制御基板に異常が発生しました。 POWER+5V POWER+35V	
ERROR 04 ﾌﾗｯｼｭ SAVE ERROR 05 FPGA ss ERROR 06 UHC ss　nnnn ERROR 07 DFC ss	制御基板に異常が発生しました。	
ERROR 10 コマンドエラー	コマンドデータ以外のデータを受信しました。 本装置に適合していないインターフェースケーブルが使われています。	インターフェイスケーブルを確実に接続してください。 規格に適合したインターフェースケーブルを使用してください。
ERROR 11 パラメータエラー	数値範囲外のパラメータを受信しました。	ホストコンピューターの出力設定値を確認してください。

エラーメッセージ	原　　因	対処方法
ERROR 12 オフスケール	作図範囲外に作図しました。	作図範囲を確認してください。
ERROR 20 I / F ボード	I/F ボードと制御基板のインターフェースにエラーが発生しました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 23 ホスト I / F	ホストコンピュータと I/F ボードとの通信にタイムアウトエラーが発生しました。	ケーブルが確実に接続してあるか、またはホストコンピュータ側でエラーが発生していないか確認してください。
ERROR 24 I / F イニシャル	I/F ボードと制御基板の初期動作不良です。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 30 オペレーションエラー	操作パネルで不当なオペレーションをしました。	正しいオペレーションを行ってください。
ERROR 34 ミサクズデータアリ	受信済みで未作図のデータがあるのに、ファンクション機能の設定機能を変更しようとしています。	受信済みのデータを全て作図するか、データクリアを実行してから、設定機能を変更してください。
ERROR 40 モータアラーム　X	X モーターに過大な負荷がかかりました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 41 モータアラーム　Y	Y モーターに過大な負荷がかかりました。	
ERROR 42 X　オーバーカレント	X モーターの過電流エラーを検出しました。	

エラーメッセージ	原　　因	対処方法
ERROR 43 Y オーバーカレント	Y モーターの過電流エラーを検出しました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 44 スキャンハンイ	スキャン範囲外へ移動要求がありました。	
ERROR 50 メディア ケンシュツ	メディア端面を検出できませんでした。	
ERROR 51 ゲンテンケンシュツ Y	Y 軸の原点検出が行えませんでした。	
ERROR 53 ステップモータゲンテン	ステップモータの原点位置検出が行えませんでした。	
ERROR 60 FLASHING nnnn	フラッシング実行タイムアウトエラーが発生しました。	
ERROR 61 TEMP ss	ヘッド温度が異常です。	
ERROR 70 ミズブソク	温水量が不足しています。	温水タンクの水量を確認してください。⇒ P.3-8
ERROR 71 オンスイ　ソウチ ss	温水装置関連のエラーが発生しました。	一度、本装置の電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 72 UV デンゲン OFF	起動時に UV 装置の電源がオフになっています。	
ERROR 73 UV ソウチ ss	UV 装置関連のエラーが発生しました。	
ERROR 74 UV ソウチ	UV 装置が異常信号を出力しています。	
ERROR 90 F/W	F/W の不具合が発生しました。	

付録

各種仕様や構成品、ファンクションメニュー構造を示します。

本章の内容

基本仕様

項目		UJV-110
作図ヘッド部	方式	オンデマンドピエゾヘッド
	仕様	8ヘッド
作図分解能		300 dpi、600 dpi、1200 dpi、2400 dpi
作図モード	300 x 300 dpi	2 pass 単方向、4/8 pass 単方向・高速印字
	600 x 600 dpi	4/8 pass 単方向、16 pass 単方向・高速印字
	1200 x 1200 dpi	8 pass 単方向、16/32 pass 単方向・高速印字
	1200 x 2400 dpi	16 pass 単方向、32 pass 単方向・高速印字
使用可能インク		専用UV硬化インク（弊社純正インク） Bk、C、M、Y、Lc、Lm、6色+W白　合計7色
インク供給		インクカートリッジからのチューブ供給 インク残量表示機能あり インクエンド検出機能あり
インク容量		440 cc （各色1本）
最大作図範囲		1200 mm
UV装置		UV照射装置内蔵、UV電源
ロール紙メディアサイズ		
	最大作図範囲	幅：1200 mm
	最大幅	1220 mm
	最小幅	210 mm
	厚さ	1.0 mm以下
	ロール外径	φ 180 mm以下
	ロール重量	25 Kg以下
	紙管内径	2インチ , 3インチ
	作図面	外側
	巻終わり処理	紙管にテープ止め
	強度	UV熱による変形量少、プリント可能
リーフ紙メディアサイズ		
	最大作図範囲	幅：1200 mm
	最大幅	1220 mm
	最小幅	210 mm
作図マージン	リーフ紙	左右：5 mm ± 0.5 mm 前：85 mm 後：120mm
	ロール紙	左右：5 mm 前：85 mm 後：0 mm

項目		UJV-110
距離精度		絶対精度 ± 0.3 mm または指定距離の ± 0.15 % の大きい方
再現性		± 0.2 mm または指定距離の ± 0.1% の大きい方
直角度		± 0.5 mm/1000 mm
ヘッド高さ調整		プラテン面より 1.5 mm ～ 7 mm 可変、手動変更による
メディア裁断		ヘッド部カッタによる Y 方向カット 裁断精度（段差） 0.5 mm 以下
排紙		ロール巻取り装置標準（内巻き / 外巻き　切り替え可能）
廃インクタンク		ボトル式（2000 cc / タンクフルセンサ付き）
インターフェイス / ホスト		IEEE1284 準拠、IEEE1394 準拠
コマンド		MRL-IIB <ESC/P レベル 2 ベース ミマキオリジナルコマンド>
騒音	待機時	60 dB 以下(FAST-A, 前後左右 1 m)
	動作連続音	65 dB 以下
	動作不連続音	70 dB 以下
安全規格		VCCI- クラス A、UL、CE マーク、CB レポート
インク安全性		MSDS
電源仕様（本体・UV 装置）		単相 AC200 ～ 240 V
消費電力		3.3 kVA 以下 (本体 0.5 kVA、UV 装置 1.8 kVA、ヒーター 1kVA)
設置環境	使用可能温度	15 ～ 30 ℃
	相対湿度	35 ～ 65 %Rh (結露なきこと)
	精度保証温度	18 ～ 25 ℃
	温度勾配	± 10 ℃/h 以下
	粉塵	オフィス相当
重量		約 326kg（UV 電源を含まず）
外形寸法		2630 (W) x 1030 (D) x 1310 (H) mm 以下

付録

インク仕様

詳細は、販売店または弊社営業所にお問い合わせください。

項　目		品　番　・　仕　様
形態		専用UVインクカートリッジ
インク種類		ブラック、マゼンタ、シアン、イエロー、ライトシアン ライトマゼンタ、ホワイト
インク容量		440CC
有効期間		製造日より１年間
保存温度	保存時	15℃～35℃
	輸送時	0℃～60℃　２週間以内

重 要！

★ インクは、-4℃以下の環境で長時間放置すると凍結します。
万一、凍結した場合は、室温（25℃）で３時間以上かけて解凍してから使用してください。

★ インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えないでください。
故障の原因になります。

お問い合わせシート

本装置の故障、異常動作については、このシートをお使いください。
下記の必要事項をご記入の上、巻末の弊社営業所まで FAX でお送りください。

御社名	
ご担当者名	
電話番号	
プリンター機種名	
お使いの OS	
マシーン情報	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

付録

機能フローチャート

原点設定方法:
<<ﾛｰｶﾙ>>
ﾊﾊﾞ：1100mm
ｹﾞﾝﾃﾝ ｾｯﾃｲ
0.0 -------
ENT
ｹﾞﾝﾃﾝ ｾｯﾃｲ
** ｹﾞﾝﾃﾝ **
FUNCTION
ﾒﾃﾞｨｱ ｶｯﾄ <ENT>
ENTER
ﾒﾃﾞｨｱ ｶｯﾄ ﾁｭｳ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
DATA CLEARキー：
DATA CLEAR
<ﾛｰｶﾙ>
ﾊﾊﾞ:1100mm
ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱ <ENT>
ENTER
** ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱ **
起動時とメディアセット時：
起動時
プラテン上にメディアがセットされている場合
ﾒﾃﾞｨｱｾﾝﾀｸ
ﾛｰﾙ< >ﾘｰﾌ
ﾒﾃﾞｨｱｹﾝｼｭﾂﾁｭｳ
ｼﾊﾞﾗｸｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
** ﾒﾃﾞｨｱ **
X：**** Y：****
<<ﾛｰｶﾙ>>
ﾊﾊﾞ：1100mm
クランプレバーが上がっている場合
ﾚﾊﾞｰｦ
ｶｸﾆﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ
クランプレバーが下がっていて、プラテン上にメディアがセットされていない場合
<<ﾛｰｶﾙ>>
ﾒﾃﾞｨｱｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ
TESTキー：
TEST
<< ﾛｰｶﾙ >>
ﾊﾊﾞ：1100mm
ﾃｽﾄｻｸｽﾞ
ﾉｽﾞﾙﾁｪｯｸ <ENT>
ENTER
＊＊ ﾃｽﾄｻｸｽﾞ ＊＊
ﾃｽﾄｻｸｽﾞ
ｺｳｶﾁｪｯｸ <ENT>
ｺｳｶﾁｪｯｸ
DPI :300 x 300
:300 x 300
:600 x 600
:1200 x 1200
:1200 x 2400
ｺｳｶﾁｪｯｸ
ｻｸｽﾞﾋﾝｼﾂ :ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ､ｷﾚｲ､ﾊﾔｲ
＊＊ ﾃｽﾄｻｸｽﾞ ＊＊
CLEANINGキー：
CLEANING
<< ﾛｰｶﾙ >>
ﾊﾊﾞ：1100mm
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ
ｶﾗｰ :KCMYcmW
: ON/OFF
: ｶﾗｰ選択
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ
ﾀｲﾌﾟ :ﾉｰﾏﾙ
:ﾉｰﾏﾙ､ﾊｰﾄﾞ
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞｶｲｼ :ent
＊＊ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ＊＊
ガイダンス表示方法
ﾒﾃﾞｨｱｾｯﾄ
ﾛｰﾙ< >ﾘｰﾌ
<< ﾛｰｶﾙ >>
ﾊﾊﾞ：1100mm
ﾞﾝﾘｮｳKCMYcmW
12345678
V *.** / MRL-2B
UVｼｮｳｼｬｼﾞｶﾝ
600h 00m
POWER
TEST
CLEANING
DATA CLEAR
FUNCTION
REMOTE
END
ENTER

FUNCTIONキー： FUNCTION
<< ﾛｰｶﾙ >>
ﾊﾊﾞ：1100mm
FUNCTION
ENTER
FUNCTION
UV ｼｮｳﾄｳ <ENT>
UVﾗﾝﾌﾟ ｼｮｳﾄｳ
ｼｮｳﾄｳ ｶｲｼ : ent
UVﾗﾝﾌﾟ ｼｮｳﾄｳ
ｼｮｳﾄｳ ｶﾝﾘｮｳ
FUNCTION
ｾｯﾃｲ <ENT>
ｾｯﾃｲ
ｾﾝﾀｸ :ﾀｲﾌﾟ1
ﾀｲﾌﾟ 1～4
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｻｸｽﾞ ﾋﾝｼﾂ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｻｸｽﾞ ﾋﾝｼﾂ : ｷﾚｲ
:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ、ｷﾚｲ、ﾊﾔｲ
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾒﾃﾞｨｱﾎｾｲ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｻｸｽﾞ ｶｲｼ : ent
＊＊ｻｸｽﾞ ﾁｭｳ ＊＊
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾎｾｲﾁ :*.*
ﾀｲﾌﾟ ＊
Y ｷｮﾘﾎｾｲ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾎｾｲｻｲｽﾞ:100.000%
:± 0.39%
ﾀｲﾌﾟ ＊
UVｺｳﾘｮｳ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
UVｺｳﾘｮｳ :ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
:ﾂﾖｲ、ﾋｮｳｼﾞｭﾝ、ﾖﾜｲ、ﾅｼ、
ｲﾝｻﾂ ﾅｼ、ﾚｲﾔ
ﾚｲﾔを選択
した場合
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾚｲﾔ＊ :ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
:ﾂﾖｲ、ﾋｮｳｼﾞｭﾝ、ﾖﾜｲ、ﾅｼ、
ｲﾝｻﾂ ﾅｼ、ﾑｺｳ
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｷｭｳﾁｬｸ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｷｭｳﾁｬｸ :ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ、ﾂﾖｲ
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾘﾌﾚｯｼｭ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｻｸｽﾞ ﾁｭｳ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｻｸｽﾞ ﾁｭｳ : ﾚﾍﾞﾙ3
:ﾚﾍﾞﾙ0～3
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾀｲｷﾁｭｳ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾀｲｷﾁｭｳ : ﾚﾍﾞﾙ3
:ﾚﾍﾞﾙ0～3
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾕｳｾﾝｼﾞｭﾝｲ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｻｸｽﾞ ﾋﾝｼﾂ :ﾎｽﾄ
:ﾎｽﾄ, ﾊﾟﾈﾙ
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｶｻﾈﾇﾘ :ﾎｽﾄ
:ﾎｽﾄ, ﾊﾟﾈﾙ
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｵｰﾄｶｯﾄ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｵｰﾄｶｯﾄ :ON
:ON、OFF
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｶﾗｰﾊﾟﾀｰﾝ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｶﾗｰﾊﾟﾀｰﾝ :OFF
:ON、OFF
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｼﾛｶｻﾈｻｸｽﾞ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｼﾛｶｻﾈｻｸｽﾞ :OFF
:ON、OFF
FUNCTION , ∧,∨
続く
続く

続き
続き
タイプ＊
カサネヌリ <ent>
ENTER
タイプ＊
カサネヌリ :1カイ
:1～9回
タイプ＊
ブンハンインサツ <ent>
タイプ＊
ブンハンインサツ :ON
:ON、OFF
タイプ＊
サクズカイスウ :3
:2～10
タイプ＊
パターンサクズ :ON
:ON、OFF
タイプ＊
オートクリーニング <ent>
タイプ＊
オートクリーニング :ON
:ON、OFF
タイプ＊
マージン <ent>
タイプ＊
ミギマージン <ent>
タイプ＊
ミギマージン : 0mm
0～95mm
タイプ＊
ヒダリマージン <ent>
タイプ＊
ヒダリマージン : 0mm
0～95mm
タイプ＊
メディアケンシュツ <ent>
タイプ＊
ケンシュツ : セレクト
セレクト, ハバ
タイプ＊
ミリ/インチ <ent>
タイプ＊
ミリ/インチ :ミリ
:ミリ, インチ
タイプ＊
セッテイリセット <ent>
タイプ＊
セッテイリセット : ent
FUNCTION
メンテナンス <ENT>
メンテナンス
リスト <ent>
＊＊リスト＊＊
メンテナンス
ドットイチホセイ <ent>
ドットイチホセイ
サクズカイシ : ent
＊＊サクズチュウ＊＊
ドットイチホセイ
パターン1 : ＊＊
メンテナンス
ステーションメンテ <ent>
ステーションメンテ
キャリッジアウト : ent
ステーションメンテ
シュウリョウ : ent
メンテナンス
タカサチョウセイ <ent>
タカサチョウセイ
メディア ハズス : ent
タカサチョウセイ
キャリッジアウト : ent
タカサチョウセイ
メディアセット : ent
タカサチョウセイ
ヘッドシュウリョウ : ent
タカサチョウセイ
UVシュウリョウ : ent
FUNCTION
メンテナンス
インクジュウテン <ent>
インクジュウテン
カラー :KCMYcmW
: ON/OFF
: 色選択
インクジュウテン
ジュウテン カイシ : ent
＊＊ジュウテンチュウ＊＊
******----------
続く
続く

続き
続き
メンテナンス ヘッド゛ワイプ゜ <ent>
ENTER
ヘッド゛ワイプ゜ カラー :KCMYcmW
△,▽ : ON/OFF
<,> : 色選択
ENTER
ヘッド゛ワイプ゜ ワイプ゜カイスウ :1
△,▽ : ワイプ゜回数 1～9回
ENTER
ヘッド゛ワイプ゜ ワイプ゜カイシ :ent
ENTER
ワイピ゜ング゛ シバ゛ラクオマチクダ゛サイ
△,▽
メンテナンス テイキ ワイピ゜ング゛ <ent>
ENTER
テイキ ワイピ゜ング゛ インサツ カイスウ : OFF
△,▽ : インサツ回数 OFF, 1～99回
ENTER
テイキ ワイピ゜ング゛ カラー :KCMYcmW
△,▽ : ON/OFF
<,> : 色選択
インクセット Uv-6 [KCMYcm]
ENTER
インクセット: KCMYcm セッテイシマスカ? :ent
ENTER
インクセット:******W カートリッジ゛ヲハズ゛ス
ENTER
センジ゛ョウチュウ シバ゛ラクオマチクダ゛サイ
ENTER
インクセット:******W センジ゛ョウジ゛グ゛ヲセット
ENTER
△,▽ 6色へ変更
インクセット: KCMYcm シバ゛ラクオマチクダ゛サイ
センジ゛ョウチュウ
ENTER
インクセット:******W センジ゛ョウジ゛グ゛ヲハズ゛ス
センジ゛ョウチュウ
メンテナンス インクセット <ent>
ENTER
インクセット Uv-7 [KCMYcmW]
W を S へ変更
ENTER
インクセット: KCMYcmS セッテイシマスカ? :ent
△,▽ W/S
ENTER
インクセット:******W カートリッジ゛ヲハズ゛ス
ENTER
センジ゛ョウチュウ シバ゛ラクオマチクダ゛サイ
ENTER
インクセット:******W センジ゛ョウジ゛グ゛ヲセット
ENTER
インクセット:******S カートリッジ゛ヲセット
ENTER
センジ゛ョウチュウ
ENTER
インクセット:******W センジ゛ョウジ゛グ゛ヲハズ゛ス
センジ゛ョウチュウ
ENTER
＊＊ジ゛ュウテンチュウ＊＊
インクセット: KCMYcmS シバ゛ラクオマチクダ゛サイ
△,▽ 8色へ変更
インクセット Uv-8 [KCMYcmWS]
ENTER
インクセット: KCMYcmWS セッテイシマスカ? :ent
ENTER
インクセット:****** S カートリッジ゛ヲセット
ENTER
＊＊ジ゛ュウテンチュウ＊＊
インクセット:KCMYcmWS シバ゛ラクオマチクダ゛サイ
メンテナンス インクコウカン <ent>
△,▽
ENTER
インクコウカン カラー :KCMYcmW
△,▽ : ON/OFF
<,> : ヘッド゛選択
ENTER
インクコウカン カートリッジ゛ヲハズ゛ス
ENTER
センジ゛ョウチュウ シバ゛ラクオマチクダ゛サイ
インクコウカン センジ゛ョウジ゛グ゛ヲセット
センジ゛ョウチュウ
＊＊ジ゛ュウテンチュウ＊＊
ENTER
インクコウカン カートリッジ゛ヲセット
センジ゛ョウチュウ
ENTER
インクコウカン センジ゛ョウジ゛グ゛ヲハズ゛ス
メンテナンス オンスイ コウカン <ent>
△,▽
ENTER
オンスイコウカン カイシ : ent
ENTER
シバ゛ラクオマチクダ゛サイ ******----------
オンスイコウカン オンスイ ハイキ : ent
ENTER
オンスイコウカン タンク セット : ent
ENTER
シバ゛ラクオマチクダ゛サイ ******----------
オンスイコウカン フトウエキ セット : ent
ENTER
オンスイコウカン オンスイ ハイキ : ent
メンテナンス ホワイト メンテナンス <ent>
△,▽
ENTER
ホワイト メンテナンス カートリッジ゛ヲハズ゛ス
ENTER
ハイシュツチュウ シバ゛ラクオマチクダ゛サイ
ホワイト メンテナンス カートリッジ゛ヲセット
ENTER
＊＊ジ゛ュウテンチュウ＊＊ シバ゛ラクオマチクダ゛サイ
メンテナンス ヘッド゛メンテナンス <ent>
ENTER
ヘッド゛メンテナンス カラー :KCMYcmWS
ENTER
△,▽ : ON/OFF
<,> : ヘッド゛選択
△,▽
続く
続く

続き
続き
メンテナンス UVランプ <ent>
UVランプ コウリョウソクテイ <ent>
UV コウリョウ ソクテイ ヘッドイドウ :ent
＊＊ イドウチュウ＊＊ シバラクオマチクダサイ
ヒダリカバーヲ アケテクダサイ
UV コウリョウ ソクテイ ジグヲセット :ent
ヒダリカバーヲ シメテクダサイ
UV コウリョウ ソクテイ H ソクテイカイシ :ent
UV 光量強さ切替
H: ツヨイ
N: ヒョウジュン
L: ヨワイ
＊＊ ソクテイチュウ＊＊ シバラクオマチクダサイ
ヒダリカバーヲ アケテクダサイ
UV コウリョウ ソクテイ ジグヲカクニン :ent
UV コウリョウ ソクテイ ソクテイ< >シュウリョウ
UVランプ タイマーショキカ <ent>
UVタイマーショキカ ショキカカイシ :ent
UVランプ ショウトウジカン <ent>
ショウトウジカン レンゾクショウシャ :OFF
:OFF, ON
OFF 選択時
ショウトウジカン TIME: **h**m
:1 分～ 24 時間
ON 選択時
UVランプ ショウトウジカン <ent>
メンテナンス マシンジョウホウ <ent>
マシンジョウホウ バージョン <ent>
MAIN Ver **.**
I/F Ver **.**
マシンジョウホウ シリアルNo. <ent>
シリアルナンバー S/N *************
FUNCTION ゲンテン <ENT>
ゲンテン Xオフセット <ent>
ゲンテン （1100mm） Xオフセット :000mm
:0 ～ 1100mm
ゲンテン Yオフセット <ent>
ゲンテン （1100mm） Yオフセット :000mm
:0 ～ 1100mm
FUNCTION DISPLAY <ENT>
DISPLAY センタク： JAPANESE
:JAPANESE, ENGLISH
ENTER
FUNCTION

索引

ス

セ

ソ

タ

チ

テ

ト

ニ

ノ

ハ

ヒ

フ

ホ

マ

ミ

メ

ユ

リ

レ

ロ

ワ